

MEJ 4067

漢字の学年配当

国語シリーズ 24

文 部 省

漢 字 の 学 年 配 当

(昭和27・28年度調査報告)

昭 和 30 年 3 月

文 部 省 調 査 局 国 語 課

刊 行 の 趣 旨

国語シリーズは、国語改善と国語教育の振興に関する施策を普及徹底するために編集するものであります。

このシリーズは、国語問題編・国語教育編・国語生活編・国語教養編および資料編に分け、問題編は主として国語審議会の発表した事がらを、教育編は国語学習指導の方法などを、生活編は国民の言語生活に関する事がらを解説するものであり、教養編は一般の国語教養を高めることを、資料編は国語改善と国語教育に関する基礎資料を集録することを目的とするものであります。

すでに、問題編と教育編はそれぞれ6冊、教養編は5冊、生活編は4冊、資料編は2冊を刊行しましたが、各編にわたって今後も逐次刊行する予定であります。

この本は、資料編の3冊目として、調査局国語課で編集しました。

昭和30年3月

文部省調査局国語課長 白石大二

ま え が き

政府は、さきに当用漢字表・同音訓表・同別表（教育漢字表）・同字体表等を採択して、学習すべき漢字の種類・読み方・字体等の基準を確定した。しかしながら、漢字教育をさらに有効に進めるためには、少なくとも義務教育の期間に読み書きともにできるように指導すべき漢字としてきめられた 881 字の指導順位の基準の確立を必要とする。このために文部省では、昭和 27 年以降、調査（普及）局内に漢字学習指導研究会を設け、かつ実験学級を依頼して、現在まで調査研究を進めてきた。調査研究は、まだその途上にあり、最後の結論を出すまでには、なお若干の時日を要する。しかしながら、関係方面の参考に資するため、今までに得られた成果をその経過の概略とともに記述して、ここに中間的に報告することとした。調査の実施にあたって御協力を賜わった委員・実験学校職員・指導主事ならびに資料をお寄せくださった各方面のかたがたに、深く感謝するものである。

目 次

まえがき

A	調査の概要	1
第1	調査の目的	1
第2	調査の実施	2
1	学習漢字学年別配当試案作成の意味	2
2	準備調査	4
3	昭和28年度の調査	5
B	学習漢字学年別配当試案の作成	7
第1	漢字の学年配当数	7
第2	国語教科書および各種案の学年配分	10
第3	漢字学年別配当試案作成の基準	12
第4	学習漢字学年別配当試案の作成	14
C	漢字の指導とその効果	22
第1	漢字学習成績の一般的傾向	22
第2	漢字の指導効果	23
第3	注意すべき指導例	30
D	テストの実施とその成績	32
第1	テストの目的と実施の方法	32
第2	実施時間と児童に与えた注意	56
第3	テストの成績	59
1	昭和27年度の事前テストについて	59

2	各テスト間の成績の関係.....	65
3	終末テストの成績.....	70
付録 1	名簿.....	75
付録 2	漢字学習指導の実験調査（要項）.....	78
付録 3	学習漢字学年別配当試案.....	80
付録 4	実験学級漢字の学習指導について.....	89
付録 5	漢字学習指導記録簿.....	102
付録 6	実験学級漢字指導語形集.....	113

A 調査の概要

第1 調査の目的

終戦まで、小学校の教科書が国定1本であった時代には、漢字の指導順位についての議論は、それほど一般的なものではなかった。ところが、戦後検定制度の施行によって各種の教科書が使われるようになったために、たとえば「育」「止」のような字は、ある国語教科書では2年、他のものでは3年、または4年・5年・6年に提出されるというような現象が現れるようになった。したがって、もし児童が学年の途中で一つの学校から他の学校へと転校するようなことがあれば、その児童と周囲の他の児童とは知っている字の種類が違うので、さっそく学習上にいろいろの障害が起るわけである。また、一つの学級において、新しい学年になって、従来用いていたのとは違う種類の教科書を新しく採用したときも、やはり漢字指導上にいろいろの困難が起る。また、引き続き同じ編者の教科書を用いている場合でも、国語の教科書と他の教科の教科書との間に漢字提出上の連絡があるのでなければ、教師の指導上の迷惑や児童の学習上の混乱は、やはり免れることができない。これでは、せっかく政府が当用漢字表・同別表を採択した趣旨にも反するわけである。いうまでもなく、国が漢字について、小・中学校の教育に期待していることは、すべての国民が義務教育を終るまでに当用漢字表の漢字のほぼ全部が読め、かつ当用漢字別表の漢字の全部を書くことができるようになることである。しかし、教科書ごとに漢字の提出順位が異なる現状では、この目標に到達するまでの間に、少なから

ざるむだを経験しなければならない。これに反して、もし漢字の学習指導順位が決まり、他教科の教科書や補助的な学習読み物に使用される漢字に至るまで、すべて学年相当のものばかりになるならば、児童は未習字に煩わされることなく多くの知識をさらに容易に吸収することができるし、また、既習字のくり返しを従来よりもいっそう多く経験することによって、漢字の基本的な知識を、いよいよ充実させることができる。つまり、学習活動一般の能率化のためにも、また漢字それ自体の学習効果をあげる点からいっても、基本的な漢字の学習指導順位の決定は必要なことである。

ところが、この漢字の学習指導順位の決定については、深く考えてみると、中国数千年の漢字教育の歴史からも、また明治以降のわが国民教育における漢字指導の経験からも、ほとんど一般的な結論は得られていない。それというのも、漢字の指導順位の決定は語の提出法を規定し、語の提出法は文の選択や教材の配列にまで影響を及ぼすというような、深い内的関係があるからである。しかしながら、反面、教育の一般的な立場に必要な以上の制約を与えることなしに、児童・生徒の漢字力の引き上げがどの程度に可能かという問題についても、抽象的な議論は別として、じゅうぶんな測定は行われていない。そのような理由から、この調査は、学習漢字の学年別配当についての妥当な線をさぐって、漢字の一般的な指導基準を設定する目的で始められたものである。

第 2 調 査 の 実 施

1 学習漢字学年別配当試案作成の意味

この調査のために、文部省は、昭和 27 年 3 月、調査普及局内に漢字学習指導研究会を設けて、調査法の研究を行うこととした。漢字学習指導研究会は、まず、調査事業当面の対象を小学校の漢字の

指導にだけ限定し、6か年間に配当すべき学習漢字の種類ならびにその指導基準について考えることとした。小学校の各学年に漢字を配当することについては、初め必ずしも教育漢字 881 字のわくに制約されて考えられたわけではない。しかし、すべての国民が義務教育を終るまでに教育漢字の全部について習熟するためには、881 字の各字が、少なくとも 1 度ずつは小学校の期間に指導されているのが望ましいことであると考えられた。また、中学校では、当用漢字 1850 字から 881 字を除いた残りの字についての学習も残っている。したがって、中学校での漢字学習の負担を重くしすぎないためにも、教育漢字は小学校でほぼその全部の提出を終るべきであると考えられた。また、逆に 881 字以外の漢字を小学校の期間に出すことについては、従来の成績からいって望ましいことではないとされ、児童の漢字力の充実のためには、881 字を越えないことが原則として効果的であると考えられた。その結果、できあがった学習漢字学年別配当試案は、881 字を 6 学年に配分したものとなったのである。

次に、各漢字の学年配当の意味について、研究会では、読み書きの指導開始学年の基準を示すものとして理解された。この点について、漢字の学年別配当は、往々にして漢字の学習能力の学年別段階の基準表の作成と混同して考えられがちである。しかし、漢字の学年別配当というのは、初出漢字の学年別配当を意味するものであって、能力表の作成とは異なる。能力表を作成するためには、いうまでもなく種々の平均値や成績のちらばりを含む各種の読み書き能力の調査結果を整理しなければならない。その点、学年別漢字配当表の作成にも、同様な作業が伴う。しかし、学年別漢字配当のための資料となるものは、漢字についての読み書き能力の実際の成績ばかりではない。各漢字の社会的な利用度や国語政策の方針についても、あわせ考えなければならない。そればかりでなく、漢字の読み書き能力の測定というのは、ある一定の漢字の指導方法の効果の測定であるともいうことができる。そのように考えてくると、学年配

当表は、むしろ能力表の前提となるものであり、能力表は、ある学年配当表の評価表であるとも考えられる。このような意味から、学習漢字学年別配当試案は、そのような評価によって修正されて、妥当な漢字初出の基準学年表に近づくための手段と考えられるのである。

次に、漢字学習指導研究会では、試案としては読み書き1本のもので作成するが、最後には読み書きを別にした2本だての配当表の形にまとまることがいちおう望ましいとされた。これは、漢字・漢語のなかには、低学年では読みを教えることは可能であるが、書きまでも指導することは困難なものがあると考えられたからである。それは、従来の漢字配当案の根底にある考え方が、いずれも、一つの学年に初出された漢字が、すべての児童にその学年内に、読みばかりでなく書きまでもできるように指導しなければならないという考え方だったことに対する反省である。しかしながら、この考え方は抽象的には当然でもあり、また可能であるとしても、具体的に881字の漢字全体について、そうした分析がどの程度までゆるされるものであるかについての資料は、現在まだじゅうぶんに整っていないとはいえない。したがって、学習漢字学年別配当試案も、しいてそれが将来2本だての表に分割されるべきものだというような予想を含むことなしに作成されたのである。

2 準備調査

漢字学習指導研究会は、以上のような意味をもつ配当試案を作成したのち、これを妥当な成案にまで練りあげるために、実地の学習指導に適用して検討する方法について研究することとした。その手段として、昭和27年度は9月から12月までの期間、東京都内の12学級(12校)に依頼して、配当試案の漢字を実験的に指導し、かつ報告書を提出してもらうこととした。このために、漢字学習指導研究会は、教科書に出てこない配当字の提出法や、漢字の効果的な指

導についての示唆などをまとめた「実験学級漢字の学習指導について」（付録4）を作成して、各学級担任に配布した。

以上のようにして実施した実験指導と並行して、委員・担当官・学級担任は、しばしば打合せ会・授業視察・研究懇談会などを行い、かつ9月には事前テストを、1月には終末テストを実施した。このようにして得られた意見・報告・テスト成績などから、漢字学習指導研究会は、昭和27年度の予備調査の結論を次のように得た。

ア 学習漢字学年別配当試案について

実験指導の実施期間および実施対象者の数がふじゅうぶんなので、決定的な結論は出せないが、全体として不当な点は見あたらない。したがって、28年度もこのままのものを適用して、さらに細かな検討を行うべきである。

イ 観察記録簿について

指導結果の記述のしやすさ、および指導と学習効果との関係を見やすくするために、その様式を修正する必要がある。

3 昭和28年度の調査

漢字学習指導研究会は、実験調査の初年度において、その当面の目標を、いちおう小学校関係にだけ限定して考えることとした。そのために、委員の構成も、本年度は初等教育関係者を中心とするように若干改められた。実験指導を依頼する学級は、1学年につき3学級ずつ計18学級とし、そのうち各学年2学級ずつは近県の学校に、1学級ずつは漢字学習指導研究会の委員の学校に依頼することとした。近県の12学級は、茨城・山梨・愛知の3県教育委員会に、それぞれ管下から推薦してもらい、各県とも4学級（1校につき1学級）ずつ依頼した。これらの学級選定の条件としては、だいたい下記のようなことが考えられた。

ア 特殊な父兄層・経済層にかたよっていない学校であること。

イ 著しく特色のある教育法を行っている学校でないこと。

ウ 職員陣がよくまとまっていて、すなおな研究的歩みを続けている学校であること。

これらの学級における学習指導については、できるだけ通常の指導形態からそれることなく、実験学級であるからといって、特に漢字中心の指導法を採用するようなことがないように、各担任に念を押して依頼した。このようにして、28年度は、できるだけ自然に近い状態のもとに配当試案の各字の難易の傾向を知ろうとしたのである。

テストは、28年4月に事前テストを、29年2月に終末テストを施行した。事前テストは、主として未習字であるにもかかわらず成績のよい字を発見しようとしたのであるが、だいたいにおいて既習字のほうが未習字よりも成績がよいというような、平凡な結果しか得られなかった。終末テストの成績は、各字の指導記録と対照させた結果、配当試案に多少の修正を加える必要を認めたが、なお実際の修正法については、29年度の調査結果を見た上で研究することと決まった。

学習指導記録簿については、さらにその様式に修正を加えて、各字の指導経過がいっそうよくわかるようにすることとなった。

なお、28年度は、各学級の指導および学校と文部省との連絡のために、各県とも担当の指導主事各1名に協力を願った。

B 学習漢字学年別配当試案の作成

第1 漢字の学年配当数

小学校の各学年に初出漢字として配当すべき漢字を考える際に、まず問題となることは、6か年間で何字出したらよいかということである。881字は中学校を卒業するまでに覚えさせればよいのであるから、必ずしもその全部を小学校で出す必要はないという考え方もできる。また、教育漢字以外にも出してよい漢字があろうとも考えられる。また、それぞれの漢字の読みのうち、どれだけを小学校の期間で教えるかという問題もあるのである。

次に、以上の問題がいちおう解決されたとしても、その全体を6か年間に平均に割りふって教えるというような機械的な配当法は、学習指導計画全体の上から、とても考えられないことである。そうすれば、どの学年に幾字という配当数が、次に考えられなければならない。

さらに、各学年に対する配当字数が決まったとしても、具体的にどの字を何学年に配当するかという問題が、その次に起ってくる。これは、なかなか研究を要することであって、考えようによっては、これが最も根本的な問題かもしれない。この問題から考えていけば、第1の問題も第2の問題も、ある程度自然に解決できるとも考えられるからである。

以上のうち、漢字の学年別配当字数については、これまでの方法にだいたい三つの傾向があった。その第1は、低学年から多く出す方法である。第2は、中学年で多く教える方法である。第3は、提

出字数の山を高学年にもっていく方法である。低学年から多く出そうという方針は、早くから多くの漢字を出せば、それだけ反復練習の機会も多くなり、漢字についての広い知識も確実に身につけることができるようになるという考え方から出発している。しかし、この考え方は、一面からいえば、漢字の学習が何よりも基本的なものであり、漢字をたくさん覚えさせることは、何よりも望ましいことだという考え方と結びつきやすい傾向をもっている。つまり、漢字のなかには、あらゆる文化や学問が結晶しているのであって、齊家治國平天下は、漢字の学習から出発するという考え方から、最も導き出されやすい方針である。したがって、話し・聞き・読み・書くという四つの能力の平均した発達という国語教育の全体方針が、この方法によると、ともすれば見失われがちになるのである。しかしながら、この考え方のうちに含まれているところの「たいせつな漢字は、できるだけ早く出して反復練習の機会を多くし、その確実な習得に資するのがよい」という考え方は、尊重されなければならない。

次に、中学年に多く出そうという考えは、「1・2年生の時期には、かなの学習に主力が注がなければならないし、児童の能力発達の状態から見ても、漢字学習の伸張期は3年生に始まり、4・5年生になって急激にその力は伸びる。また、6年は、むしろ漢字学習の充実期であり、新出字を多くするよりは、漢字を駆使し、それについての理解を深める力を養うべき時期だ」という考え方である。もちろん、この考え方の中でも、3年・4年・5年の各学年に、どのような割合で漢字数を配分したらよいかというような点では、人によって若干意見の差も生じるようである。ただ、このうち、3・4年に山をおくという配分法は、義務教育が6か年制度であった時代には、ほとんどの人に支持された考え方であったが、義務教育が9か年に延長された現在では、中学校の教育に期待するという意味で、漢字配分数の山を多少うしろへずらすこと

も考えられる。しかし、義務教育が9か年に延長され、そのために教育計画のうえで以前とは多少の差が出てきたとしても、児童の心身発達の状況に著しい変化が生じたわけではない。その意味で、この配分法は、相当に重んじられてもよいのではないと思われる。

高学年に提出漢字数の山をおこうという考え方は、義務教育期間が延長された今日、むりに小学校の期間内に一定数の漢字を覚えこませようとしなくてもよいという考え方から出ている。というのは、一つの学年で児童の負担能力を越えた字数を出すと、次の学年以後の漢字習得に、必ずよくない影響があるからである。だから、確実な習得という点から見ると、低学年・中学年の漢字の提出数をむりに多くしないほうがよいというのである。そればかりでなく、5・6年生になると、漢字を確実に書く能力が目だって高くなってくる。漢字の組立への理解も深まり、学習能率も増す。だから、5・6年期に比較的多くの漢字を出して、中学校で反復応用させれば、総体としての習得度は高くなるというわけである。また、中学年には、ローマ字の負担も加わるから、3・4年期の漢字提出数は、従来よりもおさえたほうがよいという考え方もできる。しかし、この最後の考え方に対しては、文部省の実験調査の結果から見て、漢字の学習とかなやローマ字の学習との間に、著しく相互に他を制約し合うというような影響は認められないようである。また、漢字提出数の山をどこにおくかという問題は、提出漢字の絶対量との関係においても考えられなければならない問題である。この点について、義務教育が6か年であった時代の漢字の総提出量が1300字を越えるのが普通であったのに、戦後の国語教科書が、一般に881字を上回る字数を6か年間に出し切っているものがないことを考慮にいれなければ、漢字の学年配分の山の置き場所についての妥当な結論は得られないわけである。

第 2 国語教科書および各種案の学年配分

以上のようなことを理解した上で、それぞれの国語教科書の漢字の配分をながめると、それぞれの編集者が、いかにこの問題について頭を悩ましてきたかをうかがい知ることができる。ここに、今までの各教科書の漢字配分の模様を調べてみるならば、まず、終戦までの国定教科書は、下記のとおりであった。

(教科書)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
尋常小学国語読本(黒)	48	122	281	355	309	245	1360
〃 (白)	49	173	307	343	243	233	1348
小学国語読本	82	234	336	298	215	197	1362
初等科国語(国民学校)	129	276	242	228	234	193	1302

尋常小学国語読本では、かなの提出が完成した3年生から漢字を多く出し始め、4年生で最高となっている。それが、小学国語読本になると、山の頂点が4年生から3年生へと移動し、その影響が前後の学年にも及んでいる。これは、当時研究家の間に、早い学年にできるだけ多く出すことが漢字の習得に利益であるという説が盛んに唱えられたことの反映であろう。それが、国民学校時代になると、思いきって漢字提出の山も低学年のほうへならされてきた。この当時以降、戦局の影響から児童がしだいに学業に身をいれることがむずかしくなってきた事実とともに、こうした児童心理の発展段階を無視した重い学習負担が、戦後の漢字知識低下の原因となったと見る向きもある。これに対して、戦後の国語教科書は、当用漢字別表(教育漢字表)の制定に応じて、6か年間の提出総字数は、一挙に減少した。検定国語教科書の各初年度版の学年配当字数は、およそ次のとおりである。

発行所著者	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
学図一佐野	26	126(1)	142	248(2)	168(28)	104(29)	814(60)
〃 一森岡	27	44	153	212	189	116(3)	741(3)
〃 一浜野	26	99	181	178	182(35)	114(31)	780(66)
〃 一志賀	50	108	216	255(1)	151(33)	89(59)	869(93)
日書一山本	40	121	225	242	194	53	875
〃 一井上	39	124	147	179	161	132	782
大阪一重松	39	91(1)	161(1)	221	195	115(2)	822(4)
光村一垣内	67	105	195	289	166	59(2)	881
東書一柳田	36	80	182	273	154	71	796
教育一藤村	39	102	151	210	239	136	877
二葉一西原	44	89	135	193(1)	257(4)	124(4)	842(9)
中教一東条	45(1)	121	175(2)	216(6)	170(17)	82(18)	809(44)
平均	40	101	172	226(1)	186(10)	100(12)	825(23)

() 外は教育漢字の数, () 内はその他の当用漢字。

以上のほかに、漢字学習指導研究会が集めた資料のうち、代表的な漢字の学年別配当案の学年配当数を示せば、下記のとおりとなる。ただし、この中で最初にあげてある学習指導要領試案（国語科編）の配当数は、初出漢字の配当数ではなくて、それぞれの学年末までに児童が習得できるだいたいの字数を示したものであるから、多少他の欄の数字とは意味が異なる。

案	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中学	計
学習指導要領	30	100	150	180	220	201	—	881
小 椿 氏	56	138(3)	211(1)	266	142(87)	68(109)	—	881(200)
田 中 氏	60	70	135	220	220	176	—	881
舟 水 氏	46	91	156	264	196	128	—	881
国語学習辞典	30	99	150	180	180	142	100	881

砂川氏	35	145	160	220	175	146	—	881
小学館	38	64	99	205	219	256	—	881
加太小学校	50	108	216	255(1)	153(51)	99(57)	—	881(109)
曾根崎小学校	35	147	158	223	174	144	—	881
文部省初中局	50	120	140	160	190	221	—	881
平均	43	108	158	217	187	158	10	881

() 内は、教科書の場合と同様、教育漢字以外の当用漢字数である。

この戦後の各案の一般的な特長は、いずれも 881 字をだいたい小学校の期間内に提出することにおいて意見が一致している点である。

第 3 漢字学年別配当試案作成の基準

以上に述べたような各種の案や考え方を基礎にして、漢字学習指導研究会は、昭和 27 年 3 月から、まず学年別配当案作成の基準について考えた。その際、まず問題となったのは、義務教育 9 か年間のことを考えるか、小学校 6 か年間のことを考えるかということであった。しかし当面の問題としては、小学校の 6 か年間だけについて考えることとした。

次に、この 6 か年間に出す漢字は、だいたい 881 字の全部とすることとした。これは、9 か年を終るまでにすっかり覚えこむためには、いちおう小学校の期間に、ほぼその全部を提出し終る必要があるし、中学期には、教育漢字以外の当用漢字の学習負担も加わってくると考えたからである。881 字以上を小学校の期間に必ずしも要求しないというたてまえをとったのは、戦前の成績から見て、これ以上を要求することは、かえって学習効果をさげることになると考えたからである。ただ、881 字を 6 か年間に提出するといっても、

決してこの限度を1字も出入りしてはいけないというような考え方をしたのではない。また、これは初出漢字の学年配当の基準をたてるという意味のものであるから、学習指導要領試案（国語科編）に示されている漢字を読み書きできる各学年の能力表の数字と、この研究会で作ろうとする配当案の各学年に対する配当字数とは、当然その意味は違うわけである。ただし、昭和25年2～3月に文部省初等中等教育局で実施した調査の結果を基礎として作られ、「児童・生徒の漢字を書く能力とその基準」の中で示された配当案とは、その意味が等しい。この昭和25年の調査は、教育漢字全体についての調査としては、最も規模が大きく、かつ科学的な方法をもって行われた最初の調査である。したがって、その数字は、教育漢字の各学年に対する特に書きの難易傾向を予測するものとして、きわめて信頼度の高いものである。しかしながら、この調査は、環境や条件が最も不利だった時代の、しかも書きだけの調査である。そのために、調査成績それ自体としては貴重なものではあるが、その成績を基礎としてさきに文部省が「児童・生徒の漢字を書く能力とその基準」で提示した漢字の学年配当案は、現在に至って新しい立場による検討を必要とするに至ったといえる。

ともかくも、漢字学習指導研究会は、昭和27年3月から5月までかかって、全国から集まった各種の資料を吟味し、配当試案作成のために直接用うべきものをその中から選び、かつ、おおよそ下記のような漢字配当試案作成の基準を定めたのである。

A 提出順位

- (1) 社会的に使用度の高いものは、先に出す。
- (2) 児童の生活に関係の深いものは、先に出す。
- (3) 字画が基本的なものは、先に出す。
- (4) 覚えやすいものは、先に出す。

B 提出時期

- (1) 初期には、1語1字のものを多く出す。

- (2) 初期には、学習基本語に関するものを多く出す。
- (3) 熟字になるものは、なるべくまとめて出す。
- (4) 他教科の学習に必要な漢字は、その教科の進度を考えて出す。

C 配 当 数

- (1) 心身の発達度に応じた学習能力の限度によって決める。
- (2) 教育計画全体からみて決める。

第 4 学習漢字学年別配当試案の作成

以上の基準に基いて、漢字学習指導研究会が作成したものが「学習漢字学年別配当試案」である。その具体的な方法としては、まず代表的な各資料を上記の基準に照して、重ね合わせる方法から始められた。

- 1 各種検定教科書（初年度版）および各種配当案によって、各漢字の平均提出学年を求める。

これに用いた資料のうち、検定国語各教科書は、さきにその名をあげたので省略する。代表的な配当案として利用したのは、下記のとおりである。

ア 京都府細見中学校編

ドリル学習の手引（27年2月）

イ 田中久直著

教育漢字の学年配当と効果的な学習指導法（26年12月）

ウ 弘前大学付属小学校舟水教諭案

学年別漢字配当表

エ 国語学習資料研究会

国語学習字典

オ 砂川守一編

教育漢字の教室（26年6月）

カ 大阪市曾根崎小学校

教育漢字の学年配当表 (26 年 12 月)

キ 和歌山県加太小学校

漢字学年別配当表 (26 年 12 月)

ク 小椿誠一案

漢字学年別配当案 (26 年 5 月)

ケ 小 学 館

学年別配当数比較表 (26 年 12 月)

コ 講 談 社

児童雑誌用漢字表 (25 年)

サ 文部省初等中等教育局編

児童・生徒の漢字を書く能力とその基準 (26 年 6 月)

以上のうち、教科書については、まずそれぞれの漢字の新出学年と教科書数とをかけ合わせた数を合計して各漢字の基礎的な数値とし、これを基礎にして 881 字の全部を 7 段階に分けた。すなわち、まず、ある漢字が 10 種の教科書に提出され (2 種は不提出)、そのうちの 3 種が 3 年で、4 種が 4 年で、2 種が 5 年で、1 種が 6 年で出しているとすれば、その漢字の数値は

$$\begin{array}{lcl} \text{提} & \text{出} & \left\{ \begin{array}{l} 3 \times 3 = 9 \\ 4 \times 4 = 16 \\ 2 \times 5 = 10 \\ 1 \times 6 = 6 \end{array} \right. \\ \text{不 提 出} & & 2 \times 7 = 14 \end{array} \quad \left. \vphantom{\begin{array}{l} \text{提} \\ \text{出} \end{array}} \right\} \text{合計 } 55$$

というように機械的に合計値を計算して、最低値 12 から、最高値 81 までを各漢字について得た。これを、数値群の密度の低いところにくぎった結果、自然に学年段階に応じた 7 区分を、下記のように得た。

(段階)	(数値)	(字数)
1	12~18	31

2	19~28	70
3	29~38	126
4	39~48	159
5	49~55	140
6	56~64	198
7	65~81	157

これは、検定各国語教科書の各学年に対する漢字配当（字数についてよりは、むしろ字種について）の平均を示すものである。次に、教科書から求めたとほぼ同様な手続で、各種の漢字配当案における各漢字の数値を計算して、やはり7段階を得た。

2 画数および字画の構成からの提出順位を求める。

これには、下記の資料を用いた。

ア 三宅武郎 教育漢字テストブック

イ 小椿誠一 教育漢字字画表

方法としては、まず「ア」の資料によって基数字（10字）と1級字A（字典の部首となる80字）、1級字B（120字）、2級字（92字）、3級字（577字）に、それぞれ1・2・3・4の値を与え、次に「イ」の資料によって、1～5画・6～10画・11～15画・16～20画・21～25画の各字に、それぞれ0・1・2・3・4の値を与え、両者を合計して、これを7段階に分けた。

3 社会的な使用度による順位を求める。

これに用いた資料は、下記のとおりである。

ア 東京朝日新聞の使用漢字量

（昭和23年11月～24年7月使用量）

イ 大阪朝日新聞の使用漢字量

（昭和16年1月～12月使用量）

ウ 岡崎常太郎著

漢字制限の基本的研究・付録

(昭和10年1月～12月，東京5新聞使用漢字数)

エ 昭和24年印刷庁研究所報告第1号

本邦当用漢字の研究

(昭和23年12月1日～24日，国会会議録の漢字使用数)

オ 国語課調査(森満枝担当)

第8回～第11回国会発言用語集の使用漢字数

カ 大西雅雄著

日本基本漢字(昭和16年11月)

以上の資料ごとに教育漢字の使用度順位をそれぞれ6段階に分け，各漢字について，まず一般的な平均順位を計算した。次に，そのうちの新聞関係の3資料だけについて，同様な方法で新聞の使用度による順位を求めた。これは，上記の資料のなかで，社会の各文化分野の漢字使用度の総合と見られる新聞紙面の漢字使用度に特に重みをかける必要があると考えたからである。

4 作文の使用度による順位を求める。

これには下記の資料を用いて，前項とほぼ同様にして6段階を得た。

ア 坂井勝司調査

昭和25年9月から27年3月まで，新潟県南魚沼郡西五十沢小学校6年生の作文に現れた漢字。

イ 田中久直調査(昭和24年3月)

新潟県三条市6年生の作文に現れた漢字。

5 教育漢字全部の読み書きの難易順を求める。

これに用いた資料は，次のとおりである。

調査者	対象	人数	調査期
ア 宮崎県南那珂郡南郷中学校	新入生	50 (読み)	27年5月
イ 山形県東置賜郡大塚中学校	新入生 3年生	89 (読み) 102 (書き)	27年3月
ウ 秋田県鹿角郡七滝小学校	6年生	75 (読み) 70 (書き)	27年4月

エ	茨城県教育委員会・教育研究所	6年生	1,091	(読み)	27年1・2月
オ	鳥取県教育委員会	中学1年	986	(読み書き)	27年4月
カ	北九州5市教育研究所	中学3年 小学6年	11,333 13,191	(読み書き)	26年12月
キ	長野県東筑国語研究委員会	小学2年 中学3年	2,400	(読み)	25年1月
ク	長野県北佐久郡岩村田中学校	1～2年	227	(読み)	26年4月～12月
ケ	愛知県南設楽郡長篠中学校	1～3年	331	(読み)	26年8月
コ	愛知県南設楽郡千郷中学校	1～3年	354	(書き)	27年
サ	新潟県南魚沼郡西五十沢小学校	6年生	63	(読み書き)	27年

以上は、教育漢字または当用漢字のほぼ全部についての代表的なテスト成績である。本来ならば、これらの各調査成績を1字ごとにほごし、各テストの被調査者の人数に応じた重みをつけて、各字の成績を計算すべきところである。しかしながら、教育漢字だけに限定しても、その操作は困難であったので、いちおう各テストの重みを等しいものとして、読みおよび書きの各字の正答率の平均を求めた。そして、このうちで圧倒的に人数の多い北九州5市の成績を、もう1度全体の成績に対照させながら、各字の読みおよび書きの難易順を、それぞれ5段階にまとめた。

6 以上の各資料から得た数値の合計によって、教育漢字の学年配当のだいたいの序列を決める。

以上の各種の資料から得られた数値は合計8種である。この8種の数値の合計を、教育漢字の各字ごとに合計して、読み書きそれぞれ1番から881番までの序列をまず作った。次に、その序列の全体を、さきに記述した教科書および各種配当案の漢字の学年配当字数をめやすにしながら、低学年から切り取っていった。なお、この操作の途中、さきに掲げた配当案作成基準の各項によって、各字の意味、相互の関係、および、あとから手に入れた下記の資料の数字などを参考にしながら、基礎的な序列に多少の変更を加えた点もある。

ア (社会的な使用度に参照させた資料)

志津田藤四郎調査

昭和26年6月6日～9月6日，12月26日，27年3月10日の朝
日新聞朝刊の使用漢字数

イ (読みの難易度に参照させた資料)

豊中市教育委員会調査，昭和25年12月施行，
中学3年生400人を対象としたテスト成績

こうして得た第1次配当試案の各学年配当字数は下記のとおり
である。

学 年	教科書平均	各種案平均	第1次試案
1	40	43	40
2	101	108	111
3	172	158	169
4	226	217	220
5	186	187	184
6	100	158	157
中 学	—	10	—
計	825	881	881

そのまとめの体裁は，下記のとおりである。

学習漢字学年別配当 (第1次試案)

昭和27年7月16日

	(番 号)	(漢 字)	(教科書)	(配 当 案)	(字 画)	(社 会)	(新 聞)	(作 文)	(読 字)	(書 字)	(合 計)
[1年]	1	一	1	1	1	6	1	1	3	2	16
	2	二	1	1	1	6	1	1	3	2	16

(中 略)

15	入	2	1	3	5	1	1	1	1	15
16	手	1	1	1	6	1	1	1	1	13

(中 略)

〔2年〕	4	左	2	1	3	4	2	4	2	1	19
	5	右	2	2	3	5	3	3	1	1	20
	6	年	2	1	5	6	1	1	1	1	18

(中 略)

〔4年〕	3	社	4	4	5	5	1	3	1	2	25
	4	貝	4	5	2	1	6	3	2	2	25

(下 略)

- 7 次に、第1次案を吟味修正して、第2次試案および最終試案を作成する。

第1次案で各学年に配当した各字を下記の資料を用いて吟味した。

ア 第1次案作成に用いた資料のうちの各種教科書の各学年提出順位と、各種配当案の各学年提出順位の平均。

イ 第1次案作成に用いた資料のうちの読みと書きとの難易順の平均。

ウ 下記の4資料の各学年における各字の読み書き成績。

調査者	調査 時期	人 数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
(a) 新潟県三条市 田中氏	24年	98	108	105	92	104	97
(b) 鳥取県春日井市勝川校	25年	—	202	188	160	154	127
(c) 長野県飯田市丸山校	26年	—	50	57	57	48	57
(d) 秋田県鹿角郡七滝校	27年	—	67	40	42	72	65

以上の3種の成績をつき合わせてみて、たとえば第1次案で、2・3年に配当した字のうち、アの成績が3.5以内、イの成績が2.5以内で、4年でのウの成績が80%以上のものおよび、その他の漢字で4年でのウの成績が90%以上のものを3年の漢字と

するというような方法で、第1次案の配当を修正して第2次配当案を作成した。

次いで、他教科に出てくる語表、および12国語教科書の新出漢字および読みかえ漢字表を作り、熟字の関係を考えながら第2次案を若干修正して第3次案（最終試案）を作成した。こうしてできあがった最終試案の各学年配当字数は、下記のとおりである。

1年	2年	3年	4年	5年	6年
40字	110字	170字	220字	182字	159字

C 漢字の指導とその効果

第 1 漢字学習成績の一般的傾向

テスト成績および諸報告から得られた実験調査における漢字学習成績の一般傾向のなかには、従来の諸調査の結果と一致している部分が少なくない。そういういわば公理的な性質をもった傾向の代表例としてあげられるものには、下記のようなものがある。

ア 学級全体の平均成績の上下は、指導法の巧拙によって決まる。

しかし、児童間の序列には、指導法の巧拙によって大きな変化は起らない。

イ 多くの漢字は、早い学年で提出され、国語の教科書で使用がくり返されるものほどよく記憶される。字画の多少は、1・2年以外は、それほど習得率に影響しない。

ウ 同じ字については、読むことのほうが書くことよりもやさしいのが普通である。既習字ならば、読むことのできる人数に対する書くことのできる人数の割合は40%から80%までぐらいのものが多。しかし、低学年では、一般に書ける人数の割合が高い。これは、低学年に提出されている漢字の量が児童の負担力に対して比較的少ないからではないかと思われる。多くの字のなかには、読めた人数よりも書けた人数のほうが多いものがある。これは出題形式・採点基準・カンニングなどの条件が、読みと書きとの場合で違うことから起るものと思われる。読みよりも書きのテスト成績の高い字の例としては、比較的初期に学ぶ画数や字画構成の単純な下記のようなものがあげられる。

(例) 人 川 大 口 女 生 出 車 足 学 金 東

エ 1年生を除いて、一般に漢字の成績は、男よりも女のほうがよい。しかし、野球とかすもうとか男の子にとって興味の深い物事に関する字は、男の成績のほうがよい。また、未習字の読みだけは、中学年以降、男のほうが成績がよくなるようである。得点のちからは男のほうが広く、女のほうは比較的密集している。

オ 個々の字の成績は、国語の教科書に提出され、教師が意図的に指導したものが高い。漢字以外、かたかなの指導などについても、わかりきった字であるという先入観念が指導者において意図的な指導がおろそかになったものの成績はわるい。この意図的な指導の効果は、読みよりも書きの成績に著しく現れるようである。

第 2 漢 字 の 指 導 効 果

漢字の指導効果については、従来も多くの報告があったが、なかには特別な指導形態・指導方法を前提にしているものも少なくなかった。しかし、今回の実験調査は、普通の指導を前提とした調査である。むろん、普通のありふれた方法をとるといっても、それはむろん決して漫然と教壇にたつことを勧めるものではなく、いうまでもなく普通の指導形式のもとで、やはり最大の効果のあがるようなくふうを求めているのである。そして、この実験指導の経験を通して従来の諸調査の結果を検討し、いずれの場合にも通ずる指導上の一般的な基準をさぐろうとしたのである。以下は、漢字の学習指導効果についての反省を項目別に切り取ってあげたものである。

ア 一般に、熟練した教師は児童の学習活動を生き生きとした形になるように指導するが、未熟な教師は教師自身の熱心な指導にもかかわらず、児童の活動が乏しい。むろん、児童の活動とは、やかましく声をあげたり、はでに動きまわったりすることを意味するものではなく、頭の中が絶えず指導の意図に沿って動いていく

ことを意味している。指導者は、できるだけ全部の児童が、それぞれに応じた方法で、学級の学習活動の計画に参加できるように準備する義務がある。これは、漢字の学習指導に限らず、指導の効果をあげるために必要な第1条件であるが、基礎的な知識の積み重ねの上に次の学習が成立するすべての教科にあっては、そのためにしばしば能力別指導の方法がとられる。能力別にグループを分けることによって、能力の高い児童には足ぶみをさせず、能力の低い児童にもむだな苦しみをなめさせないですむからである。ことに低学年における不適切な指導によって級友から取り残されるいわゆる教室内で作られる劣等児の発生を予防するためには、これは欠くべからざる方法であるとされている。

けれども、能力別グループ指導は、往々にして複式学級の指導と混同して理解される。その結果、教師の負担ばかりが増して、児童の学習効果は思うほどあがらないという訴えが起る。たとえば、できる児童に第10課の予習を命じておいて、その間にできない児童を相手に第8課の復習をするというような方法がとられることがある。これでは、人数の多い児童間の能力の差の大きい学級の教師は、その負担に耐えがたくなってくるわけである。能力別の指導というのは、漢字でいえば、能力の高い者と低い者と同種の作業をやらせながら量の上で差をつけるとか、逆に同じ漢字について、やや内容の異なった作業を課するなどして、教室全体ではだいたい等しい目的に向かっていく方法である点に注意しなければならない。

- イ 次に漢字指導の前提として、指導者が当用漢字表や同別表（教育漢字表）についてじゅうぶん通じていることが指導効果をあげるためにはぜひ必要なことである。たとえば、音訓表になく、したがって教科書でも意図していない読み方の指導に努力し、かえって必要な読み方の指導を怠るようなことは、指導上の不経済といわなければならない。また、教科書と違う字体を板書して、児

童にもそれが気づかれないとすれば、やはり学習上のむだである。教科書が通常意図していない読み方の例としては、次のようなものがあげられる。

父（フ・チチ）	おとうさん	} は、かなで書く。
母（ボ・ハハ）	おかあさん	
兄（ケイ・キョウ・ウ・アニ）	おにいさん	
姉（シ・アネ）	おねえさん	
先（セン・サキ）	マズ	} とは読まない。
故（コ）	ユエ	
挙（キョウ）	アゲル	
永（エイ）	ナガイ	
家（カ・イエ）	ウチ	
体（タイ・テイ）	カラダ	
魚（ギョウ・ウオ）	サカナ	
河（カ）	カワというときには川を用いる。	} とは読まない。
五月（ゴガツ）	サツキ	
今日（コンニチ）	キョウ	

何故 ……………「何ゆえ」「なぜ」と書く。

ただし、当用漢字の全部について、こうした点についていちいち正確な知識をもつことを、すべての教師にただちに要求することがむりな場合もある。しかし、指導すべき漢字若干ずつについて、そのつど音訓・字体・筆順・代表的な熟字の種類・送りがないなどにつき、適当な参考書や辞書などによって確かめておくだけでも、指導上の効果は異なる。

ウ 次に、さらに一般的ではあるが、基本的に留意すべき事がらとして、漢字を表意文字として指導すべきことがあげられる。漢字が表意文字であることは、観念的にはだれでもいちおう知っていることである。ところが、往々にして学習指導の際にこのことが忘れられるので「人りの人が木ました」式の書き方が行われる。したがって、たとえば漢字カードを作らせる際にも、孤立した1

字として書くだけでなく、必ず送りがなを伴った形、あるいは熟語の形でその具体的な用例の記入を忘れてはならないわけである。つまり、漢字に習熟するということは、漢字を1語として理解することから出発しなければならないといえる。

エ 次に具体的な指導の場において、指導上の焦点がはっきりしているかどうかで、同一時間内における学習効果に差が生ずる。何という漢字のどういう点を主として、どんな手順で指導するのかという計画がはっきりしていて、思いつきや連想による学習指導のでたらめな進行がなければ、それだけ時間のむだは省けるわけである。このような焦点のはっきりした指導が行われているかどうか、または予期した効果が現れているかどうかについては、1回3～4分ぐらいの簡単な中間テストが、反省の資料を与えてくれる。

オ 学習成績を高めるために、反復練習の方法を用いることは、最もそぼくではあるが効果の高い方法である。読みについては、熟読・精読の方法を勧めるほか、4年生ごろからの読書意欲の高まる時期に読書環境の整備をはかってやるなども、有効な手段とされている。書きについては、しばしば書きの練習が行われる。しかし、このために時間を特設したり、家庭作業にもちこませたりすることについての批判は相当に大きい。経験の深い指導者は、児童の苦痛の大きな割に効果の少ない方法、あるいは時間をとる割に効果の乏しい方法は、児童の漢字学習に対する興味をそこない、他の教科の学習によくない影響ももっていると説いている。また、激しいドリルの結果、一見効果があがったように見えても、それは一時的のもので忘れやすいともいっている。そして、漢字の書きの練習は、短時間ずつ間をおいて行うのが最も効果があがっているという。

この漢字の書きの練習について、同じ漢字を幾回も書くことを強制すると、児童はその単調さを救おうとして、1字ずつ完成し

ていく代りに、たとえば「土」という字を5回書かせる場合ならば、

(第1回) 一 一 一 一 一

(第2回) 十 十 十 十 十

(第3回) 土 土 土 土 土

というように、5個の字が同時に完成するような作業法をとることがある。むろん、このような方法が、その字の練習として、多くの効果をもたらすとは考えられない。

これに関連して、筆順指導の意味で、「土」の字についていえば、

土 一 丨 一

のような一画ずつの筆順をたどって練習させることがある。また、完成された1字を構成する、点画のいちいちに筆順番号をつけたものとか、同じく完成された1字の各構成部分を色分けにして筆順を示すとかいう方法がある。このそれぞれの方法には、それぞれの特長もあるわけであるが、字形を記憶させるための練習用としては、

一 十 土

式の形の筆順表のあとをたどらせるのが割合効果的であるとされている。というのは、「一・十・土」の形のあとをたどらせる場合、児童の身体的な活動としては、「一・十・土」にすぎないが、心理的には最初の「一」の形を書くときも、次の「十」の形を書くときも、すでに、「土」という完成された形を心のなかに思い浮かべているわけである。そうすると、心理上では、「土」の字を3回書いて練習したのと同じ効果をもつばかりでなく、「土」を3回書くよりもはるかに興味的でもあるというのである。

カ 次に誤答の面から学習指導の効果を考えるとすれば、まず読みの誤答には、発音指導や表記指導の不足からきているものが少なくない。たとえば、次のような例は、口頭で答えさせれば、ある

いは正答として計算されるかもしれないものである。

授業（じぎょ） 苦しい（くりしい）

弟（おとと） 室内（ひつない）

興味（きょみ） 学校（がこ）

かなづかいのまちがいなども、口頭のテストでは誤答の数に加わらないものであろう。また、送りがなの指導がしっかりしていないために起る誤りには、次のようなものがある。

（ 美 美	し し	い い	（ 歩 歩	い い	て て	ひ いもう	人 妹	と と
	うっ			あるく				
	うつくしい			ほ				

これらは、指導上のわずかな差によって、テストの数量的な結果に著しい違いを生じてくる例である。

キ 書きの誤りは、音の類似から

日一火 夜一用 気一本

形の類似から

石一右 音一意 永一泳

などのほか、ヘンとツクリとを逆にするとか、字の構成部分の上下をまちがえるとか、あるいは連想によって、

親一母 字一書 刀一切

などとするとか、熟字では、

先生→生先 世界→界世

などのように誤るものもある。なかでも、圧倒的に多いのは、1点1画の過不足による誤りである。この点画の過不足は、単なる一時的な錯誤による場合のほか、本人がそれが正しいと確信している場合も少なくない。それは教師がうそ字を板書したのを覚える場合もあるし、児童自身の錯誤が固定した場合もある。このように一時的な不注意によるものではないものについては、教師が教科書の文字に注意をはらうほか、児童の作品を掲示する際などには、必ず誤字を朱筆で訂正して、児童全体の認識を深めるよう

な常時の指導が考えられなければならない。

ク さらに、漢字の指導には辞書の利用が考えられるが、辞書の指導はその引き方に重点があるのではなく、字句の理解やその利用のしかたを会得させることに指導の重点がおかれるべきであろう。ことに小学生用の漢字の辞書は、いわゆる漢和辞典ではなく漢字の字形や用法を覚えさせるための教材である。したがって、むずかしい語句を多く集めるよりも、児童の環境や生活に即した語句が適切な理解をさそう説明で示されているものが望ましいということになる。また、字句の解説を求めるだけでなく、しりとりに遊びや熟語・単文作りなどにも利用すべきものと考えなければならない。そのように、辞書を漢字の学習に密接に結びつけるとすれば、漢字辞書は国語辞書のほかにあるべきものとなり、また、部首なども自然字画から漢字のあるページを求めるためよりも、むしろ字画構成そのものについての分析力を養わせる手段として利用する面に重点がおかれなければならないことになるわけである。こうした意味で、児童自身に簡単な辞書作りをさせることも、漢字習得の手段として有効である。

ケ 以上のほか、学習用具も学習能率に影響があるが、ことに低学年では濃い鉛筆とケイのないノートが漢字の書きの指導には有利であるといわれている。このうち濃い鉛筆は比較的減りが速いので、父兄または教師が絶えず注意して削っておいてやらなければならないが、低学年では鉛筆の先をそれほどするどくとがらせておく必要はない。ノートのケイは、もしあるとしても色のうすいものが好ましい。ケイに制限されないで伸び伸びと大きく書くように指導すれば、低学年の基礎的な期間に字体や運筆指導の際、教師がいちいちのぞきこまなくても注意が行き届くし、また、児童の字を書く姿勢の指導上にもよいとされている。

第 3 注意すべき指導例

以上は、漢字の学習成績の一般的傾向ならびに指導法と効果との間の一般的関係についての反省であった。したがって、学習指導の方法が特異なものでないかぎり、多くの場合に妥当する事がらばかりである。しかし、実際の指導の場にあっては、必ずしも児童の反応が常に等しいとは限らない。そうした部分について、実験指導の観察結果から重要な反省資料となるとと思われるものを拾えば、下記のような例があげられる。

- ア 既習字についての知識を整理させるために、グループごとに字形の似た字を集めさせた。次いで、グループごとに代表を出させて板書させ、板書した字を皆に読ませ、さらに各字の異同を見つけさせた。この方法は、いつでも行うことはできないが、ほとんど全部の児童を興味のうちに参加させることができる。
- イ 機械的な練習よりは、遊戯化するほうが学習を楽にするが、ゲーム化も度を越すと時間をくいすぎるおそれがある。背中黑板競争をやらせたところ、児童の興味が著しく、15分ぐらいの予定が、皆の要求によって延ばさざるを得なくなった。
- ウ グループ内で相互指導をさせたところ、筆順については、教師が板書して示すよりは効果的であった。
- エ 空中書きをくり返させたのち、児童を前に出して板書させてみたところ、文字そのものの書けない者が意外に多かった。これは、空中書きだけでは完成した字形をつかませるのがむりなためかと思われる。その後、ノートに練習させたところ、前の空中書きの練習効果も加わったためか、筆順についても意外な好成績を収めた。
- オ 新出字は、読みの指導をしてから時日をおいて書きの指導をすると、書きについては読みのときほどの関心を示さない。読みと

書きとは、なるべく時間を離さないで指導したほうがよいように思われる。

カ 教師の漢字（漢語）カードは、指導の印象の新しい間は、しまいこまないで教室の壁に掲げておくのがよい。しかし、漫然と次から次へ無数の漢字を掲示しても、かえって児童の注意はひきつけにくいようである。この意味で、小黒板を掲示カードの代りに利用するのもよい。ただし、接・筆・数のように字形のこみいったものや、開と閉・水と氷などのように似通った字は、掲示する前に、字画構成や異同点などについて、板書によってじゅうぶんな指導を加えなければ、期待するような効果は得られないようである。

キ 経験によれば、書きの成績をあげるのには、既習字のうちから字種を選んで指定し、テストの予告をするのが、最も効果的のようである。

ク テストをしてみると、読みに比べて、書きを覚えることが、どんなに困難なものであるかがわかる。読みの記憶を確かにする機会は割合に多いが、書きは、国語の教科書にその字が出てくる場合を除いて、なかなか指導の機会がない。しかし、カードを作らせておけば、練習の機会は比較的多く求めることができる。ただ、この場合でも、国語教科書に出てこない字の成績は、一般に低い。

D テストの実施とその成績

第1 テストの目的と実施の方法

漢字学習指導研究会は、学習漢字学年別配当試案のもつ妥当性の範囲および程度を測定するために、それを実地の学習指導に適用した結果をテストして資料を得ようとした。したがって、テストは終末テストを主としたが、未習字の成績をさぐるために事前テストをも行った。ただし、昭和27年度のテストは、昭和28年度のテストの方法内容を準備する意味で施行したものである。

施行の時期は、初年度の事前テストは、昭和27年の9月、終末テストは28年の1月とした。これは、初年度の実験指導が、9月に開始され、12月で終わるように計画されたからである。次年度は、昭和28年の4月に事前テストを行い、29年の2月に終末テストを行った。終末テストを3月にしなかったのは、23年度の結果の概略が、おそくとも29年度の初めまでにわかっていることが、29年度の事業計画をたてるのにつごうがよいと考えたからである。

テストは、27年度の事前テスト以外は、各学年の全部の児童に対して、その学年の配当字の全部について、読み書きともに施行した。27年度の事前テストだけは、各学年の配当字のうちから、1年20字、2年40字、3年～6年50字ずつをアトランダムに選び、これを昭和25年に文部省初等中等教育局で実施した書きのテストのそれぞれの学年での成績順に並べ、交互にその学年の読みのテスト字と書きのテスト字とにより分けた。テストの際に各字に与えた読み方は、各検定国語教科書に比較的多く用いられているものとし

た。また、両年度とも、事前テストと終末テストとでは、各字の読み方を等しくなるようにした。

問題の印刷は縦書きとし、読みの場合には漢字のかたわらのかっこのなかにひらがなで書き入れさせ、書きの場合には四角のなかに漢字を書きこませる形式をとった。

出題の例 読みの場合 () お 月 さま
書きの場合 ☐ をよむ。

初年度の事前テストの問題は、最初から漢字学習指導研究会で作った。しかし、同じ年度の終末テストの問題は、各学年2名ずつの実験指導担当者の意見を折衷して作成した。次年度の本調査では、事前テストの問題は、前年度準備調査の終末テストの問題の不適當な部分を多少修正したものを施行した。終末テストの問題は、さらにこの事前テストの問題に多少修正を施したものを施行した。テスト問題は下記のとおりである。この印刷は、便宜横組みとしたが、問題は西洋紙に縦で印刷した。

【昭和27年度事前テスト問題】

(1A)

() のなかに よみかたを かなで かいて ください。

() () () () ()
お 月 さま。 山 のほり。 やねの 下。 三 にん。 八 にん。
() () () () ()
口。 水。 目。 あさの 九 じ。 お 正 がつ。

(1B)

☐ のなかに かんじを かいて ください。

☐ ^{あい}さい。 ☐ ^{いち}ねんせい。 うちの ☐ ^{なか}。 ☐ ^ひがもえている。
☐ ^{しろ}いひげ。 ☐ ^{ほん}をよむ。 ☐ ^{ひだり}のほう。 ☐ ^{よく}ばん。 ☐ ^{しち}ばん。 てと ☐ ^{おし}。

(2A)

()のなかに よみかたを かなで かいて ください。

() () () () () ()
学 校。 十 五 分。 多 い。 夏。 夕 が た。 犬。

() () () () () ()
年 を と っ た ひ と。 力。 天 き が よ い。 田 ん ぼ。 地 め ん。

() () () () () ()
竹。 出 る。 来 ま し た。 む か し と 今。 作 文。

() () ()
考 え て い る。 母。 心。

(2B)

□のなかに かんじを かいて ください。

げん き よく □ を あ け ま し た。

くろ い □ を □ し く だ さ い。

こえ □ を だ し て ほ ん を □ む。

うし □ の よ う な か た ち を し た □。

せん □ え ん さ つ。 に っ ぽ ん の □。

もう □ に な り ま し た。

し □ ら な い □ の こ が □ か □ て い ま す。

は た け の □。

こ っ ち の □ に よ い □ が あ り ま す。

(3A)

()のなかに よみかたを かなで かいて ください。

いち () () () () () () () ()
一 里。 遠 く。 古 い お 寺。 深 い。 自 由。 研 究 す る。

() () () () () () () ()
太 い 柱。 短 い 指。 木 の 根。 銀 の 星。

() () ()
注 意 する。はなが 散 る。 実 になる。

() () ()
苦しそうな 顔 で 返 事 をしました。

() ()
教 室 まで 持 っ てきてください。

() () ()
電 車 にのっ てお 客 さまを 送 っ ていきました。

(3B)

□ のなかに かんじを かいて ください。

□ を □ くしたり □ くしたりする。

□ い □ もつを □ っぱりあげました。

午 □ , 野 □ をしました。

□ のなかに □ 場がたちました。

あすは □ です。 □ 心 しました。

□ の □ □ 。 三 □ め。

□ しい □ 。 □ しい 野 □ 。

□ りもの。 □ もの。 □ のうえ。 □ 界 で一 □。

(4A)

() のなかに よみかたを かなで かいて ください。

() () ()
次 の 週 には, 童 話 や 詩 をつくろう。

() () () ()
太 陽 の 位 置 。 観 察 する 係 。

() () () ()
平 和 な 時 代 。 目 的 と 計 画 。

() ()
順 に 飛 んでいきました。

() () ^{ざよう}
十五才で卒業しました。

() ^{ぶつ} () () ^{ない}
植物園に案内した。

^{でん} () ()
電報がうてない不べんなところ。

() ^{さん} ()
約三メートル低い。

() () ^か
鼻。 唱歌。

(4B)

□ のなかに かんじを かいて ください。

^し ^{けん} ^と ^{かん} ^{かわ} ^よ ^{てい}
□ 験の時間 が, □ る予 □ です。

^{かい} ^{いつ} ^{とち}
□ ひろいで一 □ になりました。

それを □ えると, 二 □ になります。

^{みづ} ^ふ ^{ふね}
水 □ が 船 のうえではたらいっている。

とり □ まれて, □ うごきができない。

^{はな} ^{そだ} ^{なよう}
花を □ てました。 □ 同募金。

^{さん} ^{すう} ^{ちよう} ^{まが}
算 □ のれんしゅう □ 。 □ る。

^{けう} ^き ^{こく} ^{みん} ^{しつ} ^{ちん}
□ 気のある国 □ 。 質 □ 。

^{でい} ^{でん} ^{でん} ^{しん} ^{はし} ^お ^{きよう} ^{そう}
□ 電。 電 □ ばしら。 早起き □ □ 。

^{びよう} ^{いん} ^{こおり} ^{はく}
病 □ 。 □ や。 ピアノの □ 。

(5A)

() のなかに よみかたを かなで かいて ください。

() ^{せん} ^{じよ} () ^し () ^し () ^{こう} () () ^び () ^{どう}
造船所。技師の資格。校舎の設備。講堂。

参()考()書()の定()価()。想()像()。正()確()。健()康()を増()す。

成()功()。責()任()をもち()て導()く。板()を張()る。

()例()をあげ()る。一()昨()日()の学()芸()会()。お宮()。

()この辺()から富()土()山()がみえ()る。

()善()と悪()。往()来()。余()っ()てい()る。

(5B)

□のなかにかんじを かいて ください。

きょう □ り、この停 □ 所は なくなります。

□ 本()に あまり 近 □ っ()ては いけま()せん。

事 □ が おこ()る。 □ 験()が ふか()い。

□ 地()の □ 業()の □ 史()。 □ 在()。 反 □ する。

感 □ する。 右 □ を あるく 規 □ 。

投 □ する □ □ 。 □ 質()。 それを □ 用()する。

さいばん □ 。 □ 養()が ある。 ご □ を たべ()る。

北 □ 星()。 一 □ 円()の 建 □ 費()。

(6A)

()のなかに よみかたを かなで かいて ください。

() 需()要() と 供()給()。 総()収()入()。 清()潔()な衣()類()。

() 検()査() する。 能()率()のよい 経()営()を 勧()める。 諸()国()。

成()績()。 胃()ぶくろ。 罪()を おか()す。 植()物()の 名()称()。

() () () 私製 はがき。 () 補給 する。

() 略 している。 () 動詞。 () 拝見。 () 印象。

() 是非 を 論ずる。

(6B)

□ のなかに かんじを かいて ください。

政 □ 政治。 法 □ の 解 □。 □ □ 陛下。

友だちを □ く。 家の □ 造。 □ 生的な へや。

□ 迎のことばを □ べる。 □ 真で □ 実なひと。

□ 教。 事 □ のために □ 雑する。 おじさんの □ 産。

電車 □。 現在と □ 来。 山本三郎 □。 □ 時＝ニュース。

酸 □。 □ 利。 □ 害。 □ ける。 戦 □。

【昭和27年度終末テスト問題】

(1年 よみ)

() のなかに よみかたを かなで かいて ください。

() () () () () ()
右の手。 左の足。 口の中。 白いひげ。

() () () () () ()
火のようじん。 一。 二。 三。 四。 五。

() () () () () ()
六。 七。 八。 九。 十。 お月さま。

() () () () () () () ()
目と耳。 赤い花。 さくらの木の下。 山の上。

() () () () () ()
本をよむ。 人が立っています。 大きな川。

() () () ()
青いうみ。 水をのむ。 先生。 日ようび。

() () ()
お正がつ。 小さい子ども。

(1年 かき)

□のなかに かんじを かいて ください。

^{みづ}□の^て□。 ^{ひだり}□の^{あし}□。 ^{くち}□の^{なか}□。 ^{しろ}□いひげ。

^ひ□のようじん。 ^{いち}□。 ^に□。 ^{さん}□。 ^し□。 ^こ□。

^{ろく}□。 ^{しち}□。 ^{はち}□。 ^く□。 ^{じゅう}□。 お^{つき}□さま。 ^め□と^{みみ}□。

^{おみ}□い^{はな}□。 さくらの^き□の^{した}□。 ^{やま}□の^{うえ}□。 ^{ほん}□をよむ。

^{ひと}□が^た□っています。 ^{おお}□きな^{かわ}□。 ^{おお}□いうみ。

^{みづ}□をのむ。 ^{せん}□^{せい}□。 ^{にち}□ようび。 お^{しょう}□がつ。

^{ちい}□さい^こ□ども。

(2年 よみ)

()のなかに よみかたを かなで かいて ください。

() () () () () () ()
雲が少し出て来ました。 風がふくと波が高くなる。

() () () () () ()
森や林で鳥がなく。 草のなかで虫の声がする。

() () () () () ()
心に思ったことや考えたことを、お話をするように書

()
けば、よい作文ができます。

() () () ()
汽車にのって知らない所へ行ってみたい。

() () () () () () ()
南の国。 天と地。 東。 北。 町や村。

() () () () () ()
父と母。 雨や雪。 男と女。

() () () ()
 お米や麦を入れるもの。 百時間。
 () () () () () ()
 紙を半分にきる。 長い糸。 友だちの名まえ。
 () () () () () ()
 わたくしたちの組。 玉てばこ。 いろいろ用が多く
 () () () ()
 ていそがしい。 今から千年も前のことです。
 () () () () () ()
 道の両がわ。 力を合わせる。 田んぼの黒い土。
 () () () ()
 うんどう会。 池のなかに何がいますか。
 () () () () () ()
 海へ向かって石をなげた。 毎朝、早くおきる。
 () () () () () ()
 夜おそくまではたらく。 谷まの方から竹を切る音
 () () () () () ()
 がしました。 西の空が金色に光って見えました。
 () () () () () ()
 字がよく読める。 元気に歩く。
 () () () () () ()
 夕がた門の戸をしめました。 春。 夏休み。
 () () () () () ()
 秋。 冬。 犬。 牛。 馬が走る。
 () () () () () ()
 学校の近く。 家の外がわ。

(2年 かき)

□のなかに かんじを かいて ください。

^{くも} □ が ^{すこ} □ し ^で □ て ^き □ ました。 ^{たま} □ てばこ。

^{かぜ} □ がふくと ^{なみ} □ が ^{たか} □ くなる。 ^{ひやく} □ □ ^し □ ^{かん} □。

^{もり} □ や ^{はやし} □ で ^{とり} □ がなく。 ^{かん} □ を ^{にん} □ □ ^{ふん} に きる。

^{くさ} □ の なかで ^{おし} □ の ^{こえ} □ が する。 ^{あち} □ と ^{いは} □。

□^{ところ}に□^{おも}ったことや□^{かゝ}えたことを、お□^{はなし}をするように□^かければ、よい□^{さくぶん}□^{ぶん}ができます。

□^き□^{しゃ}にのって□^しらない□^{ところ}へ□^いってみたい。

□^{がつ}□^{こう}の□^{もか}く。□^{いえ}の□^{もと}がわ。

お□^{こめ}や□^{むぎ}を□^いれるもの。わたくしたちの□^{くみ}。

いろいろ□^{よう}が□^{おち}くていそがしい。□^{とち}だちの□^なまえ。

□^{みなみ}の□^{くに}。□^{てん}と□^ち。□^{ゆき}や□^{あめ}。□^{おとこ}と□^{おんな}。

□^{いま}から□^{せん}□^{ねん}も□^{まえ}の□^{こと}です。□^{みち}の□^{りよう}がわ。

□^{ちから}を□^{あわ}せる。□^{ひがし}。□^{きた}。□^たんぼの□^{くろ}い□^{つち}。

うんどう□^{かい}。□^{いけ}の□^{なかに}□^{なに}がいますか。

□^{げん}□^きに□^{ある}く。□^{ちみ}へ□^むかって□^{いし}をなげた。□^{あき}。

□^{ふゆ}。□^{まい}□^{あき}、□^{はや}くおきる。□^{よる}おそくまではたらく。

□^{たに}まの□^{ぼろ}から□^{たけ}を□^きる□^{おと}がしました。□^{うま}が□^{はし}る。

□^{いぬ}。□^{うし}。□^{にし}の□^{そら}が□^{きん}□^{いろ}に□^{ひか}って□^みえました。

□^じがよく□^よめる。□^{はる}。□^{なつ}□^{やす}み。□^{なが}い□^{いと}。

□^{ゆち}がた□^{もん}の□^とをしめました。□^{まち}や□^{むら}。

(3年 よみ)

()のなかによみかたをかなでかいてください。

いち() () () () () ()
一里。 古いお寺。 自由。 研究。 鉄。

() () () () () ()
太い柱。 短い指。 木の根。 草の芽。

() () () () () ()
銀の星。 注意。 散る。 実がなる。 苦しい。

() 返事。 () 黒板。 () 教室。 () 持つ。 () 妹。 () お客。
 () 送る。 () 坂。 () 弱い。 () 息を強くする。 () 重い。
 () 荷もつ。 () 平気。 () 引く。 () 三回め。 () 午後。
 () 庭。 () 野球。 () 遊ぶ。 () 広い畑。 () 工作。
 () 日曜日。 () 晴。 () 安心。 () 感心。 () 心配。
 () 弟。 () 病気。 () 始まる。 () 楽しい歌。 () 美しい原。
 () 売る。 () 品。 () 買う。 () 三角。 () 台。 () 世界。
 () 深い。 () 決して。 () 悪い。 () 石炭。 () 駅。 () 運ぶ。
 () 千円。 () 王様。 () 橋。 () 流れる。 () 図画。
 () 人形。 () 絵。 () 開く。 () 寒い。 () 起きる。 () 海岸。
 () 岩。 () 兄。 () 顔。 () 喜ぶ。 () 日記。 () 暗い。
 () 急ぐ。 () 帰る。 () 級。 () 文庫。 () 去年。 () とび魚。
 () 写生。 () 遠く。 () 東京。 () うお市場。 () 国語。
 () 勉強。 () 黄色。 () 着ている。 () 死ぬ。 () 役。
 () 動物。 () 者。 () お茶屋。 () お店。 () 主人。
 () 神さま。 () お礼。 () 申す。 () 月の都。 () 集まる。
 () 住む。 () 勝つ。 () 負ける。 () 肉。 () 食べる。 () 乗る。

() () () () () ()
 船。 進む。 島。 地面。 落ちる。 葉。
 () () () () () ()
 毛。 皮。 親。 同じ。 新聞。 列。
 () () () () () ()
 待つ。 そうじ当番。 終る。 だい一号。 昼。
 () () () () () ()
 明かるい。 発電所。 横。 細い。 道路。
 () () () () () ()
 刀。 拾う。 使う。 鳴く。 別。 通る。
 () () () () () ()
 旅。 答。 表紙。 助ける。 頭。 首。
 () () () () () ()
 追う。 受け取る。 陸。 三度。 投げる。

(3年 かき)

□のなかに かんじを かいて ください。

いち り 一 □ ほどいくと □ いお □ があります。

じ ゆち に □ □ する。 てつ でつくった □ い □。

みじか りば な の □ や 草 の □。 どん の □。

ちゅう い □ □ する。 はな が □ り, □ になる。

くろ し そうな こえで □ □ を しました。 黒 □。 □ □。

かばんを □ ってくる。 □。 お □ さまを □ って, □ み
ちの ところまで いく。 □-を □ くしたり □ くしたりする。

い □ もつを □ 気で □ っぱりあげました。 三 □ め。

□ □, □ で □ □ をして □ びました。 □ い □。

こう さく じかん 作の 時間。 にち □ び。 あしたは □ です。

あん しん □ 心する。 かん しん □ 心する。 しん ぱい 心 □ する。 おとうと びよう □ の □ 気。

□^{だの} しい □。 □^{うた} しい □^{ちつく} 草 □。 □^う り出しが □^{はじ} まると、
□^{しな} ものを □^か う人^{ひと}が おおくなる。 三 □^{さん} ほうし^{かく}の とけい □^{がい}。

□□^{せ かい} でいちばん □^{ふか} いところ。

あの子^こは □^{けつ} して □^{わる} い子^こでは ありません。

石 □^{せき} を □^{たん} まで □^{えき} ぶ。 千 □^{せん} さつ。 □^{まん} □^{おち} □^{をま}。

□^{はし} の うえから 川^{かわ}の □^{なが} れを みる。 □^ず □^が のじかん。

人 □^{にん} の □^{びよう}。 おはなし 会^{かい}を □^{ひら} きます。

□^{さむ} いあさでも はやく □^お きましょう。 海 □^{かい} の □^{がみ} □^{しわ}。

□^{おに} は、わたくしの □^{かみ} をみて □^{よるこ} びました。 目 □^{にっ} □^き をつける。

□^{くら} く ならないうちに □^{いそ} いで □^{かえ} りましょう。 学 □^{がっ} □^{せう} □^{ぶん} □^こ 文 □。

□^{きよ} 年^{ねん} は、 □^{うお} つりや □^{しや} 生^{せい}に、 ずいぶん □^{とお} くまで いった。

東 □^{とう} □^{びよう} の うお □^{いち} □^ほ。 国 □^{こく} □^こ の □^{べん} きょう。

□^き 色^{いろ}な きものを □^む ているひと。 □^し んでも □^{やく} にたつ □^{どう} □^{ぶつ}。

あわて □^{もの}。 お □^{ちや} □^や。 □^{こせ} の □^{しゆ} 人^{じん}。

□^{かみ} さまに お □^{れい} を □^{もう} しあげる。

たくさんの ひとが □^{みやこ} に □^{まつ} まって □^す んでいる。

きょうそうに □^か ったり □^ま けたりする。 □^{にく} を □^た べる。

わたくしたちの □^の った □^{ふね} が □^{ます} むにつれて、 □^{じま} が みえてき
ました。 地 □^じ □^{どん} に □^む ちた 木^きの □^は。 ひつじの □^け。

うしの □^{かわ}。 □^{おや} 子^こ。 □^{おな} じ □^{しん} □^{ぶん} をよむ。

□^{れつ} をつくって □^ま つ。 そうじ □^{とう} □^{げん} が □^{さわ} る。

□^{はん} □^{こう} をつける。 □^{ひる} まは □^あ かるい。

はつ せん しょ の よこ ほろ どう ろ。 かたな
□ □ 所 の □ の □ い道 □。 □。

そんなものは、□ っても □ えない。 うぐいすが □ く。

□ のみちを □ って □ をつづけました。

□ は、□ 紙のうしろに かいて あります。

うらしまたろうの □ けた かめ。 □ と □。

うしろから □ いかけてくる。 たまてばこを □ け □ って、
□ へもどりしました。 三 □ もボールを □ げました。

(4年 読み)

() のなかに よみかたを かなで かいて ください。

() () () () ()
公園。 植物。 観察。 建てる。 この次。

() () () () ()
放送局。 案内。 望遠鏡。 材料。

() () () () ()
苦労する。 働く。 速力。 計算。 意味。

() () () ()
農夫。 野菜。 清らか。 緑色。

() () () () () ()
勢いよく飛ぶ。 食堂。 食器。 鼻。 血。

() () () () ()
止まる。 国民。 共同。 守る。 図書館。

() () () () () ()
二階。 姉。 家族。 加える。 二倍。 貝。

() () () () () ()
付く。 調べる。 昭和二十八年の末。 十一才。

() () () () () ()
体重。 お願い。 言う。 山田君は交通整理

() () () () ()
の係です。 打ち固める。 成人の日。

文(ぶん)化(か)の(の)日(ひ)。改(か)良(りやう)。便(べん)利(り)。自(じ)転(てん)車(しゃ)。石(いし)油(ゆ)。

綿(わた)。積(た)む。貨(か)物(ぶつ)。機(き)関(かん)士(し)。静(しず)か(か)に航(かう)海(かい)

する。九(きゅう)州(しゅう)。み(み)や(や)ざ(ざ)き(き)県(けん)。老(ら)人(じん)。連(れ)て(て)い(い)く。

愛(あい)する。孫(そん)。幸(きん)福(ふく)。育(そだ)てる。生(せい)活(くわく)。目(もく)的(てき)。

十(じゅう)秒(びょう)。以(い)上(じょう)。約(やく)二(に)丁(てい)。折(を)れる。有(いう)名(めい)。

病(びょう)院(えん)。仕(し)事(ごと)。歯(し)医(い)者(しゃ)。一(いつ)等(とう)賞(しょう)。

無(む)線(せん)電(でん)信(しん)。機(き)械(けい)。停(てい)電(でん)。防(ぼう)ぐ。方(ほう)法(ぽう)。

悲(かな)しい。文(ぶん)章(しょう)。命(めい)令(れい)。商(しょう)売(ばい)。道(どう)具(ぐ)。

身(み)う(う)ご(ご)き(き)。輪(りん)。曲(ま)げる。時(じ)代(だい)。十(じゅう)五(ご)銭(せん)。

一(いち)万(まん)円(えん)。リ(り)ー(ー)ズ(ズ)戦(せん)。試(し)合(あい)。出(しゅつ)席(せき)。予(よ)定(てい)。

報(ほう)告(こ)。不(ふ)必(ひつ)要(よう)。楽(がく)隊(たい)。電(でん)燈(とう)の(の)熱(ねつ)。

冷(れい)たい。氷(こ)え。囲(い)む。温(おん)度(ど)。低(た)い。太(たい)陽(よう)。

照(て)る。焼(や)く。暑(あ)い。続(つ)く。全(ぜん)部(ぶ)。生(せい)徒(て)。

点(てん)数(すう)。順(じゆん)に泳(およ)ぐ。英(えい)語(ご)の(の)詩(し)。最(さい)初(しょ)。

一(いつ)週(しゅう)間(かん)。覚(さ)える。正(しょう)直(ちき)。勇(ゆう)気(き)。粉(こな)ぐ(ぐ)すり(すり)。

お湯(ゆ)。飲(の)む。借(か)り(り)る。唱(な)歌(か)。帳(ちやう)面(めん)。港(こう)。

風(ふう)景(けい)。写(しゃ)真(しん)。湖(こ)の(の)底(ぞ)。(いろ)色(しき)が(が)変(へ)る(る)。伝(でん)説(せつ)。

()^わ 童話。 () 失う。 ()^{りよく} 努力する。 () () 位置。 () 移す。
 () () () ()^{がつ} 第二学期。 ()^き 気候。 () 季節。
 () () () ()^{やま} 山登り。
 () ()^{へいち} 害虫の群れ。 () () 現われる。 () 消える。
 ()^と 旗取り競争。 () お祭。 ()^{しゅう} 編集。 () () 印刷。 () 委員。
 () 選挙。 () 相談。 () 卒業式。 () 種類。 () 問題。
 ()^{はっ} 発達。 ()^じ 自治会。 () ()^{かい} 洋服。 ()^{かい} 社会科。

(4年 書き)

□ のなかに かんじを かいて ください。

□□ のなかの □ 物を □□ する。 家 □ を □ てる。

この □ には □ 送 □ へ □□ しましょう。

□ 遠 □ をつくる □□。 苦 □ する。 □ く。

□ 力を □□ する。 意 □ がわかる。

□□ が 野 □ をつくる。 □ らかな □ いろ。

□ いよく □ ぶ。 食 □ の 食 □ だな。

□ から □ が出たが、すぐに □ まった。 国 □。

□ 同する。 きそくを □ る。 図書 □ の 二 □。

□ の 家 □。 それを □ えると、ちょうど二 □ になる。

□ がらの □ いた岩。 □ べる。

ぼくは □□ 二十八年の □ に、十一 □ になる。

□^{おも}重^{じゆう}をはかる。 お□^おい。 お礼^{れい}を□^いう。

山田□^{やまだ}は□^く通□□^{こう かつ}の□^りです。 □^うち□^{かた}める。

□^{せい}人^{じん}の日^ひ。 文□^かの日^ひ。 □□^{かいりよう}した□□^{べんり}な自□^じ車^{てんしや}。

石□^{せき}と□^いとを□^{わた}んだ□^つ物船^{ぶつせん}のき□□^{かんし}。

□^{しず}かに□^{こう}海^{かい}する。 九□^{きゅう}の□^みみやざき□^{けん}。 □^{ちゅう}人^{じん}。

いぬを□^うれていく。 □^まする□^まを□□^{こうふく}に□^{そだ}てる。

生□^{せい}。 目□^め。 十□□^{じゅう じよう}上^{じやう}かかる。

□^{やく}二□^{ちよう}いって、みぎへ□^おれると、 □^{めい}名^{めい}な病□^{びよう}がある。

□^し事^{こと}。 □□^{はい}者^{しや}さん。 一□^{いつ}賞^{しょう}。

□□^ひ電^{せん}□^{でん}の□□^{きかい}。 □^{でい}電^{でん}を□^{ふせ}ぐ方□^{ほう}。

□^{かき}しい文□^{ぶん}。 □□^{めい}する。 □^{しょう}売^{ばい}道□^{どう}。

□^みうごきができない。 □^わのように□^まげる。 少年時□^{しょうねん とき}。

十五□^{じゅうご}。 一□^{いち}円^{まん}。 リーグ□^{せん}の□^し谷^{がい}。

出□^{しゅつ}する□□^{せき}です。 □□^{ほうこく}することは□□□^{ふひつよう}です。

楽□^{がく}。 電□^{でん}の□^{とう}。 □^{つう}たい□^{こおり}で□^{みこ}む。

□^{おん}度^どが□^{ひく}い。 太□^{たい}が□^{よう}る。

□^きけつくように□^{みつ}い日^ひが□^{つう}く。 □□^{じん}の生□^{せい}の□□^{てんしや}。

□^{じゆん}に□^{およ}いでいく。 □^{めい}語^ごの□^し。 □□^{さいしよ}の□^{いつ}間^{しゅうかん}。

□^{おん}える。 正□^{しょう}で□^{ゆう}氣^きがあるひと。

□^{こな}ぐずりをお□^ゆで□^のむ。 □^かりた□^{しょう}歌^かの□^{ちよう}面^{めん}。

□^{みだ}の風□^{ふう}を写□^{けい}にとる。 □^{しや}の□^{しん}。 色^{いろ}が□^{かわ}る。

□□^{でん}。 □^{どう}話^わ。 □^{うしほ}う。 □^ど方^{りよく}する。 □□^いを□^{ちつ}す。

□^めみを□^く□^ふ。

□^だ二学□^がは気□^きのよい□□^きにあたる。

その□^だのことについては、□□^{だんねん}ながら□□^{はんかい}です。

山□^{やま}りの□□^{のほ}。□^が虫の□^{むし}れ。

□^{から}われては、また□^きえる。□^{はな}取り□□^と。お□^{おつり}。

□^{へん}集して□□^{しゆ}する。わたくしたちの組^{ぐみ}の□□^{いん}。

□□^{せんきよ}。□□^{そうだん}する。□□□^{もつぎようしき}。□□^{しゆるい}。□□^{さんだい}。発^{はつ}□^{だつ}。

自^じ□^ち会^{かい}。□□^{ようふく}。□^{しや}会^{かい}□^か。

(5年 読み)

() のなかに よみかたを かなで かいて ください。

()^{りよく} 圧力。 ()^{げん} 原因。 ()^{けつ} 結果。 () 永久。 () 塩。

()^{どう} 講堂。 () 演芸。 ()^{かい} 司会。 ()^{ちゆう} 中央。 ()^{しつ} 応接室。

() 往復。 ()^{よう} 費用。 ()^{いち} 一億。 ()^{じん} 恩人。 ()^{えん} 運河。

()^{しつ} 失敗。 ()^し 雑誌。 ()^{てい} 定価。 ()^{ほう} 放課後。 ()^し 自然。

()^り 理解。 () 快い。 ()^ち 承知。 ()^{せい} 正確。 ()^ち 知識。 ()^{ぎゆ} 術。

() 限る。 ()^じ 漢字。 ()^し 試験。 ()^{さい} ばん 官。 () 判断。

() 迷う。 () 政府。 ()^{だい} 大臣。 ()^{てつ} 鉄管。 ()^{きぼう} 希望。

()^{ちか} 近寄る。 ()^{こう} 校舎。 ()^{けん} 建築。 () 討論。 () 規則。

() 破る。 ()^{じゅう} 住居。 ()^{かい} 会議。 ()^{けき} 欠席。 ()^{ぎやう} 漁業。 () 救い。

() () () () ()
求める。 区別。 許す。 主義。 協力する。

() () () () ()
完成。 興味。 示す。 北極。 神経。

() () () () ()
平均。 はい句。 大型。 尊敬。 筆。

() () () () ()
事件。 健康。 看護婦。 資格。 厚い。

() () () () ()
織物。 製造。 成功。 実際。 昨年。

() () () () ()
現在。 過去。 毒。 殺す。 賛成。

() () () () ()
発展する。 参考書。 歴史。 祝い。 感謝。

() () () () ()
似た性質。 お酒。 倉庫。 賞。 授ける。

() () () () ()
牧場。 周囲。 状態。 修理。 祖先。 従う。

() () () () ()
準備。 責任。 導く。 順序。 反省。 独立。

() () () () ()
精神。 貧しい。 同情。 浅い。 単に。

() () () () ()
改善。 想像。 貯金。 増す。 向こう側。

() () () () ()
測量技師。 設計図。 適當。 銅。 燃料。

() () () () ()
特に。 得意。 博物館。 団体。 肥料。 ご飯。

() () () () ()
例。 米俵。 投票。 副大統領。 標本。

() () () () ()
薬屋。 評判。 満足。 武器。 敵。 兵士。

() () () () ()
保つ。 山脈。 事務。 海水浴。 余る。

() 栄養。 内容。 非常に。 豊富。 留学。
 () 輸入。 記録。 この辺。 宿屋。 各地。 産物。
 () 比べる。 張る。 お宮。 毛布。 帯。 退く。
 () 志願。

(5年 書き)

□ のなかに かんじを かいて ください。

空気の □ 力。 原 □ と 結 □。 □ □ に わすれない。

□ 水。 □ 堂で □ □ 会 がある。 □ 会者。 中 □。

□ □ 室。 □ □ の □ 用。 一 □ 年。 □ 人。 運 □。

失 □。 □ 誌の定 □。 放 □ 後。 自 □。 理 □ する。

□ く □ 知してくれた。 正 □ な 知 □。 手 □ する。

□ りがある。 □ 字を書く 試 □。 さいばん □。

□ □ に □ う。 □ □。 大 □。 水道の鉄 □。

□ 望。 近 □ る。 新しい校 □ を 建 □ する。

□ □ 会。 □ □ を □ る。 住 □。 会 □ に □ 席する。

□ 業。 □ いを □ める。 □ 別する。 □ される。

民主主 □。 □ 力する。 □ 成する。 □ 味を □ す。

北 □ 星。 神 □。 平 □。 はい □ をつくる。

大 □ のトラック。 □ □ する。 □ で 書く。 事 □。

□ □ な からだ。 かん □ □ の □ □ をもっている。

□ い毛 □ 物。 □ □ する。 成 □ する。 実 □。

^{さくねん}□年。^{げんざい}現□。^{かこ}□去。^{むし}□虫を^{どう}□す。^{せいせい}□成する。
^{はつてん}発□する。^{せんこうしよ}□考書。^{なせし}□□。^{いわ}お□い。^{かんしゃ}感□する。
^{さけ}お□。^{そうこ}□庫。^{しやう}ノーベル□を□けられる。
^{ばくちやう}□場の^{しやう}□^い囲の□□。^{しやうり}□理する。^そ□先。^{したか}□う。
^{むゆんび}□□。^{せき}□□をもって^{むたひ}□く。^{むゆん}順□。^{はん}反□する。
^{どくりつ}□立の^{せいしん}□神。^{まし}□しい人。^{どうじやう}同□する。^{なき}□い川。
^{かいぜん}改□する。^{だん}□に。^{なか}あたまの^{そちぞう}中で□□する。
^{よく}よく□た^{せいしつ}□□。^{ちやうさん}□金する人が^{ひと}だんだん□^ましてきました。
^{むこう}向こう□。^{がわ}□□□□。^{そくりやう}□□□□。^{けいず}□計図。^{てきとう}□当な^{きうほう}方法。
^{てつ}鉄や^{どう}□。^{ねんじやう}□料。^{くべつ}□別な人。^い□意な^か科目。
^{はくぶつかん}□物館。^{たい}□体。^{ひりやう}□料。^{はん}ご□をたべる。
^{たい}□をあげて^{せつめい}説明する。^{こめ}米□。^{とうひやう}投□する。^{おほ}□大□□。
^{ひやうばん}□本をこしらえる。^{くすり}□。^{ひやうばん}□判がよい。^{まんそく}□足する。
^{ぶき}□器。^{てき}□の^{へいし}□士。^つ□つ。^{さんみやく}山□。^じ事□^{しつ}室。
^{かいすい}海□水□。^{ひゃくねん}百年□^{まへ}り前。^{たいやう}□□になるたべもの。
^{ないやう}内□が□□に□□だ。^{あめりか}アメリカに□^{がく}学する。
^{ゆにゆう}□入する。^き記□する。^{この}この□に□^{やど}屋はありますか。
^{かくち}□地の^{さんぶつ}□物を^く□べる。^{こおり}氷が□る。^おお□。
^{もう}毛□。^{おひ}□。^{しりぞ}□く。^し□願者。

(6年 読み)

()のなかに、よみかたを かなで かいて ください。

^{せい}() 清潔。^{るい}() 衣類。^{えき}() 液。^{ぎやく}() 貿易。^{しゆ}() 総額。^い() 胃腸。

()^{せい}衛生。 ()^{さん}酸素。 ()^い異なる。 ()^{ぎん}疑問。 ()^{しゅつ}提出。 ()^{ねん}年賀。

()^{しゅう}習慣。 ()^{さい}妻。 ()^{さん}遺産。 ()^{しき}式。 ()^{たい}壺。 ()^{じゆん}純益。

()^{きん}貴金属。 ()^{さん}鉱山。 ()^{けい}経営。 ()^{しゆ}納税。 ()^{ちよう}延長。

()^き危険。 ()^{ぞく}除く。 ()^こ仮小屋。 ()^{こく}忠告。 ()^{われ}我ら。

()^か歌詞。 ()^{たい}拡大。 ()^{たい}革命軍。 ()^き幹と切り株。

()^{げつ}月刊雑誌。 ()^{げい}歡迎。 ()^{にん}勤め人。 ()^ち基地。 ()^{せい}世紀。

()^{ぐん}郡。 ()^{きり}境め。 ()^{さつ}複雑。 ()^{ぞう}構造。 ()^{きよう}教訓。 ()^か効果。

()^{とう}系統。 ()^あ兼ねる。 ()^{ほう}憲法。 ()^{ほう}法律。 ()^{しき}旧式。

()^ど土蔵。 ()^ま招く。 ()^{にゅうじよう}入場券。 ()^じ臨時。 ()^じ自己。

()^{せい}氏名。 ()^い述べる。 ()^{また}再び。 ()^{きん}預金。 ()^へ減る。 ()^{きん}厳禁。

()^{もつ}穀物。 ()^ほ保存。 ()^じ事故。 ()^{ごう}混合。 ()^{ほつ}欲。 ()^{かい}誤解。

()^か皇后陛下。 ()^{かう}耕す。 ()^{さい}災難。 ()^{しゆ}採集。 ()^{けい}經濟。

()^{しゆ}諸政策。 ()^ち蚕。 ()^{しゆ}絹。 ()^{せい}私製はがき。 ()^{さん}財産。

()^ど制度。 ()^{せい}成績。 ()^{けん}検査。 ()^{きよ}許可。 ()^{きん}近視眼。

()^{どう}児童。 ()^{こう}孝行。 ()^し辞典。 ()^{かい}解釈。 ()^{よう}需要。 ()^く供給。

()^{こう}公衆道德。 ()^{しゆ}収支。 ()^さ差。 ()^{りやく}略。 ()^{にん}仁。 ()^{めい}証明。

()^{しん}推進。 ()^ひ是非。 ()^ま届ける。 ()^{じん}聖人。 ()^{むよう}仏像。

()^{けん} 拜見。 ()^{じつ} 誠実。 ()^り 処理。 () 舌。 ()^{さく} 創作。 ()^{たい} 絶対。
 () 損。 () ()^{てん} 逆の宣伝。 ()^{せん} 専門。 () 称する。 ()^き 気象。
 () 至る。 () 俗。 () 貸す。 ()^{けん} 条件。 ()^{しゃ} 著者。 ()^{しゅつ} 出版。
 ()^{こう} 候補。 ()^{じん} 個人。 ()^り 権利。 () 認めるか否か。 ()^{ふう} 暴風。
 ()^ど 程度。 ()^{せい} 政党。 ()^{きん} 賃金。 ()^{きょう} 宗教。 () 二つの派。
 () 能率。 () お墓。 () () 罪を犯す。 ()^{こう} 興奮。 ()^{とう} 弁当。
 ()^{つう} 通訳。 ()^{どう} 同盟。 () 就職。 () 勧める。 ()^{かい} 未開。

(6年 書き)

□ のなかに かんじを かいて ください。

()^{せい} 清 □ ()^{けつ} な □ ()^{るい} 類。 □ ()^{えき} 体。 ()^{いちねんかん} 一年間の □ ()^{ぼく} の □ ()^{そく} の □。

□ ()^い や □ ()^{ちよう} の □ ()^{せい} 生。 □ ()^{さん} □ ()^ぞ 。 □ ()^{こと} なった □ ()^{かん} 間を □ ()^{しゅつ} 出する。

()^{ねん} 年 □ ()^が ゆうびんをだす □ ()^{しゅうかん} 習 □。 ()^{おつと} 夫 と □ ()^{つぎ} 。

()^{ちち} 父の残した □ ()^{のこ} 産。 ()^い 金 □ ()^{さん} 拾 □ ()^に 万参千円なりの □ ()^{いち} □ ()^{まん} があり
 ました。 □ ()^{きん} 金 □ ()^{ぞく} のとれる □ ()^{こう} 山。 ()^{けい} 経 □ ()^{えい} する。

□ ()^{のう} □ ()^{かい} の 期限を □ ()^き 長 ()^{けん} する。 ()^{えん} 危 □。

□ ()^{かり} 小 ()^こ 屋を取り □ ()^や □ ()^と くように □ ()^{のぞ} 告 ()^{ちゆう} しました。

「□ ()^{われ} は海 ()^{うみ} の子 ()^こ」の歌 □ ()^か だけをいう。 □ ()^し 命 □ ()^{はく} □ ()^{たい} 命 □ ()^{かん} □ ()^{かく} 声機 ()^{せい} □ ()^き 。

□ ()^こ と切り □ ()^き □ ()^{かぶ} 。 □ ()^{げつ} 月 □ ()^{かん} 雑誌。 □ ()^{ぞつし} □ ()^{かん} 迎 ()^{ばい} 会 ()^{かい} □ ()^{つと} □ ()^{にん} め人。

□ ()^き 地を ()^ち 飛びたつ。 ()^と 二十世 □ ()^{せい} □ ()^{けん} 県 ()^{なか} の中の □ ()^{なん} □ ()^{さかい} め。

□ ()^{ふく} 雑 ()^{ぞつ} な □ ()^{こう} 造 ()^{ぞう} □ ()^{きょう} 教 □ ()^{くん} しても □ ()^{こう} □ ()^か 果 ()^が なかった。

同じ ^{けい} ^{とう} 統。 二つの ^{やくめ} 役目を ^か ねる。 ^{けん} ^{ほう} 法 と ^{ほう} 法 ^{りつ} 。

^{きやう} ^{しき} 式な ^{れい} ^{ぞう} 冷 ^こ 庫。 友だちを ^{よめ} なく。 ^{にゆうじようけん} 入場 ^こ 。

^{りん} ^じ 時 ^し ニュース。 自 ^じ ^こ の ^{じゆうしよ} 住所 ^し ^{どい} 名を ^の べる。

^よ ^{きん} 金 が ^へ る。 ^{げん} ^{じゆう} 重に ^{きん} ^し 止した。 ^{こく} ^{あつ} 物 を ^ほ ^{ぞん} 保 ^{する} 。

^{ふたた} ^じ 事 ^こ が ^{おこる} 。 ^{こん} ^{ざつ} 雑 ^{する} 。 ^{よく} ^{ぼう} 望。 ^こ ^{かい} 解 ^{する} 。

^{こう} ^{どうへい} ^か 下。 ^{はたけ} ^{たがや} 畑 を ^す 。 ^{さい} ^{なん} 二 に ^{あう} 。 ^{しよくぶつ} ^{さい} ^{しゆう} 植物 ^集 。

^{けい} ^{ざいじよう} ^{しよ} ^{せい} ^{さく} 経 ^上 の ^{かいこ} ^{きぬ} ^{いと} 政 ^{をとる} 。 ^{ざい} ^{さん} ^{せい} ^ど 産 ^度 。

^し ^{せい} 製 は ^{がき} 。 ^{せい} ^{せき} 成 ^{こく} ^さ 二 ^{する} 。 ^{ゆよ} ^か 許 ^{する} 。

^{きん} ^{しがん} ^じ ^{どう} 近 ^{おや} ^{こう} ^{こう} 二 の ^{こく} ^こ ^{てん} 親 ^{かい} ^{しやく} 行。 国語 ^の 解 ^こ 。

^{じゆ} ^{よう} 要 と ^{きよう} ^{きゆう} 二 。 ^{こう} ^{しゆう} ^{どう} ^{とく} 公 ^{ほう} ^{ふう} ^う 道 ^{てい} ^ど 風雨 の ^を しらべる。

^{しゆう} ^{にゆう} 入 と ^し ^{しゆう} 出 と の ^さ 省 ^{しよく} ^{りやく} する。 知 と ^ち ^{じん} 二 と ^{ゆう} 勇。

^{しよう} ^{めい} ^{しよ} 明 書。 ^{ふね} ^{すい} ^{しんき} 船 の ^{せい} ^ひ 進機。 ^{ろん} 非 を ^論 ずる。

^{しな} ^{もの} 品物 を ^{とど} ける。 ^{しん} ^{せい} 神 ^ば ^{しよ} 二 場所。 ^{ぶつ} ^{ぞう} 像 を ^{はい} ^{けん} 見 ^{する} 。

^{せい} ^{じつ} 実 に ^{しよ} ^り 理 ^{する} 。 ^{した} ^{あじ} 二 で ^{そう} ^{さくしよくせつ} 味わう。 作小説。

^{ぜつ} ^{かい} 対 に ^{そん} 二 は ^な ^{せん} ^{でん} 伝 ^{をする} 。

^{じぶん} 自分 から ^{せん} ^{もん} ^か 門家 と ^{しよう} 二 ^き ^{しよう} ^{つうほう} 気 ^{通報} 。

^{いた} 二 っ て ^{さく} ^{かんが} っ ぽい 考え。 おかねを ^か ^{じよう} ^{けん} 二 ^す 件。

^{ちよ} ^{しや} ^{しゆう} ^{ばん} ^{しや} 者 と 出 ^{りつ} ^{こう} ^ほ 者。 立 候 ^こ ^{じん} 二 人 の ^{けん} ^り 利 を ^{みと} 二 ^{める} か

^{いた} 二 っ か。 ^{せい} ^{とう} ^{せい} ^し 政 ^{きしや} ^{ちん} 政治。 汽車 ^こ 。

どの ^{しゆうきよう} 教 も、いろいろな ^は 二 に ^{わかれて} いる。

^{のちりつ} 二 を ^{あげる} 。 ^お ^{はか} 二 。 ^{つみ} ^{おか} 二 を ^こ ^{ふん} 興 ^{する} 。

ひるの ^{べん} ^{とう} 当 。 ^{つう} ^{やく} 通 ^{どう} ^{どい} 二 する。 同 ^{むす} 二 を ^結 ぶ。

^{ぎんこう} 銀行 に ^{しゆうしよく} 二 ^{する} ことを ^{すす} 二 ^め る。 ^み ^{かい} 二 開 の ^{やばん} ^{じん} 人。

第 2 実施時間と児童に与えた注意

昭和 27 年度は、事前テストでも終末テストでも、施行時間や施行にあたって児童に与えた注意の内容および方法などについては、各学級担任に一任した。ただし、施行時間は、大部分の児童が書き終る時間とした。昭和 28 年度の事前テストでは、前年度の各担任の報告に基いて、下記のような注意書きを印刷して、各学級担任に送った。

〔事前テストの実施について〕

（児童に対する注意）

お送りした問題を児童に配る前に、だいたい次のような注意を与えてください。

- (1) このテストは、みんなの成績を見るテストではなくて、どんな漢字がやさしくて、どんな漢字がむずかしいかを調べるテストです。ですから、ほとんど習わない字や知らない字ばかりですが、となりの人ののをのぞいたり、そばの人に教えてあげたりしてはいけません。
- (2) 問題は、裏を上にしてくばりますから、先生が「はじめ」というまでは、ひっくりかえさないでください。先生が「はじめ」といったら、表を向けて、まず忘れないで名まえを書いてください。
- (3) （以下、板書で形式を示しながら、）名まえは、ここに書きまします。それから、男の子は、「おとこ」と書いてあるところをマルでかこんでください。女の子は、「おんな」と書いてあるところをマルでかこんでください。
- (4) 答は、（読みのばあい）カッコの中にひらがなで書いてください。（書きのばあい）シカクの中に漢字で書くのです。

(テストの時期・時間)

- (1) 読みのテストは、書きのテストの前に施行してください。
- (2) 読みと書きとは別の日にテストしてもけっこうですが、読みおよび書きは、それぞれ1日のうちに終るように施行してください。
- (3) テストの延時間は、説明を含めて、だいたい下記をめやすとしてください。

	(2年)	(3年)	(4年)	(5年)	(6年)
読み	40分	60分	50分	50分	30分
書き	60分	90分	90分	90分	40分

ただし、これにこだわる必要はありません。

(結果の処理) ……………略

1年生の学級担任に対しては、以上の印刷物を送ったほか、下記のような注意書きを、それにそえた。

〔1年生の事前テストについて〕

- (1) 1年生の事前テストは、読みだけ施行してください。
- (2) テストは、児童をひとりずつ呼び出し、テスト用紙を示し、知っている字があったらいわせるようにしてテストしてください。
- (3) 児童の答は、教師が適当にメモして、それをまとめて成績一覧表を作ってください。
- (4) テスト時間は、全部の児童についての延時間を報告してください。

28年度の終末テストでは、もう1度テスト時間および注意の内容を各担任にまかせ、それについての報告を求めた。そのうち、テストに必要とした時間は、下記のとおりであった。

(学級)		(1年)	(2年)	(3年)	(4年)	(5年)	(6年)
	(読み)	A 20	30	50	75	45	40
		B 40	25	60	40	50	25
		C 10	50	50	20	60	30
		平均 23	35	53	45	52	32
(書き)		A 20	40	50	90	90	50
		B 40	35	90	55	70	40
		C 13	87	75	40	120	60
		平均 24	54	72	62	93	50

報告によれば、児童に与えた注意は、さきに記述した「事前テストの実施について」のなかに書いたものとだいたい同じである。ただ、学級によっては、下記のような点を付加したり強調したりしている。

- (1) □ のなかに書く漢字や、() のなかに書くひらがなは、けっきりとていねいに書いてください。
- (2) 時間はじゅうぶんありますから、あわてないで、ゆっくり落ち着いて書いてください。
- (3) 習わない字がありますが、知らなかったらとぼして書いてください。
- (4) 知っている字から早く書いていって、むずかしい字はあとからゆっくり考えましょう。
- (5) テストちゅうは話をしないこと。聞きたいことがあったら、手をあげて、先生に聞いてください。
- (6) まちがって書いたものを消すときには、消しゴムでていねいに消してください。もし、紙が破れたら、そのすぐ横に書いてください。
- (7) 全部すんでも、時間がくるまでよく見なおしてなおしましょう。送りがなを送りすぎていないかどうか。のばすときの「う」

の字をおとしていないかどうかなどを気をつけてください。

各学級の事前の注意は、短くて2分、長くて10分にわたるものもあったが、多くは3～4分であった。

第3 テストの成績

1 昭和27年度の前テストについて

第1表は、昭和27年度の前テストの各字の成績に、同年度の終末テストおよび昭和25年に文部省初等中等教育局で施行したテストのその学年の児童の成績を対照させた表の一部である。この表は第2表以下の表の基礎をなすものである。この表のなかの前テストの各字の成績のうち、未習字であるのに比較的多くの児童が正解している漢字は注意しなければならない。

第2表は、第1表で示したような成績を、1年から6年までを一つにまとめたものである。この表は、下記のような一般傾向が、昭和27年度の前テストにも現れていることを示している。

ア 未習字を含む成績よりも、既習字だけの成績のほうがはるかによい。

イ 読みと書きとを比べてみると、読みのほうがよいが、学習による成績の向上は、読みよりも書きのほうに著しい。

ウ 男女の成績を比べてみると、1年生を除いて、一般に女のほうがよい。

第3表は、未習字と既習字との成績の比較である。これだけでは決定的な結論を出すわけにはいかないが、既習字に対する未習字の成績は、読み書きともに2・3年生が低い。これは、1年生では家庭で事前に学ぶ字が割合に多く、また、4年生ごろからは、児童の読書量、書字量の増加によって、教室外での漢字力伸長の機会がふえるという従来の調査経験に一致する。

昭和27年度事前テスト1・2年各字の成績一覧(第1表)

(1年)		A学級		B学級		A学級		B学級							
漢 字	初中局 一年書き	読		み		漢 字	初中局 一年書き	書		き					
		事前(かつこ内は未習)	終末	配当字全部の平均成績	事前(かつこ内は未習)			終末	配当字全部の平均成績	事前(かつこ内は未習)	終末	配当字全部の平均成績			
山	83	80	98		(47)	95		一	75	50	96		53	91	
三	70	50	92		38	86		中	72	(86)	96		(0)	95	
月	68	74	94		(45)	75		六	68	(18)	90		36	93	
目	65	(10)	94		(0)	84		白	63	(4)	98		(0)	82	
九	63	26	60		45	57		本	62	(46)	96		(0)	86	
八	60	(30)	90		43	75		七	56	(14)	86		38	91	
口	47	(36)	100		(33)	89		火	45	(0)	55		0	93	
下	45	90	92		(2)	82		小	40	(4)	80		0	50	
水	36	(30)	76		(0)	89		左	25	34	92		0	70	
正	9	(6)	78		(0)	59		足	8	(2)	76		0	73	
既習		64	89		42	79		既習		42	87		42	82	
未習		22	—		18			未習		22	—		0	—	
平均	55	43	89	82	25	79	77	平均	51	26	87	79	13	82	84

(2年)

A 学級

B 学級

A 学級

B 学校

漢 字	初中局二年 書き成績	読			み			漢 字	初中局二年 書き成績	書			き		
		事前(かつこ内は未習)	終末(×印は未習)	配当字全部の平均	事前(かつこ内は未習)	終末(×印は未習)	配当字全部の平均			事前(かつこ内は未習)	終末(×印は未習)	配当字全部の平均	事前(かつこ内は未習)	終末(×印は未習)	配当字全部の平均
校	87	90	87		90	81		男	83	(4)	94		65	96	
年	79	(66)	81		31	80		糸	75	(0)	87		73	64	
力	74	(4)	92		(8)	69		気	72	14	87		(12)	72	
母	70	(20)	85		(55)	×91		元	69	(8)	94		(0)	66	
天	65	62	79		(47)	74		声	65	62	92		43	79	
文	63	72	87		(12)	74		方	61	38	66		51	57	
心	60	50	79		(16)	×63		黒	58	36	79		(0)	×23	
田	57	94	94		88	96		雲	55	12	85		(28)	68	
出	54	90	96		(73)	×89		土	53	84	96		88	87	
作	48	70	96		22	76		千	48	(12)	79		(2)	75	
夏	46	(30)	92		59	87		道	45	34	83		71	38	
考	41	70	89		(0)	81		知	36	(0)	75		(0)	51	
多	35	(0)	83		(0)	76		戸	28	52	75		49	38	
竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55	
犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70		(26)	59	
夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96		(6)	×42	
今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75		(8)	×45	
来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87	
分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28		(0)	×2	
地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68		(0)	53	
既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65	
未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29	
平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59

昭和 27 年度事前テストの成績一覧 (第 2 表)

学 年	テ ス ト 字 数	学 級	テスト字全部に ついての成績						既習字だけについての成績							
			読 み %			書 き %			読 み %				書 き %			
			男	女	平均	男	女	平均	既字 習数	男	女	平均	既字 習数	男	女	平均
1	10	A	28	23	25	14	12	13	3	51	32	42	3	46	39	42
		B	45	40	43	27	25	26	5	68	59	64	2	41	43	42
2	20	A	42	44	43	25	36	31	10	63	75	72	7	46	61	53
		B	27	38	32	17	27	22	9	53	72	63	11	28	46	38
3	25	A	31	37	34	34	47	40	10	61	69	65	16	50	69	61
		B	23	28	25	12	11	11	10	40	40	40	12	20	20	20
4	25	A	62	71	66	27	28	27	9	73	82	77	9	30	35	33
		B	75	83	79	17	19	18	7	76	84	80	1	81	74	78
5	25	A	69	71	70	37	42	40	16	75	77	76	15	39	44	41
		B	35	38	36	4	4	4	6	51	54	53	5	10	8	9
6	25	A	37	43	40	13	20	17	9	44	52	48	11	14	23	19
		B	52	46	49	28	21	24	—	—	—	—	—	—	—	—

(計) (526)(562) (255)(292) (660)(696) (405)(462)

昭和27年度事前テスト既習字・未習字の成績比較
(第3表)

学 年	学 級	読 み					書 き				
		字 数		成 績			字 数		成 績		
		既 習 字	未 習 字	既 習 字	未 習 字	未/既	既 習 字	未 習 字	既 習 字	未 習 字	未/既
1	A	3	7	42	13	0.44	3	7	42	0	—
	B	5	5	64	22	0.34	2	8	42	22	0.52
2	A	10	10	72	13	0.18	7	13	53	18	0.34
	B	9	11	63	8	0.13	11	9	38	4	0.10
3	A	10	15	65	14	0.21	16	9	61	7	0.11
	B	10	15	40	16	0.40	12	13	20	3	0.15
4	A	9	16	77	60	0.78	9	16	33	20	0.60
	B	7	18	80	50	0.61	1	24	78	12	0.15
5	A	16	9	76	59	0.78	15	10	41	37	0.90
	B	6	19	53	31	0.58	5	20	9	2	0.22
6		9	16	48	36	0.75	11	14	19	15	0.79

(計)

(680)(327)

(436)(120)

各学級事前テスト字と配当全字との成績比較

(第 4 表)

学 年	字 種 数	25初 年 2 月 3 月 中 局 書 き	読 み					25初 年 2 月 3 月 中 局 書 き	書 き				
			28年 1 月		29 年 2 月				28年 1 月		29 年 2 月		
			A 学 級	B 学 級	C 学 級	D 学 級	E 学 級		A 学 級	B 学 級	C 学 級	D 学 級	E 学 級
1	10	55	89	79	81	77	93	51	87	82	85	84	97
	40	—	82	77	77	73	82	—	79	84	78	73	83
2	20	42	81	72	73	91	98	39	78	58	76	88	94
	110	—	84	76	79	92	97	—	77	59	72	96	89
3	25	31	69	63	62	66	94	35	44	54	34	50	83
	170	—	70	72	61	60	93	—	38	52	31	41	80
4	25	20	80	92	68	73	97	20	60	54	44	55	81
	220	—	77	90	67	67	96	—	57	55	38	52	91
5	24	16	78	41	64	95	81	14	67	10	47	88	65
	182	—	79	43	66	95	82	—	63	10	49	88	60
6	25	24	78	59	95	64	87	21	62	47	93	41	77
	159	—	82	65	95	70	90	—	58	40	93	43	77

各 年 度 成 績 比 較 (第 5 表)

学 年	字 種 数	25年 2 ~ 3 月 初中局 書 き	読 み		25年 2 ~ 3 月 初中局 書 き	書 き	
			28年 1 月 2 学級平均	29年 2 月 3 学級平均		28年 1 月 2 学級平均	29年 2 月 3 学級平均
1	10	55	84	84	51	85	89
2	20	42	77	87	39	68	86
3	25	31	66	74	35	49	56
4	25	20	86	79	20	57	60
5	25	16	58	80	14	34	66
6	25	24	69	82	21	55	70

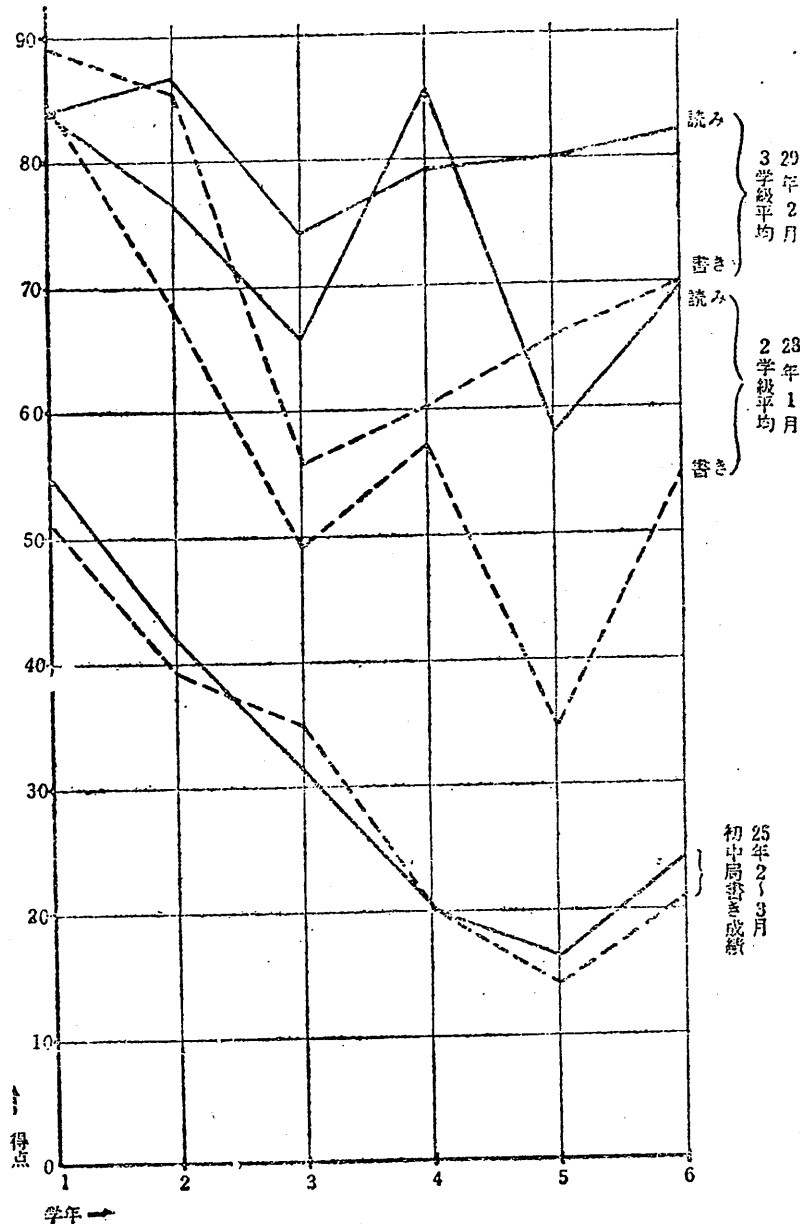
2 各テスト間の成績の関係

第4表は、学級ごとにその学年の配当全字の平均成績と、代表字の成績とを比較するために作ったものである。この表によって、各学年の配当全字の成績と、そのなかから抽出した10字～25字の代表字だけの平均成績との相関係数を求めれば、

「読み」では $r = 0.914$

「書き」では $r = 0.987$

昭和25年・28年・29年漢字読み書き成績比較図



となり、相関度はきわめて高い。ことに書きでは、完全相関に近い。このことは、配当試案の全字についての各学級の成績は、代表字の成績でじゅうぶん代表させることができることを意味している。

次に第5表は、第4表のなかの代表字だけの平均成績を年度ごとにまとめたものであり、これを図表化したのが、「昭和25年・28年・29年漢字読み書き成績比較図」である。この図によって、終戦直

後のまだ教育環境の整備がじゅうぶんでなかったころから、年々児童の漢字力が充実しつつ今日に至っていることがわかる。

以上は、漢字の成績全体について総合的に概観したのであるが、個々の漢字の成績はどうであろうか。例として、2年生の「竹」、「土」の2字について比較対照してみよう。

全員に対する正解者の率(%)	25 年 書 き	27 年度		28 年度		
		A 学級	B 学級	C 学級	D 学級	E 学級
竹 の 成 績	23	94	72	68	95	100
土 の 成 績	53	96	87	96	98	100
代表字20字のうちで正 解者の多少による順位	25 年 書 き	27 年度		28 年度		
		A 学級	B 学級	C 学級	D 学級	E 学級
竹 の 成 績	14	3～4	12	16	2～8	1～8
土 の 成 績	9	1～2	2～3	1～2	1～2	1～3

このうち、27年度、28年度とあるのは、両年度の終末テストの意味であり、「竹」はその読みの成績、「土」は書きの成績である。その成績は、各テスト単位ごとに正解者数の割合も異なり、その字の成績順位にも異動がある。しかし、この正解率ならびに正解順位の差は、テストをめぐる条件の違いによるものであって、それぞれの字にはある程度本質的にその学年における難易順というようなものがあるように思われる。そのような難易順というものは、少なくともここに掲げた2年生の6回のテストの成績から見れば、読みの「竹」よりも書きの「土」のほうに安定度が多いように見られる。このようなテストごとの正答率の差および成績順位が、全体としてどのような条件下にあるものかをさぐるために、各学年の代表字について一つのテストと他のテストとの間における成績の異同を計算して、それを相関係数表にまとめたものが、次の表である。

a 昭和25年（書き）のテストと、昭和28年度のうちの1学級の終末テストとの間の各字の成績の相関係数表

表	?	読 み		書 き	
		正 答 率	順 位	正 答 率	順 位
1	年	0.416	0.565	0.852	0.864
2	年	0.297	0.407	0.322	0.454
3	年	0.121	0.079	0.128	0.095
4	年	0.090	0.096	0.296	0.275
5	年	0.178	0.340	0.247	0.241
6	年	0.003	0.133	0.330	0.118

この表の欄の中の読みというのは、25年の書きの成績と28年度終末の読みの成績の相関であり、書きというのは、25年の書きの成績と28年度終末の書きの成績の相関である。一般に読みの欄よりも書きの欄のほうが相関度が高いように見えるのはそのためである。しかし、このうち各字の正答率そのものについての比較では、読み書きともに1年生以外は相関関係があるとは認めがたい。ただ25年の書きと28年度終末の書きとの間の正答率相関には相当に強いものがあるように見受けられる。正答順位のほうは、2年生にも読み書きともにやや確実な相関関係を認めることができるが、3年

ト 昭和28年度終末テストの同じ学年の2学級間の各字の成績の相関係数表

表	b	読 み		書 き	
		正 答 率	順 位	正 答 率	順 位
1	年	0.425	0.813	0.654	0.555
2	年	0.644	0.436	0.402	0.399
3	年	0.449	0.477	0.536	0.602
4	年	0.460	0.487	0.215	0.427
5	年	0.199	0.494	0.080	0.116
6	年	0.051	0.246	0.392	0.348

以上にはそれを認めることができない。

b 表は、昭和 28 年度の 3 学級のうち、2 学級について、読み書きそれぞれの成績を比べた結果である。ここでは、正答率については、読みは 1 年から 4 年まで、書きは 1 年から 3 年まで相互に従属関係があることが示されている。順位のほうでは、読みが 1 年から 5 年まで、書きが 1 年から 4 年まで相関関係にあることが認められる。相互の順位相関は 1 年生を除いて緊密であるとはいいがたいが、ほぼ確実である。相互の従属関係の認めがたいものは、5 年の書きおよび 6 年の読み書きだけである。

ただし、ここに掲げた数字からは、それ以上の結論をしいて引き出すことはできない。なぜならば、それぞれの背後にある条件を無視して、ただ機械的にその数字を指標として相関度の有無高低を論ずることは不可能だからである。たとえば、一般に二つのテストの間の平均成績に相当の開きがあると、正答率そのものの相関係数が低くなるだけでなく、各字の成績の序列にも狂いが生じてくる。それは、主として各学級の成績が正規分布をしていないので、各字の成績が一方では密集し、他方では散らばっている際に、群として見ればわずかな順序の差が、個々の漢字の序列に直すと大きな差となってくる関係からである。また、L 字形に近い成績分布の学級と J 字形に近い成績分布の学級、あるいは双方とも L 字形あるいは J 字形である場合には、各字の序列はでたらめである。ところが、それを計算すると、往々にして一つの学級で、ある 1 字の成績がよくても、他の学級でのその字の成績が悪くなるといういわゆるマイナスの相関関係に近い係数が算出されることすらある。また、たまたま両学級の各字の成績にある程度の相関があるように見える係数が算出されたとしても、他の学級と比べてみた場合、必ずしも常に相関が認められるとは限らない。つまり、a 表も b 表も、学習漢字学年別配当試案の各学年の配当字の成績についての普遍的な相関度を示しているものではなくて、特定の二つのテスト間の各字の成績の相

関度を示しているにすぎないものなのである。したがって、ここに示された数値が低いからといって、必ずしもその学年の配当字の序列に安定度がないとはいいきれないと同時に、 $+0.2 \sim +0.3$ 程度の相関係数では、ほかの場合をも含めて確実な相関があるという断定にまではもっていきがたい。そこで、ここでは、だいたい $+0.4$ 程度を相関関係ありとの指標とするのが、まず危険のないところかと思われる。以上のような含みのもとに、 $a \cdot b$ 両相関係数表を総合して、ほぼ次のような解釈が得られる。

ア 昭和 25 年の成績と 28 年度終末の成績との間では、1 年生だけに確実な相関が見られ、かつその相関度が高い。これは、最も基礎的な 30~40 字については、年度を隔てても、指導される字種に共通のものが多く、かつ意味・読み・字形ともに、入門期の児童にとって印象の明白なものとそうでないものとの区別に個人差があまり大きくないためであろう。

イ 25 年の成績と 28 年度終末テストの成績との間によりも、28 年度の両学級間の成績に相関が多く認められるのは、等しい字種について指導をすれば、教科書の内容や教師の指導法や環境などの差にもかかわらず、漢字の各字間の成績の序列が似てくるということを示している。しかし、このことが確実にいえるのは、割合に基礎的な字についてである。学年でいえば、書きでは 4 年まで、読みでは 5 年までの成績についてである。

ウ このように、正答率は学習上の条件や環境によって左右されても、正答順位は比較的に外部の条件に支配されにくい。このことは、字によって振幅を異にはするが教育漢字の各字には、本質的な難易順が決まっていることを推定させる理由となる。したがって、それに応ずる学年配当の可能性は、じゅうぶん考えられるわけである。

エ ただし、28 年度の 2 学級間の正答順位の相関が、読みでは 5 年に認められるのに、書きでは 4 年までしか確実には認められない

事実、および、一般に読みの成績よりも書きの成績のほうが学習による向上が著しい事実から、漢字の認知されやすさの条件は、漢字の想起されやすさの条件に比へて、字形・意味・文のなかの前後の関係などにいっそうよく結びついているものと想像することができる。これに反して、想起の条件は、その漢字についての経験にいっそう深く関係しているものと思われる。そうすると、漢字の学年別配当案は、漢字の初出学年を決めるものであるという意味から、書きの成績よりも読みの成績を重く考えて作成されなければならないことになる。したがって、昭和25年当時の書きの成績をもとにしていちおう文部省で作ってみた漢字配当示唆案は、新しい立場から多少の修正が必要となってくるわけである。

3 終末テストの成績

第6表は、各学級の終末テストにおいて、学年配当字のうち幾字

昭和27・28年度終末テスト総合成績一覧

第6表

(1年)

学級 (A B …… 27年度) (C D E …… 28年度)	A		B		C		D		E	
読み書きの別	読	書	読	書	読	書	読	書	読	書
ア 一人平均正答字数 (学年配当全字に対 する%)	31 (77)	34 (84)	33 (82)	32 (79)	31 (78)	31 (78)	29 (73)	31 (78)	35 (88)	33 (83)
イ 成績中位の者が正答 した字数	35	38	34	34	34	33	34	37	36	33
ウ (半数以上の者が正 答した字の数) (学年配当全字に対 する%)	39 (98)	40 (100)	37 (93)	35 (88)	36 (90)	35 (88)	40 (100)	37 (90)	37 (90)	33 (80)
試案の配当字数	40									

(2年)

	A		B		C		D		E	
	読	書	読	書	読	書	読	書	読	書
ア	92	85	84	65	89	79	101	95	106	98
	(84)	(77)	(76)	(59)	(79)	(72)	(92)	(86)	(96)	(89)
イ	104	96	92	72	91	82	109	104	103	102
ウ	106	105	100	77	101	91	110	110	109	109
	(96)	(95)	(91)	(70)	(92)	(83)	(100)	(100)	(99)	(99)
110										

(3年)

	A		B		C		D		E	
	読	書	読	書	読	書	読	書	読	書
ア	123	88	120	64	103	54	102	71	158	137
	(72)	(52)	(70)	(38)	(61)	(32)	(60)	(42)	(93)	(81)
イ	119	78	132	59	114	45	106	67	166	150
ウ	143	73	140	49	120	43	115	70	170	163
	(84)	(43)	(82)	(29)	(71)	(25)	(68)	(41)	(100)	(96)
170										

が正しく答えられているかの一覧である。このうち、ア欄・イ欄の数字は、漢字の字種の別をいちおう度外視し、各字を等質なものとして計算した数字である。このうち、ア欄は各学級の児童がひとりあたり平均幾字ずつ正答したかを示すものである。したがって同じ学年の5学級の成績は、分布の形を別とすれば、いちおうこれ

(4年)

	A		B		C		D		E	
	読	書	読	書	読	書	読	書	読	書
ア	198	120	170	125	147	84	148	115	212	200
	(90)	(55)	(77)	(57)	(67)	(38)	(68)	(52)	(96)	(91)
イ	216	126	192	131	164	83	157	51	217	207
ウ	219	122	208	142	174	62	157	122	220	220
	(99)	(55)	(94)	(64)	(79)	(29)	(70)	(56)	(100)	(100)
220										

(5年)

	A		B		C		D		E	
	読	書	読	書	読	書	読	書	読	書
ア	144	115	79	17	120	88	173	161	150	109
	(79)	(63)	(43)	(10)	(66)	(45)	(95)	(88)	(82)	(60)
イ	170	113	79	10	115	84	181	177	159	117
ウ	175	149	77	3	136	96	182	182	178	126
	(96)	(82)	(42)	(2)	(75)	(53)	(100)	(100)	(98)	(69)
182										

によって相互の優劣を見ることができるし、配当字数の各学年に対する負担度の軽重をもはかることができるわけである。

次に、イ欄の数字は、児童をこのテストで得た成績の順に並べ、それぞれの学級の中位の成績にあたる児童の正答字数を掲げたものである。したがって、各学級の成績をグラフに表わすのに、幾字で

(6年)

	A		B		C		D		E	
	読	書	読	書	読	書	読	書	読	書
ア	130	91	103	64	152	148	111	68	143	123
	(82)	(58)	(65)	(40)	(96)	(93)	(70)	(43)	(90)	(77)
イ	142	100	101	59	159	158	124	71	151	134
ウ	155	109	132	10	159	159	124	52	158	152
	(97)	(68)	(83)	(38)	(100)	(100)	(78)	(33)	(99)	(96)
159										

きたかの得点を横座標にとり、それぞれの成績を得た人数を縦座標にとるならば、ア欄の字数がイ欄より多い学級の成績分布曲線の山は左へ傾き、逆にア欄の字数がイ欄より少ないものは、分布曲線の山が右へ傾くことになる。つまり、1人平均正答字数が中位の児童の正答字数よりも多いということは、その学級の児童の一般成績よりも飛び抜けてよくできる若干の児童がいるという成績分布の傾向を示すものである。逆に、1人平均正答字数が中位の児童の正答字数よりも少ないということは、その学級の児童の一般成績に比べて、目だってできの悪い若干の児童がいるという成績分布の傾向を示すものである。したがって、平均正答字数が中位の児童の正答字数よりも多い場合には、成績のよい若干の児童が天才的な素質をもっているか、または特殊な環境に恵まれているのでないかぎり、教師の指導技術によって学級全体の成績の向上が期待できるわけである。また、逆に平均正答字数が中位の児童の正答字数よりも少ない場合には、成績の悪い若干の児童が著しく劣等な素質をもっているか、または極端に非教育的な環境にあるかでないかぎり、教師の治療的な指導法によって、学級全体の成績の向上が期待できるわけである。

る。

次に、ウ欄の数字は、各学級の半数以上の児童が共通に正答した漢字の数である。第6表の全体についてながめると、イ欄の字数がア欄の字数よりも少ない場合、全体の成績は一般に高くないが、ウ欄の字数がア欄の字数よりも少ない場合、さらにいっそう全体の成績は低い。また、イ欄の数字もウ欄の数字もともにア欄よりも低いということは、学級の5割以上の児童が、配当字のほぼ半数以下しか習得できていないのである。このことは、漢字の学習指導においては、児童の能力を個別に伸ばそうとする方法よりも、一定の字種について、いっせい指導を主とした方法をとることのほうが、全体の効果が大きいことを物語っているものと思われる。これは、第6表の中学年から高学年にかけて、ア欄の字数よりもイ欄・ウ欄の字数の低いものが読みよりも書きのほうに著しい点から、書きの指導については、ことにそうであるといえよう。また、第6表によれば、低学年の全体成績が比較的によいのに比べて、中学年の成績はそれほど思わしくない。この点については、学習漢字学年別配当試案の学年配当字を、3・4年から1・2年へ若干おろすことによって是正できるものと思われる。

なお、各学年に平均幾字の正答を求めるか、あるいは、その標準を1人平均字数に求めるか、中位の者の字数に求めるか、半数以上の者が共通に正答した字数に求めるかによっても、各学年の配当字の適量は多少ずつ異なった数字をもって考えられるであろう。

付 録 1 名 簿

〔昭和27年度漢字学習指導研究会〕準備調査

委員長	久保田 藤 鷹	文部省調査普及局長
委員	熊 沢 龍	東京教育大学教授
〃	倉 沢 栄 吉	東京都指導主事
〃	小 椿 誠 一	東京都目黒区立原町小学校校長
〃	小 塚 芳 夫	東京都澁谷区大向小学校教諭
〃	篠 原 利 逸	文部省初等中等教育局初等教育課事務官
〃	島 津 一 夫	国立教育研究所員
〃	富 山 民 蔵	文部省初等中等教育局中等教育課事務官
〃	原 敏 夫	文部省調査普及局国語課長（9月まで）
〃	白 石 大 二	〃（10月から）
〃	平 井 昌 夫	国立国語研究所員
〃	松 延 市 次	東京都江東区立亀戸中学校教諭
〃	村 尾 力	国立国語研究所員
〃	山 田 勝 美	駒込高等学校教諭
〃	渡 辺 茂	東京都立白鷗高等学校教諭
主任	塩 田 紀 和	文部省調査普及局国語課事務官

〔昭和28年度漢字学習指導研究会〕本調査

委員長	久保田 藤 鷹	文部省調査局長
〃	小 林 行 雄	〃（8月28日から）
委員	木 藤 才 蔵	文部省初等中等教育局初等教育課事務官
〃	熊 沢 龍	東京教育大学教授
〃	倉 沢 栄 吉	東京都指導主事

//	興 水	実	国立国語研究所員
//	小 椿	誠 一	東京都目黒区立原町小学校長
//	小 塚	芳 夫	東京都澁谷区立大向小学校教諭
//	佐 藤	卯 吉	東京学芸大学付属豊島小学校長
//	島 津	一 夫	国立教育研究所員
//	白 石	大 二	文部省調査局国語課長
//	富 山	民 蔵	文部省初等中等教育局中等教育課事務官
//	中 川	武 夫	東京学芸大学付属竹早小学校長
主 任	塩 田	紀 和	文部省調査局国語課事務官
副	加 藤	彰 彦	文部省調査局国語課

〔昭和27年度実験学級担任〕

1年	佐 藤	徳 則	北区立滝野川小学校
	岡 安	佐 知 子	西多摩郡瑞穂町立瑞穂第1小学校
2年	入 山	和 香 子	荒川区立真土小学校
	阿 保	年 一	南多摩郡忠生村立忠生小学校
3年	藤 本	一 郎	中央区立京橋小学校
	岡	英 雄	江東区立第2大島小学校
4年	目 賀	田 八 郎	新宿区立牛込仲之小学校
	加 藤	倉 栄 知	大田区立調布第3小学校
5年	野 口	玲 子	武蔵野市立武蔵野第3小学校
	亀 田	宏	西多摩郡福生町福生第2小学校
6年	益 永	篤	千代田区立九段小学校
	中 沢	重 修	足立区立千寿第8小学校

〔昭和28年度実験学校長および学級担任〕

	(学校長)	(担任)
茨城県水戸市立浜田小学校	井 戸 方 夫	立 原 豊 子(3年)

付 録 2 漢字学習指導の実験調査（要項）

昭和 28 年 4 月

1 目 的

この調査は、漢字学習の指導基準ならびに、漢字の学年別配当案を作る資料を求めるために行うものである。

2 方 法

この調査のために、文部省は、小学校の各学年について若干の実験学級を設ける。また、調査法の研究のために、調査局内に「漢字学習指導研究会」をおく。この調査についての事務は、調査局国語課で行う。

3 実 施 期 間

少なくとも今後 2 か年継続して行う。実験学級は年度ごとに代るものとする。

4 学 習 指 導

実験学級の担当教師は、文部省で作った「学年別漢字配当試案」を学習指導に適用する。ただし、このために特に宿題や課外作業を児童に課したり、あるいは学級の学習指導全体を著しく特異なものにしたりしないようにする。

5 報 告

担当教師は、年間およそ次のような報告書を文部省に提出する。

- | | | |
|-----------------|---------|----|
| (ア) 既習・未習の漢字表 | } | 事前 |
| (イ) 月別漢字提出予定表 | | |
| (ウ) 漢字学習指導記録簿 | | 毎月 |
| (エ) 実験指導についての反省 | | 事後 |

(オ) その他

6 テ ス ト

担当教師は，文部省の指示に従って，事前テストおよび終末テストを行う。また，指導の段階ごとにテストを行う。

テストの報告は，前項の報告とは別に行う。

(以上)

付 録 3 學習漢字學年別配當試案

昭和 27 年 9 月

この試案は、それぞれの学年末までに、普通の児童がほぼ書けるように指導するのが適当であると考えられる漢字の数と種類とを示したものである。（各漢字にそえた音訓は、普通、その学年の教科書で用いられているものを示した。）

[illegible]

— 81 —

33	急	ウグ	62	死	しぬ	91	神	かみ	120	度	ド
34	級	キユ	63	使	つかう	92	深	ふかい	121	刀	かたな
35	球	キユ	64	始	はじめる	93	進	すすむ	122	当	トウ
36	去	キヨ	65	指	ゆび	94	親	おや	123	投	なげる
37	魚	ギウ	66	寺	て	95	図	ズ	124	島	しま
38	京	キヨ	67	自	ジ	96	世	セヨ	125	答	コたえる (コたえ)
39	教	キョ	68	事	シ	97	星	ほし	126	頭	あたま
40	強	キツ	69	持	も	98	晴	はれ	127	同	おなじ
41	橋	キハ	70	望	シ	99	船	セふ	128	動	ドウ
42	銀	ギン	71	実	み	100	送	おく	129	肉	にく
43	苦	くるしい	72	写	シヤ	101	息	いき	130	配	はい
44	兄	キヤ	73	者	もの	102	太	ふとい	131	買	かう
45	形	ガタ	74	弱	よわい	103	待	また	132	売	う
46	決	ケツ	75	主	シユ	104	台	ダ	133	発	ハツ
47	研	ケン	76	取	とる	105	炭	タス	134	畑	はたけ
48	原	ハ	77	首	くび	106	短	みじかい	135	坂	さか
49	古	ふるい	78	受	うける	107	茶	チャ	136	板	ばん
50	庫	コ	79	拾	ひろ	108	着	チャ	137	番	ばん
51	午	ゴ	80	終	おわる	109	注	チュウ	138	皮	かわ
52	後	ゴ	81	集	あつめる (あつま)	110	柱	ハシ	139	美	うつくしい
53	語	ゴ	82	住	すむ	111	昼	ひる	140	表	ヒョウ
54	工	コウ	83	重	おもい	112	迫	お	141	病	ビョウ
55	黄	キウ	84	助	すけ	113	通	とお	142	品	しな
56	広	ひろい	85	勝	かつ	114	弟	タ	143	負	まける
57	号	ゴウ	86	乗	の	115	庭	ニ	144	物	モノ
58	根	ネ	87	場	シバ	116	鉄	テ	145	聞	ク
59	細	ホソ	88	食	シタ	117	店	ミ	146	平	ヘ
60	散	ち	89	申	もう	118	電	デ	147	別	ベ
61	市	いち	90	新	シ	119	都	ミヤコ			

148	返	へかえ	ン	5	位	イ	35	期	キ	63	幸	コ	ウ
149	勉	べ	ン	6	医	イ	36	旗	は	64	航	コ	ウ
150	妹	いもうと		7	委	イ	37	器	キ	65	候	コ	ウ
151	明	あかるい		8	移	うつる	38	機	キ	66	港	みなと	
152	鳴	な	ク	9	育	そだてる	39	拳	キ ヨ	67	告	コ	ク
153	面	メ	ン	10	印	イ	40	共	キ ヨ	68	才	サ	イ
154	毛	け		11	員	イ	41	鏡	キ ヨ	69	祭	ま (まつり)	
155	野	ヤ	ク	12	院	イ	42	競	キ ヨ	70	菜	サ	イ
156	役	ヤ	ウ	13	飲	の	43	業	ギ ヨ	71	最	サ	イ
157	由	ユ		14	有	ユ	44	曲	キ ヨ	72	材	ザ	イ
158	遊	あ (あそび)		15	泳	およぐ	45	局	キ ヨ	73	刷	サ	ツ
159	葉	は		16	英	エ	46	具	グ	74	察	サ	ツ
160	様	さ	マ	17	園	エ	47	君	ク	75	算	サ	ン
161	曜	ヨ	ウ	18	温	オ	48	群	グ	76	残	の	こる
162	落	おちる		19	化	カ	49	係	か (かかり)	77	士	シ	
163	楽	がたのしい		20	加	くわえる	50	計	ケ (か) イ	78	止	と (とまる)	
164	里	り		21	科	カ	51	景	ケ	79	仕	シ	
165	陸	リ	ク	22	貨	カ	52	軽	かるい	80	姉	あ	ね
166	流	ながれる		23	改	カ	53	血	ケ (ち) ツ	81	齒	は	
167	旅	た	ビ	24	械	カ	54	結	むすぶ	82	詩	シ	
168	礼	レ	イ	25	階	カ	55	建	ケ (た) ン	83	試	シ	
169	列	レ	ツ	26	貝	か	56	県	ケ	84	次	ジ (つぎ)	
170	路	ロ		27	害	ガ	57	言	ゲ (い) ン	85	式	シ	キ
4 年				28	覺	おぼえる	58	現	あらわれる	86	失	うしなう	
1	愛	ア	イ	29	活	カ	59	固	かためる	87	社	シ	ヤ
2	案	ア	ン	30	関	カ	60	湖	みずうみ	88	借	シ (かり)	ク
3	以	イ		31	館	カ	61	公	コ	89	守	ま	もる
4	囲	かこむ		32	観	カ	62	交	コ	90	種	シ (た)	ユ
				33	願	ね (ねがい)				91	州	シ	ウ
				34	季	キ							

92	習	シ	ニ	ウ	120	線	セ	ン	148	定	テ	イ	177	夫	フ
93	週	シ	ユ	ウ	121	戦	セ	ン	149	底	テ	イ	178	付	つける
94	順	ジ	ユ	ン	122	選	セ	ン	150	停	テ	イ	179	部	ブ
95	初	は	じ	め	123	全	ゼ	ン	151	的	テ	キ	180	服	フ
96	暑	あ	つ	い	124	争	ソ	ウ	152	点	テ	ン	181	福	フ
97	昭	シ	ヨ	ウ	125	相	ソ	ウ	153	転	テ	ン	182	粉	こ
98	消	き	え	る	126	速	ソ	ハ	154	伝	テ	ン	183	変	かわる
99	唱	シ	ヨ	ウ	127	族	ゾ	ク	155	徒	ト		184	編	ヘ
100	商	シ	ヨ	ウ	128	続	つ	く	156	努	ド		185	便	ベ
101	章	シ	ヨ	ウ	129	卒	ソ	ツ	157	湯	ゆ		186	包	つつむ
102	照	て	る		130	孫	ま	ご	158	登	の	ぼ	187	放	ホ
103	焼	や	く		131	他	タ		159	等	ト	ウ	188	法	ホ
104	植	シ	ヨ	ク	132	打	ラ	ッ	160	燈	ト	ウ	189	報	ホ
105	身	シ	ミ	ン	133	休	タ	イ	161	堂	ド	ウ	190	防	ふ
106	信	シ	ン		134	対	タ	イ	162	童	ド	ウ	191	望	ボ
107	真	シ	ン		135	隊	タ	イ	163	働	ド	ウ	192	末	す
108	数	ス	カ	ウ	136	第	ダ	イ	164	内	ナ	イ	193	万	マ
109	成	セ	イ	イ	137	代	ダ	イ	165	熱	ネ	ッ	194	味	ミ
110	清	セ	イ	イ	138	題	ダ	イ	166	念	ネ	ン	195	民	ミ
111	勢	セ	イ	イ	139	達	ダ	ツ	167	農	ノ	ウ	196	無	ム
112	静	し	ず	か	140	談	ダ	ン	168	倍	バ	イ	197	命	メ
113	整	セ	イ	キ	141	治	チ		169	反	ハ	ン	198	綿	わ
114	席	セ	キ	キ	142	置	チ	ウ	170	飛	ヒ	ン	199	問	モ
115	積	セ	キ	キ	143	帳	チ	ウ	171	悲	カ	ナ	200	約	ヤ
116	折	セ	キ	キ	144	調	チ	ウ	172	鼻	ハ	ナ	201	油	ユ
117	説	セ	キ	キ	145	直	チ	ウ	173	必	ヒ	ナ	202	勇	ユ
118	節	セ	キ	キ	146	丁	チ	ウ	174	氷	コ	オ	203	予	ヨ
119	銭	セ	キ	キ	147	低	ヒ	ク	175	秒	ビ	ウ	204	洋	ヨ
									176	不	フ		205	要	ウ

206	陽	ヨ	ウ	13	河	カ	41	区	ク	70	志	{ シ こころざし
207	利	リ		14	過	{ カ ぎる	42	極	キヨク	71	師	シ
208	理	リ		15	価	カ	43	均	キン	72	資	シ
209	良	リ	ウ	16	課	カ	44	句	ク	73	似	にる
210	料	リ	ウ	17	快	カ	45	型	かた	74	識	シキ
211	緑	み	どり	18	解	{ カ とイ	46	敬	{ ケ やまう	75	質	シツ
212	輪	{ リ わ	ン	19	各	カ	47	経	{ ケ キヨウ	76	舍	シヤ
213	類	ル	イ	20	格	カ	48	芸	ゲイ	77	謝	シヤ
214	令	レ	イ	21	確	{ カ たし	49	欠	{ ケ かけ	78	酒	{ シ さユ
215	冷	つ	めたい	22	完	カ	50	件	ケン	79	授	ジュ
216	連	つ	れる	23	官	カ	51	健	ケン	80	周	シユウ
217	練	レ	ン	24	漢	カ	52	駿	ケン	81	修	シユウ
218	老	ロ	ウ	25	管	{ カ く	53	限	かぎる	82	徒	したがう
219	勞	ロ	ウ	26	希	キ	54	護	ゴ	83	宿	{ シ ヤユク
220	和	ワ		27	寄	{ キ よ	55	功	コウ	84	祝	いわう
5 年				28	規	キ	56	厚	あつい	85	術	ジュツ
1	庄	ア	ツ	29	技	ギ	57	康	コウ	86	準	ジュン
2	因	イ	ン	30	義	ギ	58	講	コウ	87	序	ジョ
3	榮	エ	イ	31	議	ギ	59	際	サイ	88	承	シヨウ
4	永	エ	イ	32	久	{ キ ヒユ	60	在	ザ	89	省	{ シ セヨウ
5	塩	エ	ン	33	求	{ キ ユ	61	昨	サ	90	賞	シヨウ
6	演	エ	ン	34	宮	み	62	殺	ころす	91	状	ジョウ
7	央	オ	ウ	35	救	すくう	63	雜	{ ザ ツ	92	常	{ ジ ツヨ
8	往	オ	ウ	36	居	{ キ い	64	参	サ	93	情	{ ジ ナヨ
9	応	オ	ウ	37	許	ゆる	65	産	{ サ ン	94	織	{ シ お
10	億	オ	ク	38	漁	{ ギ リ	66	賛	サ	95	臣	シ
11	恩	オ	ン	39	協	キ	67	示	{ シ ジ	96	性	セ
12	果	カ		40	興	キ	68	央	シ	97	政	セ
							69	司	シ	98	精	セ

99	製	セ	イ	128	討	ト	ウ	156	府	フ	6	年
100	責	セ	キ	129	統	ト	ウ	157	婦	フ	1	衣
101	接	セ	ツ	130	銅	ド	ウ	158	武	フ	2	易
102	設	セ	ツ	131	導	ド	ウ	159	副	フ	3	胃
103	淺	セ	ツ	132	特	ト	ク	160	復	フ	4	異
104	善	セ	ン	133	得	ト	ク	161	兵	フ	5	遺
105	然	セ	ン	134	毒	ド	ク	162	刃	フ	6	老
106	祖	セ	ソ	135	独	ド	ク	163	保	フ	7	營
107	倉	セ	ウ	136	任	ド	ク	164	豐	フ	8	衛
108	想	セ	ウ	137	燃	ト	ク	165	牧	フ	9	益
109	造	セ	ウ	138	破	ト	ク	166	滿	フ	10	液
110	像	セ	ウ	139	敗	ト	ク	167	脈	フ	11	延
111	増	セ	ウ	140	博	ト	ク	168	務	フ	12	可
112	則	セ	ウ	141	判	ト	ク	169	迷	フ	13	仮
113	側	セ	ウ	142	飯	ト	ク	170	葉	フ	14	我
114	測	セ	ウ	143	比	ト	ク	171	輪	フ	15	賀
115	尊	セ	ウ	144	肥	ト	ク	172	余	フ	16	革
116	退	セ	ウ	145	非	ト	ク	173	容	フ	17	拔
117	帶	セ	ウ	146	費	ト	ク	174	養	フ	18	額
118	態	セ	ウ	147	備	ト	ク	175	浴	フ	19	株
119	單	セ	ウ	148	筆	ト	ク	176	留	フ	20	刊
120	所	セ	ウ	149	依	ト	ク	177	量	フ	21	幹
121	団	セ	ウ	150	票	ト	ク	178	傾	フ	22	勸
122	築	セ	ウ	151	評	ト	ク	179	例	フ	23	價
123	貯	セ	ウ	152	標	ト	ク	180	歷	フ	24	欲
124	張	セ	ウ	153	貧	ト	ク	181	録	フ	25	眼
125	敵	セ	ウ	154	布	ト	ク	182	論	フ	26	紀
126	適	セ	ウ	155	富	ト	ク			フ	27	基
127	展	セ	ウ			ト	ク			フ	28	貴

29	疑	ギ	58	鉦	コ	ウ	87	宗	シ	ウ	116	蔵	ゾ	ウ
30	逆	ギ	59	構	コ	ウ	88	衆	シ	ウ	117	俗	ゾ	ク
31	旧	キ	60	穀	コ	ク	89	就	シ	ウ	118	属	ゾ	ク
32	給	キ	61	混	コ	ン	90	述	シ	ウ	119	存	ゾ	ン
33	供	キ	62	査	コ	サ	91	純	ジ	ン	120	損	ゾ	ン
34	境	キ	63	差	コ	サ	92	処	シ	ヨ	121	貸	カ	ス
35	勤	キ	64	再	サ	イ	93	諸	シ	ヨ	122	忠	チ	ウ
36	禁	キ	65	災	サ	イ	94	除	ジ	ゾ	123	著	チ	ヨ
37	訓	ク	66	妻	サ	イ	95	招	シ	ヨ	124	賜	チ	ウ
38	軍	グ	67	採	サ	イ	96	称	シ	ヨ	125	賃	チ	ン
39	郡	グ	68	濟	サ	イ	97	証	シ	ヨ	126	提	テ	イ
40	系	ケ	69	財	ザ	イ	98	条	ジ	ヨ	127	程	テ	イ
41	潔	ケ	70	罪	ザ	イ	99	職	シ	ヨ	128	典	テ	ン
42	券	ケ	71	策	サ	ク	100	仁	ジ	ン	129	党	ト	ウ
43	兼	カ	72	蚕	サ	ン	101	推	ス	イ	130	徳	ト	ク
44	絹	カ	73	酸	サ	ン	102	是	ゼ	イ	131	届	と	ける
45	権	ケ	74	支	シ	ン	103	制	セ	イ	132	難	ナ	ン
46	憲	ケ	75	氏	シ	ン	104	聖	セ	イ	133	式	ニ	
47	陰	ケ	76	檢	ケ	ン	105	誠	セ	イ	134	認	み	とめる
48	減	ゲ	77	至	イ	る	106	税	ゼ	イ	135	納	ナ	ウ
49	嚴	ゲ	78	私	シ	ン	107	續	セ	イ	136	能	ノ	ウ
50	已	コ	79	視	シ	ン	108	舌	シ	タ	137	派	ハ	ハ
51	故	コ	80	詞	シ	ン	109	絶	ゼ	タ	138	拜	ハ	イ
52	個	コ	81	兒	シ	ン	110	宣	セ	ン	139	犯	ハ	ン
53	誤	コ	82	孝	コ	ウ	111	專	セ	ン	140	版	ハ	ン
54	后	コ	83	辞	シ	ク	112	素	ソ	ウ	141	否	ヒ	ク
55	効	コ	84	釈	シ	ク	113	創	ソ	ウ	142	複	フ	ク
56	皇	コ	85	需	ジ	ユ	114	綏	ソ	ウ	143	仏	フ	ツ
57	耕	コ	86	収	シ	ユ	115	象	ゾ	ウ	144	奮	フ	ン

145	陞	ヘ	イ
146	弁	ベ	ン
147	補	ホ	
148	墓	ハ	カ
149	賀	ボ	ウ
150	暴	ボ	ウ
151	未	ミ	
152	盟	メ	イ
153	訳	ヤ	ク
154	預	ヨ	
155	欲	ヨ	ク
156	律	リ	ツ
157	率	リ	ツ
158	略	リ	ヤ
159	臨	リ	ン

1年	40字
2年	110字
3年	170字
4年	220字
5年	182字
6年	159字

計 881字

付録 4 実験学級 漢字の学習指導について

目 次

〔一〕	漢字学習指導上の一般的な注意事項……………	90
	学年段階別指導の力点	
	(a) 1・2年生 (b) 3・4年生 (c) 5・6年生	
〔二〕	漢字提出の方法と指導の機会……………	92
	(1) 漢字提出の方法	
	(2) 指導の機会	
〔三〕	漢字学習指導の実際……………	96
	(1) 興味を重んじた学習例	
	(2) カードを中心とした練習	
	(3) 書取練習帳による練習	
	(4) そ の 他	
	(5) 治療学習としての形態	
〔四〕	評価について……………	101
	(1) 態度・習慣	
	(2) 理解・技能	

〔一〕 漢字学習指導上の一般的な注意事項

一般に漢字は、学習者の興味や必要に訴えて指導するときに、学習効果があがるものである。また、読み書きの機会を多くしてやるほど、習得率は高くなる。そのために、漢字の学習指導にあたっては、学習者の知能傾向や個人差に即して、その興味化や作業化がはからなければならない。

学年段階別指導の力点

(a) 1・2年生

この段階では、すべてが基本的な学習事項である。したがって、この段階ではあらゆる点で綿密・正確な指導が行われなければならないのであるが、特に指導上留意すべき点は、次のとおりである。

- 1) いちいちの漢字と事物（実物または絵など）とを結びつけて、漢字が表意文字であることを、初期の段階からよくのみこませる。
- 2) 漢字とかなとは異なった体系下にあることを知らせて、その相互関係をも認識させる。
- 3) 基本点画・筆順について正確な知識を持たせるように指導する。
- 4) この段階の後期では、熟字の一目読みをも指導し、続いて1字ずつの分解読みもできるように指導する。
- 5) 送りがなは、漢字とまとめて読み書きできるようにする。

以上のほか、用具の使い方や姿勢・態度なども適正であるように指導する。

(b) 3・4年生

この段階では、ようやく個人差が目だってくる。そのために能力別の指導が必要となる。指導の要点は、だいたい次のとおりである。

- 1) 漢字力の劣った児童には、特に治療的な指導をくふうする。
 - 2) 漢字を、ヘン・ツクリその他の部分に分けて、字形構成や系統の異同を知らせ、かつ字形の記憶を正確にする。
 - 3) 漢字の各種の音訓や同音異字について関心をもたせる。
 - 4) 学習準備のできている児童には、できるだけ多く読み書きの機会を作ってやる。
 - 5) 乱雑な字体をわざと書きたがる傾向が出てくるから、正しくきれいに書くように特に注意して指導する。
 - 6) 4年生では、以上のことを、辞書の初歩的な取扱いや、習字を行っているならば習字と関連づけて指導する。
- (c) 5・6年

前段階までに実施してきた漢字学習指導の方法を、いっそう程度を高めて行うほか、特に次のような点について努力する。

- 1) 個人差に応じて、さらに能率的な指導法を研究し、児童の漢字力をいっそう伸ばす。
- 2) 多くの漢字について分類比較を行い、知識をいっそう確かにさせる。
- 3) 辞書の使用に習熟させる。
- 4) 各種の熟字および同音異義字の使い方や書き分けに慣れさせる。
- 5) 国語教科書以外の各種の読み物を利用して、理解する漢字のわくをできるだけ広げさせる。また、それによって、どんな字が習得されたかを注意する。
- 6) 六書（りくしょ）の原理を利用し、学年相当の理解に応じた説明を行って効果をあげるようにくふうする。

〔二〕 漢字提出の方法と指導の機会

(1) 漢字提出の方法

学習漢字として配当されたものの中には、その学校の使用教科書の中に出てこないものがある。このような漢字をどのような方法で児童に提示するかが問題である。一般に児童が漢字に目をふれ習得する機会は、国語の教科書を通して行われるのが普通である。しかし、児童はそれ以外にも、生活環境の中で目にふれる人名・地名・広告・看板・掲示・新聞その他課外読み物からも多くの漢字を学びとっているのである。

そこで、漢字の提出方法として考えられる例を次に示すことにする。

(a) 使用教科書の文に配当漢字をはさみこむ。

※ 使用している国語教科書の文の中に配当漢字があてはまるような適当な語があったら漢字に書きかえる。

※ 国語教科書に適当な語がない場合、社会・算数・理科などの教科書の中で適当な語をさがしてあてはめる。

語はなるべく出度の高いものがよい。

※ 記入する場合は、欄外か、行間になるべく教科書と同じ大きさ、字形で示すことが望ましい。

※ 同一の課の中に多く提出して、児童の習得に負担が重すぎないように注意する。

(b) 教科書以外の文例による方法

※ 学習の補助資料として、次のようなプリントを児童に与える場合に、その文を利用し、配当漢字を提出する。

○ 児童の作品（日記・手紙・研究記録など）

○ 他の検定教科書の文、学年相応の読み物

※ 配当漢字をおりこむため語が不自然になったりむずかし

すぎるようにならないように注意すること。

※ 新出漢字であることを認知させるような、なんらかの方法を考える。

(文の末に新出漢字を掲げ、読みや意義の説明を加えておくとか、文中に傍線をつけ、新出文字であることを示すなど。)

(c) ことばの練習の機会に提示する。

(a)(b)は、文章を通して、その中で漢字を示そうとする方法であるが、これは、ことばだけを取りだして、漢字を示そうとするものである。

※ 話し合い(相談・児童会など)や研究発表・報告などの場を利用し、その中に配当漢字があてはまる語があった場合に、漢字を提示する。

※ 新聞・広告・掲示・看板・課外読み物・児童作品(研究記録・壁新聞)の中から適当な語を選んで、それを通して漢字を提示する。

※ 教師は、提出すべき新出漢字を熟知し、あらかじめ用意したカードなどによって、機会をのがさないで示すことが必要である。

※ 語(ことば)を通して文字を示す場合、(a)(b)の方法よりも字形の視覚的印象、意義の理解が、ふじゅうぶんになるおそれがあるので、多く目にふれ耳にしやすい語を選ぶことがたいせつである。

(d) 文字のみを抽出して提示する方法

文章やことばによらないで機械的に提示する方法である。

※ 同じヘン・ツクリの字をまとめて示す。

※ 類似の字形を集めて示す。

※ 漢字の字源的指導を介して行う。

※ 機械的に画数順に配当漢字をプリントしたりカードにし

たりして示す。

※ (a)(b)(c) のいずれの方法よりも児童の字義への理解がふじゅうぶんと思われるので、特に注意が必要である。

(2) 指導の機会

(a) 教科書やその他の文章を通して新出漢字を提示する場合。

○ 文章を与えて読ませる以前に、新出文字の読みやその他の説明をしてしまう。(板書して説明する。小黒板に書いておく。プリントによって新出字を説明する。)

○ 文章を読ませてから新出文字の説明をする。

※ 自由に読ませ、個別の質問に応じて読みを教える。

※ 自由読みをさせ、読めない文字をあとで質問させ、教師あるいは児童間でいっせいに解決していく。

※ 指名読みをし、誤読や読めない文字を解決していく。

※ 教師が最初、模範読みをし、新出文字の説明をしてから、児童に読ませる。

○ 児童が資料を使って解決していく。

※ 教師の与えた新出漢字の手引(読み・筆順・字義・熟語を書いたもの)のプリントを利用して理解していく。

※ 辞書を使って解決していく。

(練習)

文章を通して提示する場合は、第1時に読みの指導はもちろんなされなければならないが、字形・筆順などの書く練習は必ずしもやってしまわなくてもよい。書くことの練習や読むことの練習でも文から抜きだして抽象したことばにしての練習や熟語づくりなどは、その後の学習展開の随所に織りこんで断続的にくり返し行われなければならない。

(b) 熟語としてあるいは文字だけ抽出して新出漢字を提示する場合。

○ 話し合いや発表のときに出てきたことばを板書して漢字の指導をする。

※ そのことばを漢字で書ける児童に正しく教える。

※ 小黒板にあらかじめ書いておいて説明する。

※ その文字が使われている場合を集めてこさせる。

○ 広告・掲示・看板などの中から新出文字を集めて、指導する。(板書・プリント)

○ ポスター・掲示などを書くときに指導する。

○ 同じヘンやツクリの文字と関係して指導する。

(練習)

熟語や文字だけを抽出して提示するのは、国語の学習時間に限らない。(たとえば、児童会するとき、図工科のポスターをかくときなど。)そのため、その文字の書き方、読み方などについて、くり返しを要する作業、それによって練習する時間が、必ずしも当然には与えられない。したがって、その文字は、国語の学習時間に文章を通して提出された新出漢字の中に含めて練習させる必要がある。(社会科や理科・算数の文の中の新出文字も同様。)漢字カードを使う場合にも、同じようにする。

(c) そ の 他

※ 書く練習は、家庭作業としてさせる場合も考えられる。

(ワークブック)

※ 随時に、ノートの展示会や交換をして反省させる機会をつくる。

※ ノートに記入する場合、あるいは作文の時、当然使用されなければならない漢字は、できるだけ書くようにさせ、既習漢字は、カードを利用しやすいように、50音順にしておくとう便利である。

※ 日常生活の中で、目にふれる漢字を、町の文字集め、看板の字形集め、その他の方法によって進んで集めさせるよ

うにして、文字に関心をもつような機会をできるだけ多く作る。

※ 1日の学習生活の中に、5分～10分ぐらい漢字のくり返し練習（興味深く）の時間を設けることも考えられる。ただし、実験クラスのために特別に学習時間を1時間増したりするようなことはしない。

〔三〕 漢字学習指導の実際

一般に漢字の学習指導にあたって、まず指導者に要求されることは、当用漢字表・同音訓表・同字体表・同別表（教育漢字表）などについての正確な理解を持つことである。その上に立って、具体的な指導の場に応じ、児童に即して、いろいろと効果的な学習指導法が考えられなければならない。以下は、従来比較的に効果が多いと認められてきた漢字の学習指導例のうちの幾つかである。

(1) 興味を重んじた学習例

○ 背中黒板リレー 各列のいちばんうしろの児童に、書くべき文字を示し、次々に前の児童の背中に指で書かせていちばん前の児童にまで伝える。いちばん前の児童は、その文字を黒板にチョークで書く。正しく伝え、正しく書けたらよい。座席を順次ずらして交代する。

※ 遅筆をていねいにさせる。

※ 声を出したり、ふざけたりしないようにさせることが必要。

○ 漢字のたし算・ひき算 点線を補充して字形を完成する。ヘン・ツクリを補充したり、引き抜いたりして字形を認識する。

低学年では、なぞなぞ遊びもおもしろい。（一ローターなあに。「豆」。）

○ 筆順競争 児童を順に並べ、チョークで次々に筆順を追って

添加し、誤った場合は消して次のものが書く。早く完成したらよい。

以上のような興味を主とした学習を行う際には、次のような事項に注意することが望ましい。

※ 遊びだけに終わらないよう、その時間の目標をはっきり決めておくこと。（たとえば、線・点の構成配置に主としたねらいを置くとか、文字と意義との結びつけをねらいとするとか、早くできるようにするとか……………。）

※ その字形のみに重点をおかず、文字の読み・字義・応用に注意して行う。

※ 長時間続けて行うよりも、断続的にくり返し行うことが効果的である。

(2) カードを中心とした練習

○ カードとり 教師か児童のうちだれかが読みあげた文字のカードを拾う。低学年では、絵を見せてその文字を拾う。（山の絵を見せて、「山」という文字を拾う。）一つの絵の中からいくつかのことばをさがし、それにあたる漢字を拾う。低学年では絵の説明をも兼ね、話し方の練習にもなる。源平に分れてカードを拾う。

○ カード並べ 熟語をつくって並べる。反対語を並べる。似た文字をさがして並べる。

○ フラッシュカード カードを1枚ずつ瞬間的に見せて、読みとらせる。（語をひと目で読みとる練習。）

※ カードによる学習は、主として漢字の読みの練習が中心になる。

※ 児童の習得状況によって差をつけないと、優秀児のみの学習となるおそれがある。

※ 基礎的練習がじゅうぶんなされてから行うことが望ましい。

(3) 書取練習帳による練習

※ 従来の練習方法は、教科書の文字を見せて、これを機械的に数多く練習させるのが多かったが、効果的にくふうされなければならない。それには、

- その文字を全体として学習するような練習方法が望ましい。
(字形を書きとるだけでなく、意味・読み方・熟語・送りがな・類字など。)
- 練習は、1度に多くの文字を書くのでなく、断続的に続けて練習させるのが効果的である。(正しい字をよく見るように注意する。)
- 教師はノートの検閲や、テストによって児童の誤記の傾向や記憶の個人差を考え、練習の量・記憶の方法などをくふうする。
- 練習帳には、次のような新出漢字のプリントをはって、それを見て練習させるのも一方法である。(高学年では、ノートにそのような欄をつくって記入させるのもよい。)

プ リ ン ト の 例

番号	新出漢字	提 出	読み	音訓	筆 順	熟 語	類字
1	運	ポスター	ウ はこ(ぶ)	ン	一車入	運動会 運 送	連
2	顔	教 科 書	か	お	立ノミ頁		頭

- ノートには漢字のみでなく、その漢字を使って短文を書き、文の中で書きうるような練習もさせる。(送りがなにも注意して。)
- 視写だけでなく、聴写の練習もする。

(4) そ の 他

- 部首別漢字練習 中学年から部首の一覧表を作成しておき、習った漢字を書きこんでいくのも一方法であり、高学年になって既習漢字を整理していくのも一方法である。
- 分解および字源的指導 既知の形に分解して記憶させる。これは、複雑な漢字の習得に便利である。（間を門と日、外を夕と覚えるなど。）字源的指導は高学年において漢字の理解をいっそう深め、漢字の特質を明らかにするのに役だが、すべての児童および文字についてはむりがあり注意しなければならない。

(5) 治療学習としての形態

障害や誤りが積み重なっていくにつれて、漢字の習得も、累加的に困難さを増していくものであるから、治療のための学習がくふうされなければならない。

- グループをつくる場合の類別基準

※ 発音（読みの不正確）や書写の基本的態度を直すためのグループ。

障害の原因が	{	身体的なものにあるもの
		経験や知的なものにあるもの
		用具の不備にあるもの
		情緒的なものにあるもの

※ 読めない漢字の種類や数によってわけるグループ。

全然読めない。

文の中では読めるが、単語では読めない。

1字では読めるが、熟語は読めない。および、その反対。

※ 書けない漢字の種類や数によって分けるグループ。

※ 書けるが、筆順が妥当でない。

※ 字形はいちおう整っているが乱雑である。

※ 単独の文字としては書けるが、文としては書けない。

○ それに応ずる練習の方法を考える。

※ 与える文字の種類と量とを考える。

（
機械的練習
視覚的に印象づけのための作業
その他

※ 作業に応じたいろいろの補助資料を用意しておく。

○ グループの数と一つのグループの人数を考え、指導の重点をはっきりさせておく。

※ グループの数が多すぎて手がまわらなくならないよう。（一つのグループにかたよらないこと。）

※ グループは時に応じて編成し直す。

○ いっせい学習の中でも、治療的指導には、じゅうぶん配慮しなければならない。

〔四〕 評 価 に つ い て

（1） 態度・習慣

○ 読むこと

※ 興味をもっているか、どうか。（関心）

※ 進んで漢字を読もうとするか。（意欲）

※ 辞書を使って自分で読もうとするか。（興味意欲）

○ 書くこと

※ その文字に対しての関心。

※ 進んで書こうとするか。

※ ていねいに書こうとするか。

※ 姿勢や用具の扱いはよいか。

※ くふうして記憶しようとするか。

(2) 理解・技能

○ 読むこと

- ※ 発音が正しいか。
- ※ 字義がわかっているか。(1字, 熟語, 文の中で)
- ※ 早く読めるか。
- ※ 送りがなを理解しているか。

○ 書くこと

- ※ 点線が過不足していないか。
- ※ 字形全体のつりあいはいいか。(じょうずか, へたか。)
 - { 文字の構成部分の縮少, 拡大の割合。
 - { 平行線・対象形・曲線・点などのつりあい。
- ※ 筆順がよいか。
- ※ 1字でも, 熟語や文の中でも書けるか。
- ※ 文として書く場合, ひらがなや他の文字とのつりあいがとれているか。
- ※ 早く書けるか。
- ※ 字義を正しく理解して書けるか。(あて字)
- ※ 送りがなを正しく書けるか。

○ その他

- ※ 文字の部首・字源的理解はどうか。
- ※ 辞書を使えるか。
- ※ 作文, その他の表記はよいか。
- ※ ノートの使い方はよいか。

付 録 5 漢字学習指導記録簿

昭和27年 月 日 (曜) 時 分 ~ 時 分 (分) 実施

(それにあたる欄に○印を記入する)

この時間に使用した漢字		
○新出・読替・無印既出		
提出語		
提出の方法	教科書に出てくるもの	
	教科書中の語にあてはめたもの	
	教科書以外の文例によったもの	
	ことばの練習の機会に示したもの	
	その他	
	備考	
指導の目標	読 み	
	書 き	
	読み書き双方	
	備考	
指導の方法	わかるように教師が指導した	
	板書して字形を認識させた	
	ノート・ワークブックで練習させた	
	音読で読みを確かめさせた	
	熟語・単文を作らせた	
	辞書で字形構成を調べさせた	
	似た字形・まちがしやすい字形を比較研究させた	
	テストをした	
	その他	
備考		

[illegible]

(教官名)

小学校第 学年

教 材	教科書 第 課
	そ の 他
指 導 の 反 省	<p>1 指導方法は効果的だったか。</p> <p>2 指導の目標は適当だったか。 時間は何分ぐらいとったか。 時間配分はじゅうぶんだったか。</p> <p>3 指導方法やそれに用いた材料は適当だったか。</p> <p>4 特に効果的だった指導の方法・予期したとは異なった結果を生んだ指導の方法・その他について。</p>
学 習 活 動 に つ い て	<p>1 児童は説明を理解したか。どんなぐあいに興味を示したか。</p> <p>2 読み・書き・意味・用法・字源などについて児童が表現した感想・意見・疑問など。</p> <p>3 意味用法について示した誤解。</p> <p>4 使いたがった漢字・質問の多い漢字。</p>

通信欄

(通知・意見・質問などがあったら、ここへお書きください。)

昭和28年度

指導した漢字	前学年までにすでに学んでいる読み方	日付 時間						
	この学年になってから学んだ読み方		提出語句					
	この月になってはじめて学んだ読み方							
提出の機会	国語の教科書に出てきた							
	国語教科書の語にあてはめた							
	他の教科書に出てきた (学科名)							
	プリント・掲示類・児童の作品などに出た							
	話合いの機会に出た							
	教師の話または放送聴取のときに出た							
	その他							
児童の学習活動	読む							
	字形を書く							
	筆順を書く							
	似た形の字との比較							
	意味の上で関係のある字との比較							
	熟語・短文づくり							
	その他、文字集め・カードづくりなど							
	用具	ノート						
		ワークブック						
		カード						
辞書・参考書・漢字表								
黒板								
	その他、ヒゴ・画用紙・石盤など							
教師の指導	口頭でよみを教えた							
	口頭で意味を教えた							
	板書して字形を示した							
	板書してよみを示した							
	字源あるいは構成部分から説明した							
	筆順を教えた							
	カードを用いて (よみ・字形) を説明した							
	その他							
学習および指導に費したおよその時間 (単位 分)			分	分	分	分	分	

[illegible]

漢字学習指導記録簿 (第 号)

昭和 29 年度

月	日付						
指導した漢字	前学年までに学んでいる読み方	提出語句						
(1字記入)								
	この学年になってから学んだ読み方							
指導の機会	①国語教科書に出てきた	1						
	②他の教科書に出てきた(教科名)	2						
	③教科書の語にあてはめた	3						
	④その他	4						
児童の学習活動	①読む練習をした	5						
	②書く練習をした	6						
	③他の字との比較をした	7						
	④熟語・単文作りをした	8						
	⑤その他	9						
教師の指導	①口頭で指導した	10						
	②板書して指導した	11						
	③ワークブックなどを用いて指導した	12						
	④その他	13						
(備考)								
(学校・学年・教師名)								

漢字学習指導記録簿 (第1号)			昭和29年度			
5 月	日付	10	15		
指導した漢字	前学年までに学んでいる読み方	提出語句	木を植える	植木		
(1字記入)	う え る					
植	この学年になってから学んだ読み方					
	シ ョ ク					
指導の機会	①国語教科書に出てきた	1	○			
	②他の教科書に出てきた (教科名)	2				
	③教科書の語にあてはめた	3				
	④その他	4		○		
児童の学習活動	①読む練習をした	5	○			
	②書く練習をした	6		○		
	③他の字との比較をした	7				
	④熟語・短文作りをした	8				
	⑤その他	9				
教師の指導	①口頭で指導した	10	○			
	②板書して指導した	11		○		
	③ワークブックなどを用いて指導した	12				
	④その他	13				
<p>(備考)</p> <p>15日— 学校林のことについて話し合ったときに出た。 筆順指導。</p>						
(学校・学年・教師名) 刈谷小学校 4年			服 部 秀 雄			

漢字学習指導記録簿について（昭和29年度）

（1）記録簿を文部省に送る方法

「漢字学習指導記録簿」は、毎月記入して、翌月の10日までに文部省調査局国語課あてに送ってください。その際、次のような送り状をそえてください。（送り状書式略）

（2）記録簿に記入して報告すべき漢字

記録簿は、「学習漢字学年別配当試案」のその学年の配当字のなかで、その月に「指導した漢字」1字につき各1枚ずつ使用してください。「指導した漢字」というのは、教師が意図的に「読み」「書き」その他について、いっせい指導を行った漢字をさします。単に教科書に出てきただけのようなのは、含みません。

なお、実際に指導した漢字であっても、「学習漢字学年別配当試案」のその学年の欄にない字は、報告するには及びません。

（3）「提出語句」の欄の記入について

漢字だけでは読み方のわからないものには、ふりがなをつけてください。

（4）「指導の機会」「児童の学習活動」「教師の指導」の欄の記入について

(ア) それにあたる欄に○印を記入してください。

(イ) 「指導の機会」の2・3項にあたる欄には、○印の代りに下記のような略号で記入してください。

社会科→社，算数科→算，理科→理

体育科→体，図工科→図，音楽科→音

家庭科→家など

(ウ) 「その他」の項にあたる欄に○印をつけた場合には、その内容を備考欄に簡単に注記してください。

(5) 「指導の機会」の欄の「その他」の項にあてはまる場合のおもなもの。

(ア) 他の検定国語教科書の文や校外授業の解説のプリント，新聞広告・看板・掲示・児童の作文や研究記録，そのほか学年相応の読み物などで学習の補助資料として用いたものに，その漢字が出てきた場合。

(イ) 学級全体の相談・討論・反省会などの機会に出てきたことばに結びつけて，その漢字を指導した場合。

(ウ) 教師の話または放送聴取などで問題となった漢字について指導した場合。

(6) 「教師の指導」の欄の「口頭で指導した」の項にあてはまる場合のおもなもの。

(ア) 模範読みをして教えた場合。

(イ) 児童に自由読みをさせたのち，わからない字について質問したのに対して，口頭で読みを教えた場合。

(ウ) 板書してある字の読みを口頭で教えた場合。

(エ) 指名して児童に読ませ，読めない字を教師が口頭で教えた場合。

(オ) 読みや字形ばかりでなく，意味をも口頭で教えた場合。

(7) 下記のような場合には，「備考」欄に簡単にその旨を注記してください。

(ア) 文字集め，カード作り，その他特別な作業に訴えたり，特別な用具や方法を用いて指導した場合。

(イ) 字源またはヘン・ツクリのような漢字の構成部分から説明した場合。

(ウ) 筆順を教えた場合。

(エ) 同一文字につき5分以上続けて指導した場合。授業時間中に簡単なテストをしたとき。

(オ) 児童が特に興味を示したとき，困難を訴えたとき，その他指

導上特に気がついた問題があったとき。

学習指導記録簿の形式にあてはまらない報告があるとき、および備考欄に書ききれないときは、別紙に書いて、それをそえて送ってください。

（注 27年度・28年度記録簿の記入法の説明は、掲載を省略。）

ま え が き

☒ この語形集は、教育漢字の初出語形を考えるさいの参考とするために、下記のものをまとめたものである。

A 昭和 27・28 両年度の実験学級で実際に指導した語と、その延指導回数。

B 検定各国語教科書初年度版12種のうち、各漢字の初出・読みかえ語形として出されている語と、その提出教科書数。

C 新潟県西五十沢小学校で、昭和 26 年 1 月から昭和 29 年 7 月までの間に、児童の学級日誌・研究記録・作文などに現われた読物のうちから、上にかかげたものおよび固有名詞を除いた語形。これは、末尾に（ ）内にいれて示した。

D 上にかかげたもの以外で、昭和 28 年度版の検定各国語教科書に用例の多いことば。これは、末尾に < > 内にいれて示した。

☒ 各語形の整理・提示にあたっては、ほぼ下記の基準によった。

1 常識的に 1 単位のことばと考えられるものは、できるだけ切り離さないで採った。したがって、助詞「の」でつながれていることばや、修飾語を含んだことばで、そのまま採られているものも少なくない。

2 単純でない語形は、次のような方法で提示した。

ア 2 種類の表記法で指導されているもの。

(例) ゆう気・勇気

イ 種々の活用形で指導されているもの。

(例) 休～(む・んだ・みました)

ウ 接辞的な用法のもの

(例) (人名) ～様 (一・半) ～里

エ 読み方・意味・用法の注記を必要とするもの

(例) 学しゅう (学習) 何ば (何羽)

角 (つの) 海月堂 (店名)

- 3 この語形集は、実際の用例を示すことを主としたものであって、必ずしも語形表記の基準を示そうとするものではない。しかし、実際に教科書に用いられ、あるいは教室で指導されたものであっても、当用漢字音訓表の理想からかけ離れた書き表わし方の用例は、はぶくこととした。

(はぶいた例) 挙 (あげる) 指図 (さしず)

米 (メートル)

1 年

(配 当 字)	(語 形)	(指 導 回 数)	(教 科 書 数)			
				一 { 二 9 }		一
				二 { ふた〜 2 }		二
				<「はつか」は、かなで書く。>		三
				二 5	6	
				二つ 1	5	
				二つき 1		
				二ねん 1		
				二さつ 1		
				二だい 1		
				二とう 1		
				二だん	2	
				二ほん	1	
				二まい	2	
				二月二日	1	
				二日目	1	
				竹田信二	1	
				(二階) <二回・二葉>		
				三 { サン 11 }		
				三 { み〜 2 }		
				三 { みっ〜 1 }		
				三 6	7	
				三か月 1		
				三にん (三人) 1	3	
				三かい 1		
				三ばい 1		
				三とう 1		
				三つ 1	6	
				三つば 1		
				三くみ 1		
				三ほん	1	
[1 年]						
一 { イチ 9 }						
一 { イッ 6 }						
一 { ひと〜 1 }						
一 5		9				
一ねん 2						
一まい 1						
一くみ 1						
一かい 1						
一ぴき 1						
一けんや 1						
一とう 1						
一とうしょう 1						
一さつ 1			1			
一つ 1			3			
一目 1						
一だん 1						
一日 1						
一ぼん 1						
統一 1						
(一年生・一ばん・一生懸命)						
<万一・一面・第一線・一定・						
一所>						

三
四
五
六

1 年

三まい	1
三だん	1
三いろ	1
三月ほど	1
十一月三日	1

(三年生・三りんしゃ・三日月)

<三度・三角・三けた>

四 { シ 16 }
よん~ 2 }
よ~ 5 }

四	11	
四十から	1	
四ほん	1	1
四がつ	1	
四かく	2	
四かい	1	
四とう	1	
四まい	1	
四おつ(四方津)	3	
四くみ	1	
四にん(四人)	5	
四つ	5	
四じ	1	
四だん	1	
四えん(四円)	1	
八月四日	1	

(四年・四季)

<四方・四日・四十万>

五 { ゴ 15 }
いつ~ 2 }

五	6	4
五つ	2	6
五まい	2	2
五くみ	1	
五がつ	1	
十五や(十五夜)	4	
五ねん	1	
五えん(五円)		1
五だん		2
五にん		1
八月五日		1
五ひき		1
(五年生)	<五重・五回>	

六 { ロク 11 }
ロツ 3 }
むっ~ 0 }

六	3	7
六まい	4	2
六がつ	1	
六じ	1	
六ば	2	1
六ぼん	1	
六十のおじいさん	1	
六ねんせい	1	
六つ		2
六びき		1
(六年生)		

七	シチ	14		九	ク	8		七 八 九 十
	なな～	0			キュウ	1		
	七	5	8		ここの～	0		
	七まい	5	1		九	3	6	
	七がつ	1			九がつ	1		
	七じ（七時）	1			九にん	1		
	七五三	1			九じ	2	1	
	お七や	1			～月九日	1	1	
	七つ		4		九センチメートル	1		
	七草山		1		九つ		3	
十七		1	九まい		1			
～月七日		3	十九		1			
<七ひき・北斗七星・七曲り>				二十九		1		
八	ハチ	7		十九日		2		
	ハッ	1		九州		2		
	やっ～	0		<十九世紀・九合目>				
	八	1	7	十	ジュウ	22		
	八だい	1			ジッ	1		
	八にん	2	1		とお	0		
	八くみ	1			十（ジュウ）		2	
	八ひき	2	1		十（とお）		2	
	八ぼん	1			十まい	4	1	
	八わ		1		十月	1	1	
八じ（八時）		1	十にん		1			
八百八町		1	十五や		6	1		
三月二十八日		1	十三や		2			
十二月八日		1	十二ほん	2				
八つ		4	十えん（十円）	4	1			
			十じ（十時）	2				

十 右 火 花 月	1 年				
	十ぴき	1	1	火山ばい	1
	十九		1	火事	4
	九十		1	花火	1
	二十たたき		1	野火	1
	十ぱ		1	火のみ	1
	十日		3	火ねずみ	1
	<数十個>			(火事場)	
	右 {ウ・ユウ	0}		花 {カ	0}
	みぎ	26}		はな	10}
	右	23	10	花	6 11
	右がわ	3		花み	1
	右手		1	花ざかり	1 1
	右かど		1	花さかじじい	1
	左右		8	花火	1
	右往左往		1	花だん	2
	(右側) <右足>			花粉	2
	火 {カ	1}		花びん	1
	ひ	13}		花や	1
	び	1}		ほうせん花	1
	火	3	6	(花 園)	
	たき火	1	1	月 {ガツ	12}
	火のみやぐら	4	3	ゲツ	3}
	火のようじん	2		つき	21}
	火もし	1		づき	1}
	火ばし	1		月	6 4
	火じろ	1		(お〜) 月よ	4 2
	火ばち	1		(一〜十二)〜月	5 4
	火よう日	1		正月	1
	火星		1	お正月	6 4

1 年

お月み 2 1
 月よう日(月曜日) 3 3
 お月さま 3 2
 みか月(三日月) 1
 まい月 1
 (二~四) か月 2
 <八月・年月・今月・月日・
 月別>

下 { カ・ダ・しも・
 さげる・くだる 0
 した 18
 もと 1 }

<「おりる」「おろす」とは読
 まない。「下手(へた)」とは
 使わない。>

下(した) 16 13
 下(もと) 1
 下むら 1
 くつ下 1
 下り 4
 上下 4
 地下鉄 1
 下界 1
 地下室 2
 地下 1
 地下水 1
 下流 1
 川下 5
 下水 2

下げる 4
 地下たび 1 月
 下山 1 下
 (ごめん下さい)
 <下手(しもて)> 口 左

口 { ク 0
 コウ 1
 くち 8
 ぐち 1
 口 5 9
 はや口 1
 ひと口ばなし 1
 口ひげ 1
 噴火口 1
 出入口 1
 悪口 4
 出口 1
 入口 1
 口調 5
 口演 1
 火口 1
 山口生 1

<人口・口先・切口>

左 { サ 0
 ひだり 14
 左 10 9
 左がわ(左側) 4
 左右 9
 左手 1

山 子 耳 手	1 年				
	山	{	サン	0	
			ザン	1	
			やま	33	
	山			25	12
	てら山			1	
	山びらき			1	
	ふじの山			3	
	山なしけん			2	
	山ざきくん			1	
	比叡山			1	
	ほうらい山				1
	高山				1
	高山植物				1
	富士山				1
	氷山				1
	(登山・山道)		<山脈・野山>		
	子	{	シ・ス	0	
			こ	22	
	子			5	1
	子ぐま			4	
	子うし			1	
	子りす			2	1
	子ども			5	6
	ちよ子さん			1	1
	子もり			1	
	子もりうた			1	
	おや子			1	
	正しい子			1	
	子うさぎ				1
	王子				1
	ふみ子				1
	天子				1
	子午儀				1
	男子				1
	調子				4
	様子				2
	<子 息>				
	耳	{	ジ	0	
			みみ	10	
	耳			6	12
	耳だれ			1	
	耳つんぼ			1	
	はや耳			1	
	耳くそ			1	
	手	{	シュ	0	
			て	18	
	手			11	10
	手ぬぐい			1	
	手ぶくろ			1	
	お手つだい			1	
	手びょうし			1	
	手まりうた			1	
	手がみ			1	
	りょう手			1	1
	手ちょう (手帳)				1
	遅てん手				1
	信号手				1

1 年

あく手	1	(小説・馬小屋・小人数・小		
電信技手	1	便さん・小刀) <小麦>		手
手術	1			小
はく手	1	上 { うえ 24		上
選手	1	のほ〜 1		
手工芸	1	ジョウ・かみ・		
(手品・手本・相手)		あげる 0		
<助手・着手・手術>		上(うえ) 21	12	
		上むら 1		
		上のはら 1		
		上ののどうぶつえん		
小 { コ 4				
ショウ 1				
ちいさ〜 14				
お 0				
小さな 4	4	上れる 1		
小さ(〜い・く)10	7	地上 1		
小なみ(小波) 3	1	上の句 1		
小さむ 1		上級生 1		
小学生 1		上(あが)〜(る・れる) 4		
小みち 1		上げる 2		
小石 1		上(じよう)下 3		
小川 8		見上げ 1		
小犬 1		上(のほ)り 1		
小風 1		上着 1		
小屋 1		海上 1		
水車小屋 1		川上 2		
小公子 1		屋上 1		
小鳥 1		頂上 1		
小学校 1		上京 1		
小包 1		上流 1		
小川さん 1		上村 1		
		三上来蔵 1		
		<以上・上等・上着>		

人 水 正	1 年		
	人	{ ニン 10 }	
		{ ジン 1 }	
		{ ひと 17 }	
	人	17	10
	(三～八) 人	10	8
	日本人	1	
	いく人		1
	天人		2
	人類		1
	人類愛		1
	人格		1
	人家		1
	人力車		1
	人工的		1
	名人		1
	(人間・小人数・役人・文明 人・人たち)		
	<人命・知人・人形・人さし ゆび>		
	水	{ スイ 5 }	
		{ みず 24 }	
	水	17	11
	水さん		1
	いど水	1	
	水くみ	1	
	わか水	1	
	水たまり	1	
	しお水	1	
	水すまし	1	
	水しごと	1	

正	水よう日 (水曜日)		
		1	2
	水どう・水道	2	1
	水しゃ・水車	1	2
	ふん水	1	
	水ぐすり		1
	水とう		1
	水門		1
	水泳場		1
	用水路		1
	水へい線		1
	<湖水・水害・水音>		
	セイ	0	
	ショウ	11	
	ただし～	1	
	(ただし)	1	
	(まさ)	1	
	<「まさに」「まさしく」は、 かなで書く。>		
	(お～) 正月	10	10
	正し～(い・く)	1	6
	正(ただし)	1	1
	正子	1	
	正直		1
	正確・正かく		3
	校正係		1
	正方形		1
	<校正刷り・正面>		

1 年

生	ショウ・うまれ		
	る、き	0	
生	セイ	7	
	なま	1	
生	いき～	1	
	先生	7	6
生	生～(米・木・水・いわし)		
		1	4
生	生き～(かえる・た・		
	ている)	1	4
生	一生		3
	生まれ～(る・た・の)	10	
生	生の～(まま・貝)	2	
	生きもの	1	
生	一生けんめい	2	
	二年生	4	
生	生む	1	
	生み育て～	1	
生	養生	1	
	立往生	1	
生	生一本	1	
	(生徒・衛生・生活)		
生	<生産・生物・生意気>		

青	セイ・ショウ	0	
	あお～	15	
青	青	2	
	青～(く・い)	13	11
青	赤青い		1
	青緑色		1

青年	青年	1	
	青年会	1	生
(青々と) <青葉>	(青々と) <青葉>		青
			赤
赤	セキ・ジャク	0	
	あか～	21	
赤	赤	8	2
	赤い	10	9
赤	赤ぐみ	1	
	赤とんぼ	1	
赤	赤ちゃん	1	1
	赤道		2
赤	赤リン		1
	赤銅色		2
赤	赤銅		1
	(赤んぼう)		
川	セン	0	
	かわ	20	
川	がわ	4	
	川	16	10
川	あまの川	2	
	かつら川	1	
川	川かみ	1	
	あさ川	1	
川	たち川	1	
	あら川	1	
川	たきの川	1	
	大川		1
川	はや川		1
	(川原) <小川・川口>		

1 年

先 足 大 中 日	先	{ セン 7 } { さき 1 }	
	先生	7	11
	つつ先	1	
	先		5
	まっ先に		1
	<先祖・先頭・指先・店先>		
	足	{ ソク・たりる 0 } { あし 16 }	
	足	9	10
	足あと	3	
	りょう足(両足)	1	
大	かた足	1	
	一ぽん足	1	1
	足がら山	1	
	遠足		4
	満足		2
	不足		1
	足りなかった		1
	<足 場>		
	大	{ タイ・ダイ 0 } { おお〜 16 }	
	大き〜(い・く)	6	5
	大きな	6	7
	大また	1	
	大そうじ	1	
	大うりだし	1	
	大なみ	1	
	大すき		2

大へん	1
大じょうぶ	2
大歓げい	1
大平野	1
大事なこと	1
大ききん	1
大学	1
第一次大戦	1
大造じいさん	1
(大成功・大部分・大統領・大勢 大だすかり・大よろこび)	
<大陸・大漁・重大>	
中	{ チュウ 0 } { なか 17 }
中	15 11
中じまさん	1
山中こ	1
まん中	1
中国	3
中学生	2
うち中	1
学校中	1
世界中	1
<中心・中央・中庭>	
(中学校・村中・心中・中肉の人)	
日	{ ジツ・カ 0 } { ニチ 16 } { ニッ 6 } { ひ 3 } { び 2 }

1 年

日 (ひ)	1	5
ゆう日 (夕日)	1	1
お日さま	1	3
日よう (日よう日)		
	2	2
(一…八) ~日	8	3
~月~日	1	11
まい日	5	1
日ぽん・日本	3	1
日こう (日光)	1	
金よう日		1
たんじょう日		3
え日き (絵日記)	2	
数日		1
日のまる		1
はつ日		1
ある日		1
二日目		1
(三日月)		
<日記・翌々日・日ざし>		
白 {		
ビャク	0	
ハク	1	
しろ~	20	
白	5	2
白~ (い・く)	12	10
まっ白な	1	
白うさぎ	1	1
白ぐみ	1	
白布	1	

白ぼく	1	
白人	1	日
白米	1	白
純白	1	木
白鳥	1	
白鳥物語	1	
白線	1	
白川さん	1	
白夜 (びゃくや)	1	
(白紙) <白髪・青白く>		
木 {		
ボク・モク	0	
き	21	
ぎ	1	
木	19	13
木きり	1	
木のぼり	1	
たき木	1	
木よう日		3
大木 (ボク)		3
木のみ		1
材木		2
木材		1
木かけ		1
土木学者		1
土木事業		1
木器		1
木びきや		1
<老木・木立>		

1 年・2 年

本
目
立
雨

本	ホソ	18
	ボン	1
	ボン	2

<「もと」とは読まない。>

本 (ほん)	13	7
え本	2	3
本ばこ	1	2
本だな	1	
三本	1	
日本	2	1
一本		1
日本人		1
本や		1
何本		1

<手 本>

目	モク	1
	め	17

目	10	12
いぬ目	1	
さがり目	1	
あがり目	1	
ねこの目	1	
よこ目	1	
より目	1	
目的地	1	
おう目むら	1	
目次		1
目的		1
面目		1

(目だま・科目・一時間目・役目) <目方>

立	リツ	1
	た〜	3

立って	2	9
立ちどまって	1	1
立ちあがり		1
立体	1	
立春		2
立派		1
確立		1
設立		1
国立公園		1

(独立国・役立つ)

<独立・国立・飛び立つ>

[2 年]

雨	ウ	0
	あめ	10

雨	9	11
雨あがり	1	
雨ふり		1
雨戸		3
春雨		1
雨量		1
暴風雨		1

(雨もり・雨具・風雨)

<大雨・雨がさ>

雲 { ウン 1 }
くも 6 }

雲 6

雲海 1

白雲 2

入道雲 1

(南雲さん)

音 { オン・イン・ね 0 }
おと 7 }

音 (おと) 7 11

音 (ね) 1

五十音じゅん 1

弱音 1

本音 1

音楽 6

音楽会 1

音色 1

(音楽室・足音)

<発音・防音>

何 { カ 0 }
なん 1 }
なに 5 }

<「いつ」は「何時」と書かないで、かなで書く。>

何 (なに) 5 10

何ば (何羽) 1

何年 1

何年生 1

何本 1

(何台も) <何度・何事>

夏 { カ 0 }
なつ 19 }

夏 14 8

夏休み 3 3

夏らしく 2 1

初夏 2

春夏秋冬 1

家 { や 1 }
いえ 11 }
カ・ケ 0 }

家 11 11

百姓家 1

家主 3

家族 2

人家 1

農家 1

家来 3

家ちく 1

発明家 1

登山家 1

研究家 1

(家内じゅう・家庭)

<国家・画家・家がら・家出・家なみ>

会 { エ 0 }
カイ 13 }
あ〜 1 }

雲
音
何
夏
家
会

2. 年			
会 海 外 学 間	会	1	1
	うんどう会	10	2
	おんがく会	2	
	会～(った・う)	1	4
	学び会・学芸会		2
	子ども会		2
	発表会		1
	たんじょう会		1
	そうだん会		1
	てんらん会		1
	会社		1
	会釈		1
	(研究会・社会)		
	<都会・機会・出会った>		
	海 { カイ 0 }		
	海 { うみ 6 }		
	海	6	12
	海ぞく		1
	海岸		3
	海水着		2
	北海道		2
	せと内海		1
	大青海原		1
	<海底・航海・海外>		
	外 { ガイ・ゲ・ほか 0 }		
	外 { そと 18 }		
	外	18	13
	外国		2
	外科術		2
	野外		1
学	外科		1
	外国人		1
	外野		1
	<番外・内外・外側>		
	{ ガク 1 }		
	{ ガツ 10 }		
	{ まなぶ 0 }		
	学校	9	12
	学校前	1	
	学しゅう(学習)	1	
間	学ぶ		2
	(修学旅行・最高学年・新学 期・入学) <見学・学問>		
	{ カン 5 }		
	{ あいだ 4 }		
	{ ケン・ま 0 }		
	間(あいだ)	4	11
	時間	2	1
	(一・二)～時間	3	4
	一週間		2
	居間		1
	間もなく		2
	人間		7
	手間		1
	板の間		1
	広間		1
	昼間		1
	茶の間		2

(時間表・旬間)

<林間学校・世間・間引き・
居間>

気	キ	19	
	ゲ	1	
	ケ	0	
	気	3	3
	気をつけ(て・る)	3	4
	気もち	5	1
	うそのような気	1	
	へい気	3	
	天気	1	
	ゆ気	1	
	元気	3	3
	ゆう気・勇氣		3
	気高い		2
	(気分・電気・氣候)		
汽	キ	7	
	汽車	7	4
	汽船		7
休	キ ユウ	1	
	やす～	8	
	夏休み	2	
	休～(む・んだ・みました)		
		5	2
	休けい	1	
	休みなし	1	

休けい室

休息

休養

休暇

(夏休帳)

<休日>

牛	ギ ユウ	0	
	うし	6	
	牛	5	8
	子牛	1	
	乳牛		1
	牛舎		1
	牛にゅう屋		1
	牛にゅう		2
	牛ごや		1
	牛肉		1
	<水 牛>		
玉	ギョク	0	
	たま	13	
	だま	3	
	玉	6	2
	玉ねぎ	3	1
	玉うどん	1	
	水玉	1	1
	玉入れ	2	2
	お手玉	2	1
	ビーズ玉	1	
	まゆ玉		1
	玉座		1
	紅玉		1

気
汽
休
牛
玉

2 年			
玉 近 金 空 犬 見	玉のり	1	
	玉石	1	
	(じゅず玉)		
	近 { キン 0 }		
	{ ちか〜 11 }		
	近づ〜 (く・きました)		
	3	1	
	近〜 (い・く) 8	11	
	近所	9	
	近海	1	
	(最 近)		
	<近代的・間近・近寄る>		
金	{ コン 0 }		
	{ キン 6 }		
	{ かね 3 }		
	金 (キン)	3	5
	(お〜) 金	1	5
	金よう日	3	4
	お金もち	2	
	黄金	3	
	金じき	1	
	金色	2	
	金魚	1	
	六日金	1	
	金あみ	1	
	(代 金)		
	<料金・金属・金あみ>		
	空 { クウ 0 }		
	{ そら 11 }		
	{ ぞら 1 }		
	<「から」とは読まない。>		
	空	11	9
	青空	1	2
	空気		5
	空港		1
	航空会社		1
	<空 中>		
	犬 { ケン 0 }		
	{ いぬ 2 }		
	犬	1	6
	小犬	1	2
	犬くぎ		1
	犬ごや		1
	番犬		1
	勇犬		1
	<犬ぞり>		
	見 { ケン 0 }		
	{ み〜 13 }		
	見〜(る・て・た・ました)		
	7		9
	見え〜(る・ました)		
	2		1
	見せました	1	
	見つかる	1	
	見たい	1	
	見にゆく	1	

見あわせ	1		光	{	コウ	0		見
見わたす	1				ひかり	4		元
見物人	2				ひか〜	13		戸
見物	2				光	4	3	光
意見	1				光〜(る・らせ・りなが			向
見学	3				ら・って)	13	9	考
発見	1				光村		1	
					日光		1	
					一光年		1	
					光景		1	
					極光		1	
					風光		1	
					陽光		1	
					電光		2	
					観光		1	
					<光 榮>			
					向	{		
						コウ	0	
						む〜	13	
						向〜(く・いて・き)		
							9	7
						向こうの	4	5
						一向		1
						方向		6
						向上		1
					考	{		
						コウ	0	
						かんが〜	10	
						考え	2	
						考え〜(る・て・ました)		
							8	12

2 年

参考

考案

(参考書) <考古学>

行 {
アソ 0
コウ 1
ギョウ 1
い〜 12
おこな〜 1
ゆ〜 1

行〜(く・き・って・った)
12 8

銀行 1

一行目 1

行く先 1

行われた 1

進行がかり 1

行事 2

行列 4

行と行 2

行う 4

平行 1

急行 2

航行 1

飛行機 2

旅行 2

発行 2

実行 1

(修学旅行・右側通行)

<夜 行>

2

1

校 {コウ 4}

学校 4 12

<校正刷り・在校生>

高 {
コウ 0
たか〜 4

高〜(い・く) 4 12

高原 3

高地 1

高山植物 1

高等農林 1

高等学校 1

(最高学年)

合 {
ゴウ 2
あ〜 2

合う 2

見合わせ(〜る) 1 1

都合 1

見合って 1

合わせる 3

出合った 1

いい合って 1

話し合い 1

合図 4

試合 2

待合室 1

合金 1

合計 1

集合 1

調合 1

			2 年		
谷	一合ます	1	黒虫	1	合 谷 黒 今 作
	七合目	1	黒板	8	
	合唱	3	(暗黒) <黒色, 黒丸>		
	<一合目・場合>				
	コク 0		今 { コン・キン 0 }		
	たに 6		いま 11		
	谷 3	3	<「きょう」「ことし」は, か なでかく。>		
	谷あい 3	1	今 11 11		
	谷川 4	3	今夜 1		
	谷ま (谷間) 3	1	今週 1		
国	谷そこ 1		今度 4		
	コク 0		<今 月>		
	コツ 1		作 { サク 8 }		
	ゴク 4		サ 1		
	くに 2		つく~ 11		
	国 1	11	作文 8 6		
	お国 1	1	作~ (る・って・った・ らせ・りました・ろう)		
	中国 4	2	8 13		
	国会 1	3	作り方 3		
	国語 3	1	作用 1		
黒	国てつ 1		工作 2		
	(独立国・日本全国)		作業 3		
	<国家・外国・国々>		作法 1		
	コク 0		作男 1		
	くろ~ 5		動作 4		
	黒 2		<作 物>		
	黒い 1	8			
	黒毛 2	1			
	黒人 2	2			

糸 思 紙 字 時	2 年			
	糸	{ シ 0 } いと 1 }		
	糸		7	
	小糸さん	1		
	毛糸		3	
	糸まき		1	
	糸ぎれ		1	
	絹糸		1	
	製糸工場		1	
	<つり糸>			
思	思	{ シ 0 } おも〜 9 }		
	思〜(う・って・いました)		8	12
	思い	1		
	思案		1	
	思考		1	
	思想		2	
	不思議		2	
	(思い出)			
	紙	{ シ 3 } かみ 7 } がみ 6 }		
	紙	6	7	
紙	手紙	6	3	
	表紙	2	6	
	紙くず	1		
	新聞紙	1		
	ちり紙		1	
	ボール紙			1
	画用紙			1
	紙しばい			1
	用紙			1
	紙型			1
字	(紙ぶくろ・白紙)・			
	<紙面・巻紙>			
	字	{ ジ 2 } あざ 0 }		
	字	1		12
	かん字(漢字)	1		
	(習字, 教育漢字表)			
	<文字, 字訓>			
	時	{ ジ 10 } とき 3 }		
	<「いつ」は「何時」と書か ないで, かなで書く。>			
	時(とき)	3		7
時	(一〜八)〜時	5		7
	(〜)時間	3		4
	時間	1		
	なん時	1		
	時計			3
	時計屋			3
	時々			1
	(時間ひょう・食事時)			
	<時 代>			

車	シヤ	4	
	くるま	9	
	ぐるま	3	
車		8	8
車の上		1	
汽車		4	6
うば車		3	1
荷車			1
水車			1
糸車			1
(自転車・車内・列車・発車・ 機関車) <車夫>			

秋	シユウ	0	
	あき	12	
秋		11	11
秋風		1	
秋山			1
秋分			1
初秋			1
(秋晴れ)			

出	シユツ・スイ	0	
	で～	10	
	だ～	3	
<「できる」は、かなで書く。>			
出		2	
出～(る・て・ました)			
		3	9
出し～(ました・て)			
		1	3

とり出して	1	
ひき出し	1	
出かける		1
出演		1
出発		3
出頭		1
(思い出) <出版・出席・ 輸出・出口・家出>		

春	シユン	0	
	はる	12	
春		11	8
春かせ・春風		1	2
春男さん			1
立春			2
春分			1
早春			1
(春季大そうじ・春にしん)			

所	シヨ	0	
	ところ	5	
所		5	7
近所			8
台所			1
発電所			2

(待合所・修理所・便所)
<名所・役所>

書	シヨ	1	
	か～	11	

書 女 少 色 心	2 年				
	書～(く・いて・いた・き なさい・きました)			少数	1
		11	13	(少女クラブ)	<多少>
	辞書	1		色 { シキ 0 }	
	図書館		2	色 { ショク 1 }	
	清書		1	色 { いろ 11 }	
	読書週間		1	色(いろ)	7 5
	書生		1	き色・黄色	2 2
	(図書・参考書・教科書)			色紙	1 1
	<書画・封書>			白一色	1
女	{ ジョ・ニョ 0 }			色づいて	1
	{ おんな 13 }			金色(きんいろ)	2
	女	5	1	顔色	1
	女の子	6	7	三色	1
	女の人	2	2	保護色	1
	女神		1	色ごま	1
	少女		1	もも色	1
	女子		2	景色	1
	女中		1	白色	2
	女王		1	五色	1
少	女王ばち		1	十八色	1
	<男 女>			<天然色・茶色>	
	{ ショウ 0 }			心 { シン 0 }	
	{ すこ～ 8 }			心 { ころ 4 }	
	{ すく～ 1 }			心	2 6
	少し	8	10	心もち	2 1
	少なく	1		苦心	1
	少年		4	用心	1
	少女		2	心がけ	1
				感心	1

2 年

	安心	3		音声	1		心 森 西 声 夕 石
	一心	1		なき声			
	心配	4		かく声器			
	(心中) <心得・真心>			声えん			
森	{シン	0}		伝声管			
	{もり	9}		声楽家			
	森	9		<小 声>			
	森林						
	<森林地帯>		3	夕 {セキ	0}		
西	{サイ	0}		{ゆう	10}		
	{セイ	1}		夕	1		
	{にし	7}		夕日	2	1	
	西	7		夕方・夕がた	4	4	
	大西洋	1	6	夕かせ	1		
	西町		1	夕やけ	2		
	西洋かん		1	夕はん・夕飯			
	関西		1	夕ぐれ		1	
	北西風		1	夕ごはん		1	
	西洋		2	(夕 食)			
	西日		1	石 {シャク	0}		
	東西		3	{セキ	1}		
	西暦		1	{コク	1}		
	西がわの国		1	{いし	10}		
	西海岸		1	石	5	6	
	西川さん		2	小石	3	2	
	<東西文化>			にわ石	2		
声	{セイ	1}		二億石	1		
	{こえ	16}		ろう石	1		
	声	16		石炭		3	
			10	石ころ		1	

石 切 雪 千 前	2 年				
	大理石	1		残雪	1
	石けり	1		雪原	1
	石だん	2		雪氷委員	1
	いん石	1		(粉雪・初雪・積雪)	
	十三石	1		<雪片・根雪>	
	(鉱石) <岩石・石拾い・石授>				
	切 { セツ 0 }		千 { セン 4 }		
	サイ 1 }		ち 1 }		
	き~ 10 }		千えんさつ 1		
	切 2		千にん・千人 1	3	
	切~ (れて・る・って・		二千にん 1		
	った・りました)		千鳥 1		
	5	8	千円 1		
	切り口 3		なん千 1		
	一切 1		千本 1		
	切りおとす 1		千頭 1		
	切れふし 1		何千里 1		
	切れはし 1		千里号 1		
	大切 2		千五百 1		
	切りぬき 1		二三千 1		
	親切 5		九千八百 1		
			<千 年>		
	雪 { セツ 0 }		前 { ゼン 1 }		
	ゆき 7 }		まえ 8 }		
	雪 7	10	前 4	8	
	雪国 1		学校前 1		
	雪どけ 1		前おき 2	1	
	防雪林 1		駅前 1		
	雪面 1		午前 3		
	風雪 1		名前 1		

			2 年		
(おひる前・前列)			走～(る・り・れ・って)		
<前後・前途・手前>			18	12	組
組	くみ	8	きょう走・競争	1	2 早
	ぐみ	3	走者	1	1 走
	く～	1	かつ走	1	1 草
	ソ	0	助走路	1	1 村
	組	6	<走り出す>		
組	6	6			
二年一組	1		草		
赤組	2	1	ソウ	0	
白組	1		くさ	20	
組あい	1		草	17	7
組んで	1		草原	2	1
組み合わせ		1	草むら	1	
番組		1	青草		1
二組		2	草やね		1
組みついて		1	草っぱ		1
組織		3	草かり		1
組織的		1	海草		2
<各組・仕組>			月見草		1
			牧草		1
			雑草		1
早			(草とり) <七草・唐草>		
ソウ	1				
はや～	13		村		
早～(く・い・かった)			ソン	1	
	13	11	むら	13	
早春	1		村	11	11
手早く		1	北村のおばさん	1	
(早 速)			村はずれ	1	
			市町村	1	
走			中村		1
ソウ	1		村長		1
はし～	18				

2 年					
村 多 男 池 地 知 竹	農村	2		池のはた	1
	島崎藤村	1		青池さん	1
	<村 里>			電池	2
	多 {タ 0}			<古 池>	
	多 {おお~ 12}			地 {チ・ジ 0}	
	多~ (い・く・かった)			地上	1
	12	11		地下	1
	多すぎる	1		地	1
	多数決	1		番地	2
	多少	1		あき地	2
男	多数	1		地下たび	1
	<多 量>			地面	6
	男 {ダン 0}			きれ地	1
	男 {ナン 1}			(目的地・集合地・植民地)	
	男 {おとこ 7}			<陸地・地蔵>	
	男 2	4		知 {チ 1}	
	男の子 3	4		知 {し~ 14}	
	小男 2			知~ (ら・り・る・って・	
	下男 1			った) 14	8
	春男	1		知らせ	1
池	男子	1		知能 1	
	長男	2		知りあい	1
	三男	1		知識	1
	男生	1		承知	1
	<男 女>			<知 人>	
	池 {チ 1}			竹 {チク 0}	
	池 {いけ 7}			竹 {たけ 10}	
	池 6	8		竹 {だけ 1}	
	貯水池 1			竹 8	9

			2 年				
虫	竹やぶ	2	1	町長	3	・ 2	竹 虫 町 長 鳥 朝
	しの竹	1		委員長	1		
	竹ぼうき		1	駅長		1	
	竹田信二		1	校長		1	
	{チュウ	0}		成長		1	
	{むし	9}		ほそ長い		1	
	虫	9	10	身長		1	
	虫かご		1	議長		1	
	こん虫		1	長ぐつ		1	
	害虫		2	たい長		1	
ほ虫あみ		1	<長方形・長屋>				
すず虫		1	鳥	{チュウ	1}		
かぶと虫		1		{とり	11}		
(虫 歯)				鳥	6	5	
<虫名・幼虫・害虫・虫めがね>				小鳥	5	6	
町	{チュウ	4}		ペンギン鳥	1		
	{まち	9}		青い鳥		1	
	町	9	10	白鳥		3	
	町長	3	1	鳥類		2	
	市町村	1		こんこん鳥		1	
	町はずれ		1	(鳥ごや・小鳥屋・鳥おい)			
	町内		1	<益鳥・鳥取>			
	有楽町		1	朝	{チュウ	1}	
	本町		1		{あさ	14}	
	<町人・港町>				朝	11	8
長	{チュウ	4}			朝日	1	1
	{なが〜	5}		朝ごはん	2	1	
	長〜(い・く)	4	10	平安朝	1		
	長しかく	1		毎朝		1	

2 年

朝がお	1	
朝食	1	
朝刊	1	
朝てい (朝廷)	1	
(朝 礼)		
天 { テン 12 }		
あめ 0 }		
天	2	
天気・天き	6	5
天人	3	2
天じょう	1	
お天気		2
天気よほう		1
天じく		1
天子		1
<天文・天皇>		
田 { デン 1 }		
た 3 }		
<「いなか」は、かなで書く。>		
田	2	5
田うえ	1	3
塩田	1	
山田さん		1
田中くん		1
田中榮次		1
いな田		1
水田		2
田園		2
(田んぼ) <開田>		

土 { ト, ド 0 }		
つち 1 }		
土		11
土の上	1	
土よう日・土ようび		5
火・木・土		1
土色		1
土手		1
土星		2
土地		3
<風 土>		
冬 { トウ 0 }		
ふゆ 11 }		
冬	10	11
冬休み	1	1
冬期		1
東 { トウ 2 }		
ひがし 15 }		
<「あずま」は、かなで書く。>		
東	13	8
東京	2	9
東山梨郡	1	
東がわ	1	
北東		1
東西南北		1
東町		1
(東 西)		
道 { ドウ 1 }		
みち 17 }		

			2 年		道 読 南 入 年
道	16	12	南半球	1	
たんぼ道	1		南部	1	
上水道	1		南東風	1	
北海道		4	<南 北>		
車道		1	入 { ニュウ 1 い〜 5 }		
道路		3			
水道		1	<「はいる」とは読まない。>		
道具		2	入れ〜 (る・て・た・ま した)	4 7	
(鉄道, 新道, 農道, 県道)			めいし入れ	1	
<報 道>			記入	1	
読 { ドク・トク 0 よ〜 12 }			たま入れ		1
			入り口		2
読〜(む・み・んで・んだ)			取入れ		1
	12	10	さし入れる		1
読み手		1	入学		1
もく読		1	加入国		1
読者		1	輸入		1
朗読		1	<収 入>		
<読 書>					
南 { ナン 1 みなみ 0 }			年 { ネン 10 とし 1 }		
南		7	<「ことし」は、かなで書く。>		
南極	1		年	2 4	
西南 (セイナン)		1	(二〜) 年生	2 10	
西南 (にしみなみ)		1	ぎょ年	1	
南氷洋		1	(二〜三) 年	2 1	
南海		1	来年	2	
南がわ		1	年のくれ	1	
南風		1	百四十五年	1	

年 波 馬 麦 半 百	2 年				
	年月	1	麦わらぼうし	2	
	年上	1	麦ばたけ・麦畑	1	2
	ほう年	1	麦ぶえ		1
	年より	1	麦ふみ		1
	(毎年) <お年玉>		小麦		1
	波 { ハ 0 なみ 7 }		麦かり		1
	波 7	12	麦めし		1
	大波	1	<からす麦>		
	電波	2	半 { ハン 5 なかば 0 }		
馬	難波 (なにわ)	1	(〜) じ半	2	
	防波てい	1	半ズボン	2	1
	波もん	1	半かけ	1	
	馬 { バ 0 うま 1 }		二メートル半		1
	馬 9		半分		5
	子馬 1		9時半		1
	馬車 5		七まわり半		1
	馬小屋 1		半ば		3
	天馬 1		半けい		1
	五十馬力 1		半紙		1
麦	荷馬車 1		半円形		1
	馬術 1		百 { ヒャク 15 }		
	(馬こう (馬耕))		<「やおや」は, 「八百屋」 とは書かない。>		
	<競馬場・母馬>		百 1		
	麦 { バク 0 むぎ 6 }		百円 1		2
	麦 2	5	百メートル 2		1
	麦わら 1	1	百三十八 1		
			百円さつ 4		

二百十日	1	
五百日目	1	
百(〜〇〇〜)年	1	3
百十九ばん	2	
二百五十キロメートル	1	
(八〜)百(五十〜)	2	
百人	1	
百二十五センチ	1	
お百しょう	1	
百頭	1	
(百貨店) <数百人>		
父 { フ 1 } { ちち 1 }		
<「おとうさん」は、かなで書く。>		
父	1	8
父兄	1	
祖父		2
父子		1
父おや		1
父母		1
父兄会		1
風 { フウ 0 } { かぜ 12 }		
風	11	10
秋風	1	
北風		2

南風	1	2	年
風がわり	1		百
南東風	1		父
風光	1		風
風景	2		分
台風	1		
風車	1		
風船	1		
風船玉	1		
(強風) <暴風雨>			
分 { フン 8 } { ブン 5 } { プン 1 } { ブ 1 } { わ〜 1 }			
(五・十五)〜分			
	8	2	
気分	4	1	
自分	1	4	
(三十・五十)〜分			
	1	2	
国分	1		
分かれて	1		
分け〜(る・て・られ)		5	
半分		2	
部分		1	
より分けて		1	
えらび分けて		1	
八分どおり		1	

2 年

文
米
歩
母

(分類・気分・親分)
<何分・分類・部分品>

文	{	ブン	14	
		モン	0	
文			5	3
作文			6	8
みじかい文			1	
文この本			1	
文こ			1	
注文				2
文字				3
文句				2
真一文字				1
天文台				2
大文字山				1

(文化祭・文明・世界文化)
<文化・天文>

米	{	マイ	0	
		ベイ	1	
		こめ	5	

<「メートル」は、かなで書く。>

米		1	
お米		4	8
日米間		1	
精米ぎ			1
白米			1
せい米所			1
米ちゃん			1
もち米			1

米つぶ 1
米原 1

歩	{	ホ・あゆむ	0	
		ブ	1	
		ある～	9	
歩～(く・き・いて)				

9 10
五段歩 1

歩～(ま・み) 2

第一歩 1

(五六・九十)～歩 2

進歩 2

歩調 1

<徒 歩>

母	{	ボ	0	
		はは	2	

<「おかあさん」は、かなで書く。>

母の日 1

母の会 1 1

母 6

母馬 1

母ねずみ 1

父母(ちちはは) 1

父母(ふほ) 1

聖母 1

母船 3

母港 1

母国 1

夜 友 用 来 両	2 年					
	夜	ヤ	1		用	3 5
		よ	8		用意	2 3
		よる	14		用心	1
	夜(よる)	14	12	火の用心	1	
	秋の夜	2		画用紙		1
	その夜	1		用事		1
	夜中	1		乗用車		1
	十五夜	1		用水路		1
	月夜	2		用いる		2
	夜明け	1	1	(そうじ用具) <学用品・費用>		
	夜(ヤ)		2	来	{ライ 3 こ～ 2 き～ 7 く～ 4}	
	夜道		1			
	日夜		1			
	夜具		2			
	夜半		1	来る	4	8
	(夜まわり・今夜)			来～(ました・て・た)		
	<夜行列車・昼夜>				7	8
	友	{ユウ 0 とも 9}		来～(られました・い)		
					2	1
<「友だち」は「友達」とは 書かない。>			来年	3	4	
友	2		ふいて来る		1	
(お～)友だち	7	12	未来		1	
友情		2	来週		1	
友人		1	外来語		1	
親友		1	<御来迎・以来>			
級友		1	両 {リ ヨ ウ 3}			
用	{ヨウ 7 もちいる 0}			両手	2	6
				両足	1	
				両方		3

2 年・3 年

両がわ, 両側 両はし		2 1	話	{ ワ はなし ばなし はな～ (お～) 話 むかし話 話して 話あい 童話集 どう話・童話 世話 話題 電話 受話器 <対 話>	0 7 3 0 7 3	5 6 1 1 3 1 1 2 1	両 力 林 話 悪 安
力 { リキ・リョク ちから	0 3	3					
力	3	12					
速力		1					
全速力		2					
五十馬力		1					
協力して		1					
引力		2					
人力車		1					
努力		3					
千人力		1					
<体力・勢力>							
林 { リン はやし	0 6	6					
林	6	11					
林さん		1					
林間		1					
森林		1					
原始林		1					
学校林		2					
植林		1					
密林		1					
農林		1					
<林間学校>							
[3 年]							
悪 { アク わる～	0 7	11 1					
悪もの・悪者	2	1					
悪そう	1	1					
悪～(く・い)	4	1					
悪口		2					
悪人		1					
悪性		1					
悪路		1					
安 { アン やす～	13 1						

3 年				
安 暗 意 引 運 駅 円 遠	安心	10		
	安全	3		
	安い	1	3	
	安田		2	
	安治さん		1	
	<保安・安物>			
	暗 {	0}		
	くら～	5}		
	ぐら～	2}		
	暗～(い・く)	3	12	
	うす暗く	2		
	まっ暗	1		
	暗やみ	1		
	明暗		1	
	暗号		1	
	暗室		1	
	暗記		2	
	<暗 黒>			
	意 {イ	4}		
	注意	4	7	
	用意		5	
	<意見・意志・不意>			
	引 {	0}		
	ひ～	8}		
	引～(く・き・いて・い			
	たら)	5	11	
	引っぱった	1		
	つな引き	1		
	水引き	1		
	あみ引き			1
	引力			2
	引用			1
	運 {	5}		
	ウン	0}		
	はこぶ			
	運動場	2		
	運動	2		
	運動会	1	6	
	運～(ぶ・び・んで・べ)			
				11
	運動着			1
	<運転・社運>			
	駅 {エキ	6}		
	駅	3	11	
	水戸駅	1		
	駅前	1	1	
	洗足駅	1		
	<東京駅>			
	円 {エン	4}		
	～円(金額)	2	7	
	円のたんい	1		
	円筒	1		
	円		1	
	半円形		3	
	遠 {	0}		
	オン	3}		
	エン	3}		
	とお～	3}		
	遠足	3	6	

遠い	3	12	とけい屋	1	遠
望遠鏡		2	屋内	1	王
<永遠・遠めがね>			かんばん屋	1	横
王 {オウ	1}		とうふ屋	1	屋
王様	1	7	屋上	3	荷
王座		1	とこ屋	1	歌
発明王		1	さかん屋	1	芽
女王		4	(馬小屋)		
<まんが王・大王様>			荷 {カ	0}	
			に	5}	
横 {オウ	0}		荷	2	
よこ	6}		荷物	4	5
横	5	10	つみ荷	1	
横はま	1	1	荷ぐるま		4
横書き		1	荷船		1
横断		5	集荷所		1
(横向き) <横切る>			歌 {カ	1}	
			うた (～)	10}	
屋 {オク	1}		歌	4	12
や	12}		歌～(う・って)	5	
屋根	2	1	仲よし歌日記	1	
屋根屋	4		短歌	1	
くだもの屋	1		国歌		1
みせ屋	1		歌劇		1
おみせ屋	1		唱歌		1
やお屋	1		和歌		1
おもちゃ屋	1		<歌 人>		
家屋	1		芽 {ガ	0}	
小屋		6	め	4}	
目がね屋		1			

3 年					
芽 画 回 界 開 絵 角	芽	1	11	<自然界>	
	木の芽	2		開	{ カイ 3 }
	芽ばえ	1			{ ひら~ 1 }
	新芽		1	開会	2 1
	画 { ガ 14 }	{ カク 1 }		開こん	1
				開~ (く・き・け・いて)	
	図画	5	1		1 9
	画用紙	2	3	開通	2
	映画	4	3	満開	1
	映画会	2	1	開票	1
	まん画	1		<未 開>	
	計画	1	5	絵	{ カイ 0 }
	えい画館		1		{ え 5 }
	企画		1	絵	5 12
	<肖像画・画家・区画>			絵画	1
	回 { エ 0 }	{ カイ 5 }		絵友	1
				(絵日記・油絵)	
	まわ~	1		角 { カク 3 }	{ つの 0 }
	(~) 回	2	8		
	(~) 回め・一回目			角(つの)	6
		1	2	四角	2 3
	回すう	1		三角けい・三角形	
	十回分	1			1 1
	回して	1		町角	1
	回る		4	方角	2
	(回 転)			三角	4
	界 { カイ 5 }	5	12	五角	1
				角ばって	1
	世界	5		<急角度・角ぶえ>	
	(銀世界・世界文化)				

寒	カン	1	
	さむ～	3	
	寒い		12
	寒さ	3	
	極寒	1	
	寒中		1
	寒流		1
	<寒 気>		

感	{カン	13}	
	感じ	2	
	感想	2	1
	感心	8	9
	感じない	1	
	(感覚) <感謝>		

岸	ガン	5	
	きし	14	
	岸	14	8
	両岸	1	
	かい岸 (海岸)	3	10
	岸べき	1	

岩	{ガン	0}	
	いわ	12	
	岩	11	11
	岩かど	1	
	かこう岩		1
	岩かけ		1
	よう岩		1
	(岩石) <さく岩機>		

顔	ガン	0	
	かお	16	
	がお	1	
	顔	16	12
	朝顔	1	
記 {キ	8}		

<「しるす」とはかなで書く。>

日記	4	12
----	---	----

つばめ日記	1
かんさつ日記	2
学びゅう日記	1

(記録帳・記念・記録がかり)

<記録・記事>

起	キ	1	
	おき～	8	
	おこ～	1	
	起き～ (る・て・た)		
		6	11
	早起き	2	1
	起こす	1	
	起原	1	
	ゆう起		1
	起しょう		1
	起重機		2
	田起し		1
	朝起き		1
	<起 り>		

3 年

帰
喜
客
究
急
級
球

帰	{キ	1}		
	かえ～	29}		
	帰～(る・り・ろう・って)		24	12
	帰り	3		
	お帰り	1		
	帰り道	1		
	帰化人	1		
	帰国			1

喜	{キ	1}		
	よろこ～	8}		
	喜～(ぶ・び・んで)		6	10
	大喜び	2	2	
	喜一	1	1	
	喜望峰		2	

客	{キャク	9}		
	カク	1}		
	客			1
	お客	2	6	
	お客さま	4	1	
	お客さん	1		
	じょう客	1		
	旅客	1		
	客間	1	1	
	客引き		1	
	遊らん客		1	
	客車		1	

<旅客機>

究 {キュウ 6}

<「きわめる」とは読まない。>

研究	5	9
研究室	1	
研究家		3
(研究会)		

急 {キュウ 2}

急～(ぐ・いで・いだ)

	2	5
急に	2	8
急行		1
大急ぎ		3
急行列車		1
急病		1

<急流・急速>

級 {キュウ 9}

学級	1	11
級長	1	
学級園	1	
学級文庫	3	
学級児童会	1	
学級べつに	1	
上級生		1
上級	1	
(学級新聞)		

球 {キュウ 19}

<「たま」とは読まない。>

3 年

球	1	教だん	1	球
野球	18	教科書	1	去
地球	1	教え～(て・ようとして)	5	魚
電球	1	教わ～(る・った)	2	京
去 {キヨ	6}	(教育漢字) <教授・仏教>		教
コ・さる	0}			強
去年	6	強 {ゴウ	0}	橋
去る		キョウ	12}	銀
過去		つよ～	10}	
魚 {ギヨ	8}	勉強	12	10
うお	0}	強～(い・く)	10	11
<「さかな」というときは、		強情		1
かなで書く。>		<強弱・増強・力強い>		
魚	8	橋 {キョウ	1}	
金魚	7	はし	8}	
金魚やさん	1	ばし	11}	
魚市場	1	橋	7	7
魚群	1	土橋	9	2
魚つり	2	鉄橋	1	6
京 {キョウ	7}	にじのそり橋	1	
ケイ	0}	たいこ橋	1	
東京	6	京橋	1	
東京大学	1	さん橋		1
京都	2	大橋		1
<平安京・上京>		船橋		1
教 {キョウ	11}	(橋上) <開閉橋・日本橋>		
おしえる	5}	銀 {ギン	11}	
教室	9	銀	1	10

銀 苦 兄 形 決 研 原	3	年			
		銀行	9	1	
		協和銀行	1		
		銀色		1	
		(銀世界) <銀線>			
	苦	{ク	6}		
		{くる～	10}		
		{にがい	0}		
		苦心	6	7	
		苦しい	8	11	
		苦しそうな	1		
		苦しき	1		
		苦勞		3	
		<苦 戦>			
	兄	{キョウ	3}		
		{ケイ	1}		
		{あに	50}		
		<「にいさん」はかなで書く。>			
		兄	50	10	
		兄弟	2	4	
		兄弟げんか	1		
		父兄	1		
		父兄会		2	
	形	{ケイ	2}		
		{ギョウ	10}		
		{かたち	12}		
		{がた	1}		
		形(かたち)	12	9	
		人形	9	9	
		電光形	1	1	
		指人形	1		
		形容詞	1		
		ひし形	1		
		長方形			1
		正方形			1
		半円形			1
		八角形			1
		くさび形			1
		<形式・地形>			
	決	{ケツ	4}		
		{き～	1}		
		決して	4		3
		決まった	1		
		決心			8
		決定			1
		決める			10
		<決戦・解決>			
	研	{ケン	6}		
		研究	5		11
		研究室	1		
		研究家			1
		(研究会)			
	原	{ゲン	2}		
		{はら	7}		
		野原	3		
		原紙	1		2
		立原先生	1		
		原町小学校	1		
		原町1380ばんち	1		

草原(くさはら) 1			いわなみ文庫 1		
原因 1			書庫 1		原
原始林 1	1		倉庫 2		古
原始生活 1	1		<冷蔵庫>		庫
原始的 1	1		午 {ゴ 15}		午
原料 2	2		午後 14	9	後
病原体 1	1		午ぜん・午前 1	2	語
原先生 1	1		正午 1	1	
原きみ子 1	1				
まつ原 1	1		後 {ゴ 7}		
川原遊び 1	1		コウ 1		
高原 1	1		うしろ 5		
原っぱ 1	1		のち 1		
(川原・原理)			<「あと」というときは、かなで書く。>		
古 {コ 1}			午後 6	6	
ふる~ 1}			後(うしろ) 5	10	
古~(い・く) 1	9		ほうか後(放課後)		
古賀 1			1		
古びて 1	1		後世 1		
古バケツ 1	1		後(のち) 1		
古川あや子 1	1		食後 1		
最古 1	1		後輩 1		
名古屋 2	2		後援 1		
古代 1	1		その後 1		
(古着屋) <古風・考古学>			(後 列)		
庫 {コ 16}			<最後・後退・後すがた>		
<「くら」とは読まない。>					
文庫 10	10		語 {ゴ 9}		
学級文庫 4			がたり 1		
			かたる 0		

3 年

語
工
黄
広
号
根

語
国語 8
外国語 1
三太三重丸物語 1
英語
物語
語り
語る

<新語・英語>

工 { コウ 5 }
ク 0 }

工作 2
図工 1
工夫 1
工場 1
大工
工事場
木工場
細工

<人工・文選工>

黄 { コ・オウ 0 }
き 8 }

黄 2
黄色 4
黄いろい・黄色い 2

黄金
黄白色
黄熱病

1
5

3
4
2
1

黄みどり 1
<黄ちょう>

広 { コウ 1 }
ひろ〜 9 }

広〜 (い・く) 8
広 (コウ) 1
広口びん 1

広場 2
広作 1
広々として 1
広告 6
広大 1

号 { ゴウ 0 }

番号 4
第一号 4
サンタマリヤ号 1
千里号 1
かもめ号 1
年号 1

(一月号) <記号・号令>

根 { コン 0 }
ね 12 }

根 1 5
屋根 4 4
根もと 5 2
屋根屋 2
根気 7
大根 1

球根	1	盛岡市	1	根 細 散 市 死 使 始
<根本(こんぽん)・精根>		青物市場	1	
細 {サイ・ほそい・ こまかい 0}		<都市・市民>		
細い	8	死 {シ 1 し〜 4}		
細か〜(い・く)	7	死〜(ぬ・んで・んだ・ にたい) 4	12	
細道	1	死がい	1	
細長い	3	死体	1	
細工	1	<死傷者・必死・死にものぐ るい>		
細菌	2	使 {シ 1 つか〜 12}		
散 {サン 0 ち〜 2}		使〜(う・って・いましよ う・います) 11	7	
散〜(る・って・り・らす)	2	使い方	1	
散歩	5	御使用	1	
解散	1	お使い	1	
市 {シ 2 いち 2}		公使	1	
市(シ)	1	小使	1	
水戸市	1	小使さん	1	
市場	1	使用する	1	
野菜市場	1	使命	1	
市やくしょ・市役所	2	使者	1	
大石市	1	始 {シ 1 はじ〜 5}		
馬の市	1	<「はじめ, はじめて」は「初 め, 初めて」と書く。>		
魚市場	2			
アルポア市	1			
青森市	1			
京都市	1			

3 年

始
指
寺
自
事

始め～(て・た・る・ます)

3 8

始ま～(った・る)

3

開始

1

始業

1

始終

1

始発

1

始末

1

原始生活

1

原始林

1

指 { シ 0 }
 { ゆび 11 }

<「さす」を「指す」とは書かない。「さしず」はかなで書く。>

指

4 6

親指

2

人さし指

1

指人形

2

指わ

1

指さす

1 2

指名

1

おや指

1

指めがね

1

指先

1

指導

1

指示

1

指揮者

2

(薬 指)

寺 { ジ 3 }
 { でら 1 }

寺

8

せいかん寺 1

じょうしょう寺 1

山寺

1

1

東寺

1

寺村

1

寺田

1

寺院

2

法隆寺

1

立石寺

1

白 { ジ 22 }
 { シ・みずから 0 }

自由

4

2

自分

10

6

不自由

1

自動車

8

自転車

2

自然

5

自治会

1

自ら

1

(自習・自由題)

事 { ジ 13 }
 { こと 1 }
 { ごと 12 }

用事

4

1

仕事

12

6

へん事 (返事) 8

4

火事

1

3

(感じた) ～事 1

大事	1		実	{	ジツ	0		事
無事	1				み	12		持
工事	1				みの～	1		室
事務所	1				(かきの～) 実(み)			実
何事	1					10	10	写
(食事・忘れ事・畑仕事・行					木の实	2		者
事表) <行事・事件>					実～(る・った)	1	1	
持 {	ジ	1			実けん		2	
	も～	8			実	に	1	
	もち	4			実	は	1	
持～(つ・って・った・					実行する		1	
ちながら)	8	9			実際		1	
気持・気持ち	2	2			忠実		1	
持ちもの	1	1			<真 実>			
うけ持(受持)	1				写 {	シャ	5	
持参	1					うつす	0	
維持		1			写生	2	5	
支持		1			写しんやさん	1		
室 {	シツ	12			写真	2	5	
	むろ	1			写～(す・して)		5	
教室	8	12			えい写まく		1	
りか室	1				大写し		2	
音楽室	1				(写しんき) <筆写体>			
室ない	1				者 {	もの	2	
と書室	1					シャ	0	
石室(むろ)	1					(～い・した) ～者		
室町		1					1	5
(室の中・宿直室) <船室>					悪者	1		
					医者		6	

3 年

者 弱 主 取 首 受	歯医者	1		民主主義	1
	学者	1		主人公	1
	わか者	1		名主	1
	ぎょ者	1		家主	1
	ひきょう者	1		<主張・広告主>	
	作者	1		取 { シュ 0 }	
	人気者	1		と〜 11 }	
	労働者	1		取〜 (る・りに・って・	
	あわて者	1		った) 6	6
	<読者>			さかな取り 4	
弱	{ ジャク 0 }			うけ取〜 (る・って)	
	{ よわ〜 8 }			1	2
	弱〜 (い, く) 5	11		取り出す	2
	弱って 1			取り入れ	1
	大弱り 1			取りあげ	1
	弱々しい 1			取材	1
	弱め 1			取材班	1
	貧弱 2			<日取り・取り引き>	
	弱音 1			首 { シュ 0 }	
	<強 弱>			くび 11 }	
主	{ ス 0 }			首 10	11
	{ シュ 2 }			首わ 1	
	{ ぬし 1 }			首都 2	
	<「おもな」というときは、			首府 2	
	かなで書く。>			部首 1	
	主 2			<首相・手首>	
	主人 1	6		受 { ジュ 1 }	
	主になって 1			う〜 5 }	
	持主 1			うけ 2 }	

受け～(る・て)	5	4	集	{ シュウ 0 }			受
受信機	1			{ あつ～ 17 }			拾
受持ち	2			集め～(る・ましよう・			終
受付け		1		なければ) 10			集
受持		1		集ま～(る・って・りま			住
新聞受け		1		した) 7	10		重
受け取～(る・り)		4		太郎集	1		
受話機		4		集め	1		
拾 { シュウ, ジュウ 0 }				集まり	2		
ひろ～ 12 }				編集	5		
拾～(う・って・った・				採集	1		
いました) 10	11			(集合) <集中・文集>			
拾われて 1			住	{ ジュウ 0 }			
拾いもの 1				{ す～ 9 }			
命拾い		1		住～(む・んで・めまい・			
拾式円		1		んでいた) 8	12		
終 { シュウ 1 }				住まい 1			
おわ～ 18 }				住居 2			
終～(る・りました・				(住 所)			
って・ると・った)							
16	12		重	{ ジュウ 1 }			
最終 1				{ おも～ 4 }			
終り 1				{ え 1 }			
書き終って 1				{ チョウ・かさねる 0 }			
終えて 1		1		体重 1	1		
終戦 2		2		重さ 2	1		
始終 1		1		重～(い・く) 2	4		
終業 1		1		二重(え) 1			
<終 日>				重そう～(に・で) 3	3		

3 年

重
助
勝
乗
場

重～（ねる・なり・なっ
て）

6

（～三）重（ジュウ）

2

起重機

2

尊重

1

重油

1

貴重

1

七重八重

1

自重

2

嚴重

1

<重要・重量・重み>

助 { ジョ 1 }
 { たす～ 3 }
 { すけ 0 }

助け合い 1

1

助け合いながら 1

助かった 1

1

補助板 1

助け～（る・て）

9

久助

1

助手

5

助走路

1

お助け

1

五助

1

（助 力）

勝 { ショウ 1 }
 { か～ 2 }

勝負

6

勝～（つ・った・って・
ちました） 2

8

決勝点

1

勝敗

1

決勝

2

健勝

1

<優勝・自分勝手>

乗 { ジョウ 0 }
 { の～ 1 }
 { のり 1 }

乗～（れば・った・って）

1

7

乗物

1

乗せ～（る・て）

4

乗客

2

乗り出し

1

乗用車

1

乗車

1

乗馬

1

<遠乗り>

場 { ジョウ 3 }
 { ば 11 }

ふろ場

3

ながし場

1

1

ごみすて場

1

ていしゃ場（じょう）

1

場めん

1

場所

2

1

おふろ場	2		申	{シン 0}			場
工場	1	3		{もう～ 1}			
会場	1	1		申しあげた	1	1	食
運動場	1	4		申訳ない		1	申
船つき場		1		お通し申せ		1	新
役場		1		申し～(たら・て)		4	神
スキー場		1		申しこみ		1	
満場		1		申し出る		3	
広場		3		申告する		1	
場あい		1		上申した		1	
ほく場		1		(申し立てる) <申し合わす>			
(火事場・遊び場・魚市場)							
<入場・置場>							
食 { ショク 6 }			新	{シン 7}			
た～ 4 }				{あた～ 8}			
ジキ・くう 0 }				{あら～ 1}			
食べ～(る・た) 4	10			新しい	8	9	
食用動物 1				新聞	4	5	
食用植物 1				新聞社	3		
給食 1				新たに	1		
食物 1	2			新橋		1	
食後 2	1			新学年		1	
食堂 1				新芽		2	
食われる 1				(学級新聞・新田・新学期・			
夕食 2				新道) <新緑・新記録>			
食い始め 1			神	{シン 1}			
食事 1				{かみ 1}			
食器 2				{シン 0}			
食う草 1				神		3	
(朝食、昼食) <食べ物>				神社	1		
				神だな	1		

3 年

神
深
進
親
図
世

神さま・神様	5
神話	1
精神	4
神経質	1
女神	1
神奈川	1
神宮	1
神聖	1
<神 童>	

深 {シン	0}	
ふか～	2}	
深～ (い・く)	2	12
深夜	1	
深こきゅう	1	

進 {シン	1}	
すす～	3}	
進～ (む・み・んで・ま		
ない)	3	11
進行がかり (進行係)		
	1	1

中島 進	1
進行	1
進級	3
進歩	2

親 {シン	2}	
おや	16}	
した～	1}	
親	1	2
親つばめ	8	1

親子	3	3
親ゆび・親指	4	2
両親	2	4
親しみ	1	
親切		5
親ぶた		1
親し～ (む・まれ)		7
親類		2
親鳥		2
(親分) <父親>		

図 {ズ	14}	
ト	1}	
はかる	0}	

図	6	1
図工	2	
こう図 (構図)	1	
図画	2	1
図工クラブ	1	
せっけい図	2	
図書かん・図書館		
	1	8

合図		2
地図		5
図書		1
案内図		1

<図 案>

世 {セ	6}	
セイ	1}	
よ	0}	

			3 年			世 星 晴 船 送 息
世界	4	6	晴	{ は～ 7 }		
世界一しゅう	2			{ はれ 9 }		
後世	1			{ セイ 0 }		
世界中（世界じゅう）		5	晴	9	12	
世論調査		1	晴れた（～日）	7		
世界地図		1	（秋晴れ）	<晴れ着>		
野口英世		1				
世紀		1	船	{ セン 1 }		
世の中		2		{ ふね 3 }		
				{ おね 1 }		
（世話・銀世界・世界文化）			<「舟」は教育漢字でない。>			
<世間・救世主・世わたり>			船	3	12	
星	{ セイ 4 }		ほかけ船	1		
	{ ほし 6 }		汽船	1	9	
	{ ぼし 1 }		船底		1	
	{ ショウ 0 }		船体		1	
星	6	11	<定期船・船長・船乗・船着場>			
星ざ・星座	1	1	送	{ ソウ 12 }		
北きょく星・北極星				{ おく～ 1 }		
	1	2	放送	10	5	
北と七星・北斗七星			学校放送	1		
	2		放送局	1		
ながれ星	1		送～（る・って・られ）			
明星		1		1	10	
十字星		1	見送る		1	
火星		1	輸送		1	
金星		1	電送		1	
土星		1	<送電線>			
（お星さま・一番星）			息	{ ソク 0 }		
				{ いき 8 }		

息太待台炭短

— 168 —

3 年

短～(い, く) 3	12	ご注意 1		
短気	1	注～(ぐ・いで・がれ)		短
短歌	3	1	2	茶
ㇿ	1	不注意	1	着
		<注視・注文>		注
茶 {チャ 7}				柱
茶	1	柱 {チュウ 1}		昼
お茶 2	3	はしら 9}		追
お茶屋(～さん) 2		ばしら 2}		
茶いろ 2	4	柱 9	6	
茶わん 1	2	電柱 1	2	
一茶さん	1	ほ柱 2	1	
お茶畑	1	柱時計	1	
赤茶色	1	門柱	2	
		電信柱	2	
		支柱	1	
		(積雪柱)		
着 {チャク 0}				
き～ 0}		昼 {チュウ 1}		
つく 0}		ひる 12}		
着～(る・ている・た)	7	昼 2	8	
着～(く・いて・けば)	4	昼間 7	2	
着物	3	昼ね 1		
着き	2	昼休み 2		
着陸	1	昼夜 1		
海水着	1	昼ごろ	1	
沈着	1	昼食	3	
着色	1	お昼	2	
(古着屋・仕事着)				
<着手・落ち着く>				
注 {チュウ 4}		追 {ツイ 0}		
そそ～ 1}		お～ 2}		
注意 3	10	追う 1	12	

3 年			
追 通 弟 庭 鉄 店	追いかけずに	1	
	追いはらう	1	
	追求	1	
	(鳥追い・追分)		
	通 { ツウ 0 }		
	とお〜 10 }		
	かよ〜 1 }		
	通〜 (る・りながら・ って) 10	4	
	通 (かよ) って 1		
	通り	4	
弟	大通り	1	
	前通り	1	
	通じ〜 (る・ない)	3	
	交通どめ	1	
	通信	1	
	通学	1	
	(右側通行) <交通>		
	弟 { テイ 0 }		
	ダイ 3 }		
	おとうと 5 }		
庭	<「でし」はかなで書く。>		
	弟	5	11
	兄弟	3	6
	弟妹		1
	庭 { テイ 1 }		
	にわ 8 }		
	庭	7	9
	家庭	1	
鉄	うら庭	1	
	校庭		1
	お庭		1
	中庭		1
	庭園		1
	庭球		3
	鉄 { テッ 1 }		
	テッ 4 }		
	鉄		4
	鉄筆	3	1
店	鉄道	1	
	鉄橋	1	1
	地下鉄		1
	鉄びん		1
	鉄ほう		2
	<鉄工場>		
	店 { テン 1 }		
	みせ 5 }		
	お店	3	
	店	1	9
	夜店	1	
	陶器店	1	
	茶店		1
	百貨店		1
	小売店		1
	洋品店		1
	商店		1
	店番		1
	食料品店		1

理はつ店	1
<売店・書店>	
電 {デン 20}	
電気 7	1
発電所 7	1
電線 1	1
電車 5	5
電とう・電燈 3	
電信 1	
(電池・電球・電柱・電報・電熱器)	
<電 話>	
都 {ト 7}	
みやこ・ツ 0	
都 6	
都会 7	6
京都(～市) 2	
都合 1	
<都市・首都>	
度 {ド 6}	
(一・三)～度 5	5
今度 1	3
温度 1	
温度表 1	
二度目 1	
(速度) <程度・態度>	
刀 {トウ・かたな 0}	
がたな 6	
刀 4	

小刀 6	4
当 {トウ・あたる 0}	
当番 4	
当て～(る・まい) 3	
当た～(る・って・った 2	
り)	
見当る 1	
手当 1	
当用漢字 1	
(お～) 弁当 2	
見当 1	
適当な 1	
<当時・当人>	
投 {トウ 0}	
な～ 8	
投げ～(る・られる・ 8	
て・た) 7	
投げすてる 1	1
投げ入れ 1	
投げだし 1	
投げこむ 1	
投書 3	
投票 3	
(投 手)	
島 {トウ 1}	
しま 0	
島 8	
五島 1	
中島 1	

島
答
頭
同
動
肉
配

3 年

島かげ	1	
半島	1	
島々	1	
島崎	1	
群島	1	
無人島	1	
<ウエーク島・鹿児島>		
答 { トウ 0 }		
こたえ 3 }		
こた〜 10 }		
答 3	12	
答え〜 (る・た・ました)		
10		
頭 { ドウ・ズ 0 }		
あたま 11 }		
頭 11	12	
(二十)〜頭	5	
先頭	5	
頭上	3	
店頭	1	
教頭	1	
<頭 領>		
同 { ドウ 3 }		
おな〜 5 }		
同じ 5	11	
同様 1		
きょう同組合 2		
一同 2		
きょう同 1		

同時	3	
共同募金	1	
同級生	1	
(同 等)		
動 { ドウ 14 }		
うご〜 12 }		
動〜 (く・いて・かない・		
ぎました) 5	6	
動か〜 (す・せない)		
5	3	
自動車 7	3	
自動き 2		
動物 6	4	
運動場 1	1	
運動ぎ 1	1	
動き 1	1	
動物園 1	1	
運動会 1		
肉 { ニク 0 }		
肉 10		
牛肉 1		
(中肉の人) <肉眼>		
配 { ハイ 0 }		
パイ 7 }		
くば〜 1 }		
心配 7	10	
配〜 (る・り・って・られ)		
1	5	

(配給)		<配達>																																																																																																																																																																							
買	{	パイ	0	畑	{																																																																																																																																																																				
		か〜	14			買	えば・って・							ました)	14	12					売買		2			<買物>						売	{	パイ	0	坂	{	う〜	2	売〜(る・りはらう・りま						せん・る時・っている・								ります)	2	7					売出し		1					大売出し		2					物売り		1					売子		1					商売		5					リンゴ売り		1			<売店・発売>						発	{	ハッ	8	板	{	ホッ	0	発電	1					発電所	7	3				発見		2				出発		4				発車		1				発表		2				<発達・発明>						番	{	バン	3	番	{	番	1					
	買	えば・って・																																																																																																																																																																							
		ました)	14	12																																																																																																																																																																					
		売買		2																																																																																																																																																																					
<買物>																																																																																																																																																																									
売	{	パイ	0	坂	{																																																																																																																																																																				
		う〜	2			売〜(る・りはらう・りま						せん・る時・っている・								ります)	2	7					売出し		1					大売出し		2					物売り		1					売子		1					商売		5					リンゴ売り		1			<売店・発売>						発	{	ハッ	8	板	{	ホッ	0	発電	1					発電所	7	3				発見		2				出発		4				発車		1				発表		2				<発達・発明>						番	{	バン	3	番	{	番	1																																							
	売〜(る・りはらう・りま																																																																																																																																																																								
せん・る時・っている・																																																																																																																																																																									
		ります)	2	7																																																																																																																																																																					
		売出し		1																																																																																																																																																																					
		大売出し		2																																																																																																																																																																					
		物売り		1																																																																																																																																																																					
		売子		1																																																																																																																																																																					
		商売		5																																																																																																																																																																					
		リンゴ売り		1																																																																																																																																																																					
<売店・発売>																																																																																																																																																																									
発	{	ハッ	8	板	{																																																																																																																																																																				
		ホッ	0			発電	1					発電所	7	3				発見		2				出発		4				発車		1				発表		2				<発達・発明>						番	{	バン	3	番	{	番	1																																																																																																																		
	発電	1																																																																																																																																																																							
発電所	7	3																																																																																																																																																																							
発見		2																																																																																																																																																																							
出発		4																																																																																																																																																																							
発車		1																																																																																																																																																																							
発表		2																																																																																																																																																																							
<発達・発明>																																																																																																																																																																									
番	{	バン	3	番	{																																																																																																																																																																				
		番	1																																																																																																																																																																						

3 年				
番 皮 美 表 病 品 負	番組	1		
	とう番・当番	1	2	
	門番		1	
	番号		2	
	一番先		1	
	一番め		1	
	一番		1	
	番地		1	
	皮 { ヒ 0 }			
	かわ 2 }			
皮	がわ 1 }			
	皮 2	10		
	毛皮 1	2		
	種皮	1		
	美 { ビ 0 }			
	うつく〜 8 }			
	美し〜(い・く) 8	12		
	美術館	4		
	美術品	1		
	<美しさ>			
表	表 { ヒョウ 4 }			
	おもて・あらわす 0 }			
	表 (ヒョウ) 4	1		
	表 (おもて)	8		
	表紙	3		
	表わす	5		
	発表	4		
	発表会	1		
	時こく表		1	
	表面		1	
病	(表しょうする・時間表・漢 字表・行事表)			
	<表現・代表・表玄関>			
	病 { ビョウ 11 }			
	やむ・やまい 0 }			
	病気 9	10		
	伝染病 1			
	病いん・病院 1	1		
	病	1		
	病む	1		
	ねつ病 1			
品	(看病) <急病・病室>			
	品 { ヒン 8 }			
	しな 3 }			
	品 (しな) 1			
	品物 2	3		
	学用品 7	1		
	日用品 1	2		
	作品	4		
	薬品	2		
	手品	1		
負	洋品店	1		
	貯蔵品	1		
	<部分品>			
	負 { フ・おう 0 }			
	ブ 2 }			
	ま〜 1 }			

3 年

物	負け～（る・た）	1	9	聞	ブン	10	負 物 聞 平
					き～	16	
	勝負	2	5		きこ～	2	
	せ負った		1		聞～（かせる・かれ・いた・		
	負け		3		いて・きまして・こう・		
					くと）	16	8
	（ブン	5			聞え～（る・て・ない）		
	モツ	2				2	2
	もの	1			新聞	4	8
	物	1	4		にこにこ新聞	2	
	荷物	1	5		新聞社	4	
	動物	2	6		（学級新聞）		
	植物	1		平	へイ	9	
	人物	1			ビョウ・たいら・		
	見物	1	1		ひらたい	0	
	食物	1			平野	3	2
	たべ物		1		平地	1	
	貨物		2		平気	5	5
	名物		1		平たい		4
	漬物		1		三平		1
	見物人		2		平和		1
	買い物		2		大平野		1
	物売り		1		平屋		1
	動物園・動物えん		2		平ら～（に・な）		5
	貨物車		1		平等化		1
	宝物（たからもの）		2		平等		2
	品物		1		不平		1
	（はき物・掲示物・編物）				水平せん		1
	<書物・物語>				平泳ぎ		2
					地平線		1

3 年

別 返 勉 妹 明 鳴	別	{ベツ わかるる	{3 0}	
		別～(に・の・な)		
			2	6
		区別	1	
		別れ～(る・て・たい)	4	
		特別	3	
		お別れ	1	
		(班別・別々に)	<月別>	
	返	{へン かえ～ がえ～	{10 2 1}	
		返事	10	6
勉		ふり返った	2	
		馬返し	1	
		お返し	4	
		返～(す・して・せ)	4	
		恩返し	1	
	勉	{ペン	15}	
		勉強	14	12
		勉強つくえ	1	
	妹	{マイ いもうと	{0 21}	
		妹	20	12
妹		妹たち	1	
		兄弟姉妹		1

明		{メイ・ミヨウ・		
		あける	0	
		あかる～	5	
		あきらか	1	
		明かる～(い・く)		
			5	9
		明らかに	1	
		説明		4
		明けた		1
		明け方		1
鳴		発明		2
		明後日		1
		明君		1
		明星		1
		夜明け		1
		明日		1
		発明王		1
		発明物語		1
		ふとう明		1
		(文明人・明けまして・公明 せんきょ)		
鳴		{メイ な～	{0 1}	
		鳴き声	1	
		鳴～(く・いて・き)		1
		鳴子		1
		悲鳴		1
		鳴らす		1

3 年

面 { メン 11 }
 { おも 1 }
 { おもて 0 }

<「おもしろい」は、かなで書く。>

面 2
 地面 8 7
 お面 1
 正面 1
 ま正面 1
 川の面 (おも) 1
 場面 1
 正面 1
 水面 1
 一面 1
 (帳面) <表面・面積>

毛 { モウ 0 }
 { け 11 }
 毛 4 8
 毛糸 6 1
 毛虫 1
 毛がわ 2
 まき毛 1
 赤毛 1
 毛布 4
 羊毛 1
 不毛 1

野 { ヤ 21 }
 { の 9 }

野 1
 平野 2 1
 野球 18 5
 野原・野はら 8 3
 野山 1 1
 野さい・野菜 1 2
 大野さん 1
 水野山 1
 野ぎく 1
 野っばら 1
 内野 1
 野外 1
 野ばん人 1
 <野鳥・上野>

役 { ヤク 11 }
 { エキ 0 }
 役 2 2
 役にたつ 7 3
 役所 1
 区役所 1
 役場 4
 役人 2
 みはり役 1
 <役立つ>

由 { ユウ 4 }
 { ユ 1 }
 { よし 0 }

<「よる」とは読まない。>
 自由 3 9

由 遊 葉 様 曜 落	3 年				
	理由	1		言葉	1
	布由	1		葉脈	1
	不自由		2	子葉	1
	自由形		1	<二 葉>	
	知る由もなく (自由題)		1	様 { ヨウ 1 } { さま 3 }	
	遊 { ヨウ 1 } { あそ〜 11 }			王様 1 2	
	遊〜(ぶ・んで・んだり・ んだ・びました・ほう よ)	7	2	(人名)〜様 2 3	
	遊び方 1			同様 1	
	遊び 1		9	お子様 1	
葉	おに遊び 1			おひな様 1	
	遊び時間 1			神様 2	
	児童遊園 1			みな様	
	川遊び 1			様子	
	遊学 1			様々 1	
	遊撃手 1			<各様・殿様>	
	三遊間 1			曜 { ヨウ 10 }	
	ヨウ 0			曜 11	
	は 2			日曜日 3	
	ば 4			火曜日 1	
葉	葉 1		9	水曜日 1	
	木の葉 1			木曜日 3	
	青葉 2		1	曜日を書く 2	
	落葉 1		1	(水曜日) <火曜>	
	おし葉 1			落 { お〜 17 } { おち 1 } { おと〜 1 } { ラク 1 }	
	おち葉 1		1		

			3	年	
落	落ち～(る・て・ました)			2	落 楽 里 陸 流
	15	7	(一・半) ～里 1	1	
	落葉	1	千里号	1	
	落ちつけて	1	九里はま	1	
	落～(す・して・されて)		郷里	1	
	2	6	中里川	1	
	落成	1	入里	1	
	部落	1	陸 {リク 0}		
	落第	1	陸	4	
	<落ち着く>		陸地	3	
楽	{ガク 1}		上陸	2	流
	{ラク・たのしい 0}		大陸	1	
	音楽	1	<着 陸>		
	楽し～(い・く)	11	{ル 0}		
	楽隊	3	{リュウ 1}		
	楽園	1	{なが～ 16}		
	楽しみ	1	流	1	
	楽々と	6	流れ	9	
	気楽	2	流れ～(る・て・ながら)		
	楽になる	1	9	1	
里	(音楽室) <楽器>		流れはじめる	1	電 上 流 線 流 域 暖
	{リ 2}		流れこむ	1	
	{さと 3}		流～(して・される)		
	{ざと 8}		1	1	
	里	4	電流	1	
	村里	3	上流	2	
	中里さん	7	流線型	1	
	山里	3	流れ本	1	
	何里	1	流域	1	
		1	暖流	1	

3 年・4 年			
流 旅 礼 列 路 愛 案 以	西洋流	1	
	流行歌	1	
	(支流) <急流・交流>		
	旅 {リヨ 2}		
	たび 1}		
	旅	1	8
	旅行	1	6
	旅客	1	
	旅行記		1
	旅人		3
	旅館		1
	<旅 費>		
	礼 {レイ 5}		
	お礼	3	11
	ちょう礼・朝礼	2	
	(礼をいいました)		
	<無礼・失礼>		
	列 {レッ 2}		
	列車	1	1
	夜行列車	1	
	かもつ列車		-1
	行列		2
	(一・二) ~列		2
	(整列・前列・後列)		
	路 {ロ 1}		
	じ 0}		
	道路	1	3
	線路		7
	通路		1
	山路		2
	家路		1
	放水路		1
	<路上・都大路>		
	[4 年]		
	愛 {アイ 8}		
	愛	1	1
	愛護	1	
	愛知	1	
	愛情	3	
	愛す	1	2
	愛する	1	3
	愛し		3
	人類愛		1
	<無愛想・愛国心>		
	案 {アン 10}		
	案内	7	7
	考案	3	
	案外		1
	提案		1
	名案		1
	案内状		1
	<案・図案・思案>		
	以 {イ 6}		
	以上	3	12

			4 年			
以北	1		歯医者	2	以 田 位 医 委 移 育	
以前	1		医学研究	1		
以内	1		(医科大学) <船医・医学者>			
<以外・以来>			委 {イ	5}		
田 {イ	0}		委員	2		8
	かこ～	6}	委員長	1		1
	田～(む・まれ・みなが		学級委員	2		
	ら)	5	委員会			2
とり田まれ	1		委員室			1
周囲		8	(図書委員)			
(田をしました)						
位 {イ	3}		移 {イ	2}		
	くらい	5}	うつ～	2}		
	<「これくらい」は「これ位」		移～(る・って・り)			
	とは書かない。>			2	10	
位(くらい)	1		移植	1	3	
位置	2	10	移動	1		
(一千・万)～の位			推移		1	
	3		移民		2	
位取り	1		(もえ移った) <移す・移り気>			
単位	1	1	育 {イク	1}		
地位		1	そだ～	6}		
<順 位>			育て～(る・て・られ)			
医 {イ	5}			4}		
	お医者さん	2	育～(つ・ちまし			
	医院	1	た・った)	2}	11	
	医学	1	教育	1	3	
	校医	1	野育ち		1	
	医者		飼育所		1	
	9		体育		1	

4 年

(教育漢字表)

印
員
院
飲
泳
英

印	{	イン	10	
		じるし	1	
		しるし	0	
印				2
印刷			6	9
ゴム印			1	
矢印			1	
印刷術			3	
目印				1
<印 象>				
員	{	イン	8	
		委員	1	2
		委員長	1	
		学級委員	2	
		船員	2	3
		民生委員	1	
		役員	1	
		委員会		1
		店員		1
		局員		1
		職員室	1	
		全員		2
		隊員		1
(係員) <満員・議員>				
院	{	イン	9	
		養老院	3	1
		病院	5	7

ちおん院	1	
美容院		1
美術院		1
寺院		2
<人事院>		
飲	{ イン 0 }	
	{ の～ 5 }	
飲～(む・みました・んで)		
	4	9
飲み水	1	
牛飲		1
飲料水		1
(飲食物)		
泳	{ エイ 3 }	
	{ およ～ 3 }	
泳～(ぐ・いで・いたり・		
げる)	1	11
水泳	3	1
平泳ぎ	1	1
水泳ぎ	1	
水泳場		1
<水泳大会>		
英	{ エイ 5 }	
英語	3	8
英国	1	1
英仏連合軍	1	
英雄		1
英次		1
野口英世		1

				4 年	英 園 温 化 加 科 貨
園	大英博物館	1	5	文化映画	3
	エン	5		変化	4
	その	0		文化館	1
	公園	1		(文化祭・世界文化) <化石>	
	植物園	1		加 { カ 0 }	
	農園	2		くわ〜 6 }	
	菜園	1		加える 4	8
	花園		3	加わ〜 (る・らねば)	
	動物園		3	2	
	花じゅ園		1	加減	3
	学校園		1	つけ加える	3
	学園		1	参加	1
	菜園		1	加工	1
	<園長・学級園>			(つい加する)	
	温 { オン 8 }			科 { カ 5 }	
	<「あたたかい」とは読まない。>			理科 1	2
化	気温 2	1		科学 2	3
	地温 1			社会科 1	2
	温度計 1			教科書 1	3
	温度表 1			理科教室	1
	温泉 3	3		(科 目)	
	体温 2			貨 { カ 9 }	
	けん温 1	1		貨物 6	4
	温度 5			貨車 1	2
	カ 6 }			百貨店 1	1
	ケ・ばける 0 }			貨物置場 1	
	文化 4	3		銀貨	3
	文化の日 1			貨物車	1
	化学 1				

4 年						
改	{	カイ	5}			
		あらため～	1}			
	改良	4	9			
	改めて	1				
	改心	1				
	改める		4			
	改造		1			
	改選		1			
	<改善・改革>					
	械	{	カイ	5}		
			機械	5	12	
	階	{	カイ	9}		
			(二・三)～階	8	9	
階段			1	2		
階級				1		
貝	{	カイ	3}			
		ガイ	3}			
	貝		5			
	赤貝	2	1			
	貝がら	2	2			
	さくら貝	1				
	貝ひろい	1				
	平たい貝		1			
	貝原さん		1			
	(貝づか)					
害	{	ガイ	8}			
		害虫	7	6		
害	害			2		
	ひ害		1			
	損害			1		
	水害			2		
	覚	{	カク	0}		
			おぼえ～	9}		
	覚え～(る・て)					
			8		9	
	覚え		1			
	感覚				1	
先覚者				1		
見覚え				1		
活	{	カツ	8}			
		<「いきる」「いかす」とは読まない。>				
生活		7		10		
生活日記		1				
活動				2		
(生活ふじょ) <活字>						
関	{	カン	1}			
		せき	3}			
	関所		2			
	なこそその関		1			
	関東		1		1	
	機関				2	
	機関車				2	
	機関士				1	
	機関銃				1	
	関の水音				1	

			4	年		
関係	1	1	季節	7	11	関 館 観 願 季 期 旗 器
関西	2	2	四季	2		
関する	2	2	冬季	2		
関が原	1	1	季候	2		
<税 関>			春季	1		
			季刊	1		
館 {カン	9}		時季		1	
図書館	7	6	期 {キ	5}		
公民館	1		ゴ	0}		
映画館	1	1	学期	1		
館内		1	(一・二・三) ~学期	4	7	関 館 観 願 季 期 旗 器
美術館		1				
博物館		1	時期		3	
産物館		1	最期		2	
(労働会館)	<旅館>		期待		2	
観 {カン	11}		<定期船>			
観察	10	9	旗 {キ	2}		
観光	1		はた	2}		
観測		1	旗	1	9	
観光館		1	旗取り競争	1	1	
(観察日記)	<観衆>		国旗	1	1	関 館 観 願 季 期 旗 器
願 {ガン	1}		校旗	1		
ねが~	2}		大漁旗		1	
願う	1		日章旗		1	
願い	1	2	<白 旗>			
願書	1		器 {キ	7}		
お願い		10	うつわ	0}		
<本願寺>			器		3	
季 {キ	15}		楽器	4	3	

4	年					
器 機 拳 共 鏡 競 業	器具	2				
	計器	1				
	食器		4			
	拡声器		1			
	運ぱん器		1			
	とう器		1			
	ぶんり器		1			
	(電熱器)	<器用>				
	機	{キ	2}			
		{はた	0}			
	機械	2	5			
	飛行機		4			
	機関車		1			
	機関士		1			
	だっこく機		1			
	<機 会>					
拳	{キョ	7}				
	<「あげる」は「挙げる」とは書かない。>					
	選挙	4	9			
	円山応挙	3				
	挙行		1			
共	{キョウ	9}				
	{とも	0}				
	共同募金	2	4			
	共同	4	1			
	共有	3	2			
	共に		3			
	共同工作		1			
	共同作業			1		
	共同井戸			1		
鏡	{キョウ	8}				
	{かがみ	0}				
	鏡			4		
	鏡台	2				
	望遠鏡	3		8		
	けんび鏡	1		1		
	三面鏡	1				
	双眼鏡	1				
	大鏡			1		
	そうがん鏡			1		
	<拡大鏡>					
競	{キョウ	6}				
	{ケイ	1}				
	{きそう	0}				
	競争	6		6		
	競馬場	1				
	競技会			3		
	競技			1		
	競走			3		
	競う			3		
業	{ギョウ	9}				
	{ゴウ	0}				
	始業	5		1		
	商業	1				
	授業	1		3		
	卒業	1		3		
	事業所	1				

4 年

事業	1		雨具	1		
農業	2		夜具	1		業
職業	1		<家 具>			曲
作業	1					局
(農はん期休業)			君 { クン 5 }			具
			君 { きみ 2 }			群
曲 { キョク 6 }			君 2	1		君
曲 { まが〜 6 }			〇〇君 5	9		群
曲 1	3		貴君	1		係
曲線 1						
曲が〜 (る・りくねった)			群 { グン 4 }			
	6	6	群 { むれ〜 6 }			
			群 { むらが〜 1 }			
行進曲 1	1		大群 3	2		
作曲 1			めだかの群れ 2	9		
ピアノの曲 1			群れ飛ぶ 1			
二曲 1			群衆 1			
戯曲		1	群れ〜 (る・て)			
				3		
局 { キョク 6 }			群がって 1			
放送局 4	5		群島		2	
局の人 2			一群		3	
編集局	1		魚群		1	
ゆうびん局	5					
東山局	1		係 { ケイ 1 }			
(局の方へ・薬局) <当局>			係 { かかり 5 }			
			係 { がかり 3 }			
具 { グ 6 }			係 { かかる 0 }			
道具 2	9		係 2	1		
絵の具 1			係の人 1	4		
器具 3			学習係 1			
文ぼう具	1		給食係 2			

4 年			
係 計 景 軽 血 結 建	係員	1	
	係集会	1	
	関係	1	5
	記録係		1
	世話係		1
	図書係		1
	説明係		1
	ニュース係		1
	計 { ケイ 6 }		
	はか~ 1 }		
計	計算	2	
	時計	1	6
	計画	3	3
	見計らって	1	
	合計		1
	かんたん計		1
	計る		3
	(計算競技会)		
	景 { ケイ 5 }		
	ケ 2 }		
景	風景	5	7
	景色	2	1
	光景		2
	情景		1
	絶景		1
	(はい景)		
	軽 { ケイ 0 }		
	かる~ 7 }		
	軽~ (い・く)	7	10
血	軽快		3
	身軽~ (に・な)		1
	軽機関銃		1
	(足 軽)		
	血 { ケツ 1 }		
	ち 0 }		
	血族	1	
	赤い血		1
	血すじ		1
	血清		3
結	出血		1
	血		8
	(はな血)		
	結 { ケツ 1 }		
	むす~ 5 }		
	ゆう 0 }		
	結~ (ぶ・びました・		
	びつける)	5	6
	連結器	1	
	結果		7
建	結こん		1
	結しょう		1
	結局		1
	<結 論>		
	建 { ケン 2 }		
	たて~ 3 }		
	たて 2 }		
	だて 2 }		
	建てる	3	4

(二・三) ~階建			<言い分>			建 県 言 現 固 湖
	2	1	現	{ ゲン	4 }	
建物	2	6		{ あらわ〜	5 }	
建ちく物	1			現われる	5	
建材	1			現代	1	
建築		5		現在	3	
建設		3		実現		
<建設者>				現場		
県	{ ケン	3 }		表現		
	県ちょう	2		<現わす>		
	〇〇県	1		固	{ コ	
	県がちがう		{ かため〜		3 }	
	県道		固め〜 (る・て)		3	
言	{ ゲン	5 }	固有		1	
	{ ゴン	1 }	固まる			
	{ い〜	6 }	固〜 (い・く)			
	{ こと	0 }	固め			
	。言〜(う・いました・った・ って・いながら・えな い)	6	固体			
言論大会	1	5	強固			
一言	1	2	湖	{ コ	3 }	
言語	1			{ みずうみ	3 }	
方言	3	1		湖 (みずうみ)	3	
小言		1		びわ湖	2	
発言		1		湖水	1	
予言者		1		たさわ湖		
言葉		3		十和田湖		
無言		2	榛名湖			

4 年					
公 交 幸 航 候 港 告 才	公	{ コウ	11		
		{ おおやけ	0		
		小公子	4	3	
		主人公	3		
		公園	3	4	
		公民館	1		
		公会堂		2	
		公転		1	
		公平		1	
		(公明せんきょ) <大公使館>			
交	交	{ コウ	6		
		{ まじる・まじわ	0		
		る	0		
		交通	6	4	
		交際		1	
		交番		1	
		交代		2	
		交通規則・交通きそく		2	
		交通せいり		1	
		交通ふべん		1	
	(交通安全) <交易>				
幸	幸	{ コウ	6		
		{ さいわい	0		
		幸福	5	8	
		不幸	1	2	
		幸にして		2	
		幸助		1	
航	{ コウ	3			
		航海	3	7	
候	航海燈			1	
	航海者			1	
	航空			1	
	航路			1	
	候	{ コウ	5		
		氣候	5		7
		時候			1
		候補者			2
		天候			1
	港	港	{ コウ	2	
{ みなと			7		
		港	3		8
		港町	4		3
		横浜港	2		
		母港			1
		東京港			1
		入港			1
告	告	{ コク	6		
		{ つげる	0		
		報告	4		7
		広告	1		3
		布告	1		
		告げる			5
	忠告			1	
	<宣 告>				
才	{ サイ	7			
		~ (二十五) ~才			
			7	8	

				4	年		
祭	才次さん		1	材 {サイ	4}		才
	天才		2	製材所	1	2	祭
	才能		1	材木	1	3	菜
	サイ	4}		材料	2	6	最
	まつ～	2}		木材		1	材
	植じゅ祭	4	1	<人 材>			刷
	祭り	1		刷 {サツ	8}		祭
	村祭り	1		～ずり	1}		算
	お祭り		6	する	0}		残
	芸術祭		1	印刷	5	9	
	赤道祭		1	校正刷り	1		
	祝祭日		1	印刷術	3		
	祭典		1	印刷工場		1	
	工場祭		1	刷～(られ・りこむ・			
	国祭日		1	り上げる)		5	
菜	サイ	3}		祭 {サツ	9}		
	な	5}		サツ	1}		
	菜の花畑	3		観察	8	10	
	菜園	1	1	警察	1		
	菜の花	2	3	察する	1		
	野菜	2	7	<診察所>			
	菜(な)		2	算 {サン	5}		
最	サイ	2}		計算	2	7	
	もっとも	0}		算数	3	3	
	最初	2	6	予算		1	
	最後		5	(珠 算)			
	最中		1	残 {ザン	1}		
	最も		1	のこ～	12}		
	(最 近)						

4 年

残
士
止
仕
姉
齒
詩

残～(る・り・った・って)

6 8

残～(す・して・され)

5 4

居残る

1

残暑

1

残念

5

残雪

1

残金

1

<残 像>

士 {シ 3}

<「さむらい」とは読まない。>

武士

2

1

博士

1

2

兵士

3

機関士

2

富士山

2

戦士

1

勇士

1

<道士・博士>

止 {シ 3
とま～ 5
～どめ 1}

<「やめる」「やむ」は、かなで書く。>

止ま～(る・った・って)

5

7

停止

3

通行止

1

立ち止ま～(る・り)

2

中止

3

禁止

2

止まり木

1

急停止

1

仕 {シ 4
つかえる 0}

仕事

4

9

仕上げ

1

ほう仕

1

給仕

1

仕える

1

<仕 組>

姉 {シ 0
あね 6}

<「ねえさん」は、かなで書く。>

姉

6

9

兄弟姉妹

2

齒 {シ 0
は 2
ば 2}

齒

2

12

虫齒

2

護齒

1

にゅう齒

1

<齒 車>

詩 {シ 7}

詩

7

9

			4 年			
詩物語		1	しゅうりょう式		1	詩 試 次 式 失 社 借
<巻頭詩>			そう式		1	
試	{ シ	4 }	リレー式		1	
	{ ころみる	0 }	外国式		1	
	試験	3	旧式		1	
	試写	1	結婚式・けっこん式		2	
	試合		フェルト式		1	
	試みに		開会式		1	
	試みて		(式日) <形式>			
	試運転		失 { シツ・うしな〜 0 }			
試験官		失〜 (う・って・った)		8		
次	{ シ	2 }	見失う		1	
	{ つぎ	6 }	失礼		3	
	{ ジ・つぐ	0 }	失敗		4	
	次 (つぎ)	6	損失		1	
	次第	1	失望		1	
	次第に	1	社 { シャ	6 }		
	金次郎		{ やしろ	0 }		
	相川文次		社会	2	1	
	次次に		会社	1	5	
	万次郎		赤十字社	3	1	
	第一次		社会科		2	
次官		新聞社		2		
(目 次)		<社 説>				
式	{ シキ	4 }	{ シャク	0 }	借	
	式	2	{ シャツ	1 }		
	入学式	1	{ かり	2 }		
	アプト式	1	借り〜 (る・て・た)			
	卒業式			2		11

4	年					
借 守 種 州 習 週 順	借金	1	2	ペンシルバニヤ州	2	
	守 {	シュ・ス	0	メーン州	1	
		まも～	5	九州	7	
		もり	1	本州	2	
	守～(る・れ・って・った)			習 {	シュウ	12
		4	10		なら～	1
	子守	1		自習	1	
	見守って	1		習字	4	
	留守番		1	練習	5	5
	守備			習う	1	5
	守りあう		1	習慣	2	2
	お守り		1	学習		3
	種 {	シュ	4	週 {	習性	1
		たね	6		シュウ	13
		種	5	4	週間	8
種類		4	6	来週	1	1
種まき		1		週番の人	1	
種目			2	週訓	1	
火種			2	毎週	1	
一種			1	週刊	1	
種々			1	読書週間		1
<種 族>			順 {	ジュン	6	
州 {	シュウ	4		順	1	5
	ス	0		順序	4	2
<「洲」は当用漢字表にない。>				順番	1	
おう州かい道	1			筆順		1
アジア州	1			順ちゃん		1
ヨーロッパ州	1			順ぐり		1
奥州	1					

順々に	2	消防	1	
<順位>		消防隊	1	順
初 {はじめ・はつ 0}		火消つば	1	初
シヨ 1		消防自動車	1	暑
はじめて 1		火消し	1	昭
<動詞のときは「始」を用いる。>		消防小屋	1	消
初めて 1		消毒	1	唱
最初 1	7	消息	3	
初め 8		消火ポンプ	1	商
初夏 3		<消しゴム>		章
初祭 1		唱 {シヨウ 7}		
初出場 1		となえる 0}		
(初雪・初場所)		独唱 3	4	
<初日(しょにち)>		合唱 2	4	
暑 {シヨ 0}		唱歌 2	1	
あつ〜 3}		提唱	1	
暑い 3	9	唱える	3	
暑さ 3		商 {シヨウ 3}		
残暑 1		あきなう 0}		
(暑中見舞)		商人 1	2	
昭 {シヨウ 2}		商業 1	1	
昭和 2	10	商家 1		
消 {シヨウ 1}		商船	3	
きえ〜 3}		商店 2	2	
け〜 4}		商売 3	3	
消え〜(る・て・た)		商い 1	1	
3	10	<通商>		
消す 4	2	章 {シヨウ 8}		

4 年			
章 照 焼 植 身 信	文章	4	10
	記章	2	
	帽章	1	
	くん章	1	
	照 { ショウ て～	0 3	
	照～(る・り)	3	2
	照らす		7
	照夫		1
	照明		2
	日照り		1
	対照		1
焼	焼 { ショウ や～	0 4	
	焼～(かない・け・く・いた)	2	6
	焼けつく	1	1
	野焼き	1	
	夕焼け		1
	焼けあと		1
	焼きいも		1
	炭焼き		1
	(焼 失)		
	植 { ショク うえ～ うえ	8 3 1	
植	植える	3	6
	植林	5	2
	植じゆ祭	1	
身	移植	1	1
	田植	1	1
	植物園	1	
	植物		7
	植物界		1
	植民地		1
	植付		1
	<植 字>		
	身 { シン み	1 3	
	身		2
信	身のたけ	2	
	身ぶり	1	1
	身体	1	2
	身がまえ		3
	全身		2
	身動き		2
	身長		1
	身体検査		1
	(身軽な) <出身地・身分>		
	信 { シン	7	
信	信用	1	1
	信念	1	
	信～(じて・ずる)		
		1	4
	電信	1	2
	信号燈	3	
	電信柱		1
信号	信号		1

			4	年	信 真 数 成 清
真	竹田信二	2	数学	1	
	信号所	1	数日	1	
	信一	1	字数	1	
	<通信・確信・信号機>		数人	1	
真	{シン 6}		(分 数)		信 真 数 成 清
	{ま 1}		<多数・品数 (しなかず)>		
	写真	4	成 {セイ 3}		
	真けんな顔	2	{ジョウ・なる 0}		
真	真一文字	1	成せき	2	信 真 数 成 清
	真上	2	成こう (成功)	1	
	真中	1	賛成	2	
	真人間	1	成る	1	
真	真下	1	成しとげる	1	信 真 数 成 清
	真白	1	成人した	1	
	真昼	1	成長	3	
	真夏	1	完成した	1	
真	真心	3	清 {セイ 1}		信 真 数 成 清
	<真実・真綿>		{きよ〜 3}		
	{スウ 7}		<「清水」は、「しみず」とは		
	{ズウ 1}		読まない。>		
数	{かず 1}		清けつ (清潔)	1	信 真 数 成 清
	{かぞえる 0}		清い	2	
	数 (かず)	1	清らか〜(な)	1	
	ページ数	2	清治	1	
数	数字	1	血清	2	信 真 数 成 清
	算数	4	清川	2	
	人数	1	清 (人名)	1	
	数十人	1	清書	2	
数	数え〜 (ゑ・て)	4	清作	1	信 真 数 成 清

4 年

清し

勢 { セイ 3 }
 { ゼイ 6 }
 { いきおい 1 }

大勢 3

勢力 1

軍勢 3

地勢 1

し勢 1

勢い 1

勢ぞろい

<形 勢>

静 { セイ・ジョウ 0 }
 { しず 7 }

静岡 2

静岡県 2

静か〜 (な・だ・に)

3

静止

静まり

平静

静め

整 { セイ 4 }
 { ととの〜 1 }

整理 4

整〜 (える・った・わな

い・う) 1

調整

整備

2

(整 列)

席 { セキ 7 }

見物席 4 3

席 6

出席 2 2

欠席 1

出席者 1

積 { セキ 0 }
 { つ〜 7 }
 { つもる 0 }

積〜 (んで・んだ・む)

6 5

積み重ねた 1

積〜 (る・つて・った) 5

積み 1

面積 2

肉積船 1

(積極的・積雪性) <積木>

折 { セツ 0 }
 { お〜 2 }

折〜 (る・って・った)

1 7

折れる 1 4

説 { セツ 11 }
 { ゼイ・とく 0 }

説明 9 9

説明文 1

伝説 1 1

小説	1	水平線	1	説 節 銭 線 戦 選 全
説～(く・いた)	2	<直 線>		
(ろん説) <解説>		戦 { セン 5 } たたか～ 4 }		
節 { セツ 10 } セッ 2 } ふし 0 }		戦 (たたかい)	3	
節分 3		争だつ戦 1		
季節 6	9	戦～(う・って) 4	3	
節約 1		戦争 3	4	
節句 2		決戦 1		
調節 2		リーグ戦	1	
でたらめの節 1		五回戦	1	
いくつかの節 1		大戦	1	銭 選 全
銭 { セン 6 } ぜに 0 }		戦場	1	
銭 (ぜに) 2		戦さい	1	
一銭 3	4	戦い	1	
五十銭 1	1	<宣 戦>		
金銭 1	1	選 { セン 3 } えら～ 5 }		
銭湯 1		選手 1	3	
こづかい銭 1		選挙 2	3	
線 { セン 5 } 線 1	1	選～(ぶ・んで) 5	8	
白線 2		改選	1	
線路 1	2	<文選場>		全
電線 1	5	全 { ゼン 8 } まったく 0 }		
流線型 1		全体 4	3	
光線 1		安全 2	3	
海岸線 1		全部 1	4	

全 争 相 速 族 続 卒 孫 他	4 年				
	完全	1		族 {ソク	6}
	全国		1	家族	6
	全然		1	水族館	8
	全く		1	貴族	1
	<全 校>			モロ族	2
	争 {ソウ	8}		(民族) <種族>	1
	あらそ〜	3}			
	競争	5	8	続 {ソク	0}
	争だつ戦	1		つづ〜	6}
	争〜 (う・って・った)			続ける	1
		3	5	長続き	2
	戦争	2	2	続〜 (く・いて)	3
	言い争った		1		10
	相 {ソウ	5}		連続	1
	シヨウ	1}		続出	1
	あい	2}		続々と	1
	相談	5	11	(村続き)	
	相手	2	5	卒 {ソツ	6}
	首相	1		卒業	6
	(相続) <相次ぐ>			卒業式	7
	速 {ソク	3}		卒業生	1
	はや〜	2}		卒業記念	3
	速度	3	4	孫 {ソン	0}
	速〜 (い・く)	2	2	まご	4}
	全速力		5	孫	4
	速さ		5	子孫	8
	速力		1		2
	風速		1	他 {タ	4}
	(早速) <急速>			他	5

その他	2	1	反対	3	8	
他国	1		対面	1		他
他人	1	4	○対○		3	打
他界して		1	<対 話>			体
<他 方>			隊 {タイ	3}		対
打 {ダ	2}		兵隊	1	2	隊
う～	6}		軍隊	1	1	第
打つ	3	5	山国隊	1		代
打げき王	1		楽隊		4	
麦打ち	1		隊長		1	
安打	1		たんけん隊・探検隊		4	
舌打	1		(部 隊)			
打ち～(合う・かためる・			第 {ダイ	10}		
こむ・はじめる)			第一号	5		
	1	4	第十六代	1		
打者		1	第～(一・二)	2	10	
(波打つ)			第一学期	1		
体 {タイ	3}		次第	1		
テイ	0}		代 {ダイ	9}		
<「からだ」とは読まない。>			かわ～	1}		
全体	2	3	よ	0}		
身体	1	3	少年時代	1	1	
車体		1	第～代	1	2	
船体		1	時代	4	1	
体重		2	代用	1		
体そう (体操)		1	江戸時代	1		
(体育の時間)			代々	1		
対 {タイ	4}		代わり	1	3	
ツイ	0}					

4 年			
代 題 達 談 治 置 帳	代表	1	1
	交代	1	
	古代ギリシヤ	1	
	お代り	1	
	石器時代	1	
	代用品	1	
	代り代り	1	
	代って	2	
	<近代的>		
	題 {ダイ 6}		
	題	1	
	問題	5	8
	議題	1	
	話題	1	
	二題	1	
	雑題	1	
	(宿題・自由) <画題・題目>		
	達 {タツ 4}		
	<「わたくしたち」は、「わたくし達」「友達」とは書かない。>		
	発達	4	5
	配達		2
	達〜 (した・する)		2
	伝達式		2
	談 {ダン 7}		
	相談	5	11
	講談	1	
	談話	1	
	治		
	治	{チ 0}	
		{ジ 1}	
		{おさめ〜 1}	
	政治	1	1
	治める	1	2
	自治会		5
	自治		1
	明治		3
	政治家		1
	治りょう (〜法)		2
	置		
	置	{チ 3}	
		{お〜 2}	
	物置き	1	2
	置〜 (く・いて)		
		1	5
	位置	3	10
	置場		1
	装置		1
	置物		1
	帳 {チョウ 8}		
	手帳	4	3
	日記帳	1	
	帳面	1	2
	れんしゅう帳	1	
	貸出し帳	1	1
	写生帳		1

台帳 (記録帳・夏休帳)	1	丁	チヨウ テイ	6 0		帳
			(一〜三) 丁	4		調
調 { チヨウ 6 しらべ〜 6 }			(〜) 丁目	1	5	直
調子	4	8	数丁	1		丁
調べ〜 (る・て)			横丁		1	低
	4	7	丁の字形		1	定
調査	2	1	二三丁入り		1	
調べ	2	3	低 { テイ 0 ひく〜 2 }			
調節		1	低〜 (い・く)	2	11	
調整室		1	低気圧 (低学年)		1	
<調 法>			定 { ジョウ 0 テイ 5 さだ〜 1 }			
直 { ジキ 4 なお〜 7 チョク・ただちに 0 }			一定の〜 (場所)			
正直	4	7		1	1	
直〜 (す・して・そう)						
	6	5	定か	1		
書き直す	1		予定	3	4	
正直者		1	決定		1	
直けい・直径		5	定員		1	
見直す		1	かん定書		1	
直せつ		1	定め〜 (る・られ・ず)		4	
直下		1	測定		1	
直角		1	定価		1	
一直線		1	定期船		1	
直り		1	定期		1	
<日 直>			定木		1	

4 年				
底 停 的 点 転 伝	底	{ テイ	0 }	
		{ そこ	5 }	
		底	3	12
		底ぬけ	2	
		海底		3
		てっ底的		1
		てっ底し		1
		(船底) <谷底>		
	停	{ テイ	9 }	
		停車	2	1
		停車場	2	
		停止	1	
		停電	3	5
		降りゅう所・停留所		
			1	2
		急停車		1
		急停止		1
		<停留場>		
的	{	テキ	13 }	
		まと	3 }	
		的 (まと)	3	2
		代表的	4	
		世界的	3	
		目的	6	2
		目的地		4
		規則的		1
		科学的		1
		社会的		1
		進歩的		1
		女性的		1
		衛生的		1
		(積極的) <近代的>		
	点	{ テン	6 }	
		点		3
		(〜) 点	1	3
		点数	4	
		終点	1	1
		句とう点		1
		決勝点		1
		改良する点		1
		点々		1
		<要点・利点>		
	転	{ テン	11 }	
		<「ころぶ」は、かなで書く。>		
		転校	5	2
		自転車	6	7
		運転		1
		転任		1
		<運転台・回転>		
	伝	{ デン	11 }	
		{ つたえ〜	3 }	
		<「手伝う」は「手つだう」と書く。>		
		ワシントン伝	3	1
		伝記	4	
		伝説	2	4
		駅伝	1	

				4	年		
伝	伝え	1		熱湯	1	伝 徒 努 湯 登 等	
	伝え～(る・て)			湯気	2		
		2		湯治	1		
	伝令	1		登 { トウ 1 }			
	伝書ばと		1	ト 3 }			
	伝わ～(る・って)		5	のぼ～ 2 }			
	伝声管		1	登山 3	3		
	いい伝える		1	登～(る・って・ろうと)			
	ガリレオ伝		1		1		7
	伝染病		1	山登り 1	2		
	(伝達) <宣伝>			登用 1			
徒	{ ト 3 }			初登山	1		
	生徒 1	11		登り 2			
	徒手 1			登校 1			
	徒歩 1			木登り 1			
努	{ ド 3 }			等 { トウ 6 }			
	{ つとめる 0 }			{ ひとしい 0 }			
	努力 3	12		<「など」というときには、 かなで書く。>			
	努め 2			(一・二) ～等 1	5		
湯	努める 1			一等賞 1			
	{ トウ 1 }			一等星 1			
	{ ゆ 5 }			(一・二) ～等分 2			
	湯 1	2		等外 1			
	お湯 2	6		高等 5			
	湯水 1			上等 2			
	銭湯 1			等し～(い・く) 2			
	お湯屋 1			(等君・同等)			
	湯川 1	1					
	湯の町 1	1					

4 年			
燈 堂 童 働 内 熱	燈 {トウ	14}	
	電燈	7	9
	燈台	3	3
	燈台もり	1	
	信号燈	3	
	堂 {ドウ	7}	
	堂		1
	食堂	2	1
	こう堂・講堂	2	3
	海月堂 (店名)	1	
	本堂	1	
	堂々〜 (たる・と)		1
		1	1
	公会堂		1
	かねつき堂		1
	お堂		2
	殿堂		1
	<天主堂>		
	童 {ドウ	11}	
	童話	9	9
	児童	1	
	児童会	1	
	童話集		1
	児童百科		1
	(学童) <神童>		
	働 {ドウ	2}	
	はたら〜	4}	
	働〜 (く・いて)		
		4	12
	労働	1	
	労働者	1	2
	(労働会館)		
	内 {ダイ	0}	
	ナイ	9}	
	うち	2}	
	内 (うち)	1	3
	案内	7	2
	館内	1	
	以内	1	
	竹内	1	
	丸の内		1
	内海		1
	内野 (ないや)		1
	区内		1
	校内		1
	車内		1
	案内状		1
	内がわ		2
	内地		1
	内田		1
	室内		1
	境内		2
	身内		1
	<内 外>		
	熱 {ネツ	4}	
	あつ〜	1}	

		4	年	
熱心	4	5	倍以上	1
熱		3	倍率	1
熱さ	1		<何千倍>	
熱帯		1		
熱い		3	反 {ハン 3}	
熱情		1	タン 2}	
(電熱器)			反対 3	6
			反物 1	1
念 {ネン 10}			一反 1	
念		1	反省会 1	1
記念日	3	1	反省 2	2
記念物	1		反物屋 1	1
記念	4	8	<五反歩>	
記念品	1			
残念	1	2	飛 {ヒ 3}	
			と〜 5}	
農 {ノウ 7}			飛行機 3	3
農業	4	2	飛〜 (ぶ・び・んで・	
農園	2		んだ) 5	11
農家	1	2	飛ばし〜	1
農場		2	<飛び歩く>	
農夫		2		
農学校		2	悲 {ヒ 1}	
農地		1	かなし〜 2}	
農林		1	悲し〜 (い・む)	
(農道)			2	9
			悲劇 1	
倍 {バイ 3}			悲鳴 2	2
数倍	1		悲運 1	1
二倍	2	8		
何倍		2	鼻 {ビ 0}	
			はな 5}	

4 年			
鼻 必 氷 秒 不 夫 付	鼻	4	11
	鼻の穴	1	
	鼻先		1
	<出 鼻>		
	必 { ヒツ	7 }	
	かならず	2 }	
	必要	7	10
	必ず	2	7
	<必 死>		
	氷 { ヒ ヨ ウ	1 }	
<動詞には使わない。>			
氷	氷	3	10
	氷室	1	
	南氷洋		4
	氷点以下		1
	氷河		2
	砕氷船		1
	冰山		1
	(氷 水)		
	秒 { ビ ヨ ウ	9 }	
	秒		1
(一〜三十) 秒 5			
秒	秒針	1	
	一秒間	3	2
	何秒		1
	数秒		1
	不 { フ	3 }	
	不足	1	
	不べん (不便)	2	3
	不自由		6
	不平		2
	不意		1
(不幸・不思議) <不満・不似合>			
夫	夫 { フ	3 }	
	プ	2 }	
	おっと	0 }	
	夫		4
	人夫	2	3
	水夫	2	2
	坑夫	1	
	工夫		1
	夫人		2
	農夫		2
付	こう夫		1
	夫婦		2
	<車 夫>		
	付 { フ	2 }	
	つけ〜	2 }	
	寄付	1	5
	気を付ける	1	
	付ける	1	
	付属	1	
	おし付ける		1
付	受付		5
	取り付ける		1
	付近		1

(片付ける)			火の粉	1		
部 {ブ 5}	<「へや」は,「部屋」とは書かないで,かなで書く。>		花粉	1	4	部
	各部	1	パン粉		1	服
	全部	1	そば粉		1	福
	一部	2	製粉器		1	粉
	部分		メリケン粉		1	変
	東部		(麦粉・粉雪)			編
	大部分		変 {ヘン 1}			便
	<部分品・一部分>		かわ~ 5}			
			変わ~ (り・る・った・			
			って)	5	10	
服 {フク 2}	服		変化	1	5	
	洋服	2	変な		2	
	お服		変電所		1	
	服そう		編 {ヘン 8}			
			あむ 0}			
福 {フク 5}	幸福	4	編集	6	7	
	福の神	1	編成	1		
	福田		編集部	1		
	福島		編集者		1	
	(福は内) <祝福>		編集室		1	
	粉 {フン 1}		編む		1	
	こな 2}		编者		1	
粉 {フン 3}	こ 3}		三十二編		1	
	粉		(編 物)			
	小麦粉	2	便 {ベン 7}			
	粉々にくだく	2	ピン 1}			
			便利	5	6	
			便所	1		

4 年			
便 包 放 法 報 防 望	不便	1	6
	郵便物	1	
	ゆう便		2
	郵便局		2
	包 {ホウ 0}		
	{つつ～ 7}		
	包み	3	2
	包～ (む・んで・んだ・		
	まれ)	3	6
	包み紙	1	
放	小包み		4
	(包 囲)		
	放 {ホウ 3}		
	{はな～ 1}		
	放送局	4	1
	放送	4	8
	放課後	1	3
	放しがい	1	
	放～ (す・して)		4
	放れる		1
法	手放す		1
	法 {ホウ 2}		
	方法	2	8
	救助法		1
	ま法使		1
	登山法		1
	退治法		1
	(憲法・法律) <魔法>		
報	報 {ホウ 6}		
	{ボウ 2}		
	{むくいる 0}		
	報告	5	4
	電報	2	6
	報道	1	
	報いる		3
	級報		1
	時報		2
防	防 {ボウ 3}		
	{ふせぐ 0}		
	予防	1	1
	防火	2	1
	防～ (ぐ・いで・ぎたい・		
	げ)		9
	消防		3
	防音		1
	防風林		1
	防波てい		1
望	(てい防・消防手)		
	望 {モウ 0}		
	{ボウ 6}		
	{のぞ～ 2}		
	希望	3	3
	望遠鏡	3	7
	望み	2	5
	望～ (む・んで)		2
	失望		1

4 年

命
綿
問
約
有
油
勇

命 { ミョウ 0
メイ 2
いのち 2 }

命 1 5
命がけ 1 1
命令 2 2
命〜 (ずる・じた・ぜら
れ) 3
命からがら 2
じゅ命 1
命拾い 2
<人命・使命>

綿 { メン 0
わた 3
綿 2 7
綿屋 1
綿入れ 1
綿布 1
炭化綿 1
綿密 1
真綿 1

問 { モン 4
と〜 0
問題 3 7
質問 1 1
学問 3
問〜 (う・われ・わない) 2
<疑問>

約 { ヤク 6 }

約〜 (一丁・三メートル・
四十分・一時間・四へ
クタール) 2 11

約束 4

有 { ウ 0
ユウ 10
あり 1
有名 7 12
共有 3
有田先生 1
(所有)

油 { ユ 3
あぶら 3
油 5

油紙 3

石油 2 4

油田 1

油断 1

きはつ油 1

油絵 1

<給油>

勇 { ユウ 4
いさましい 0

勇氣 4 7

勇作 1

勇まし (い・く) 5

勇む 2

勇さん 1

			4 年			
予 {ヨ	4}		利子	1	予 洋 要 陽 利 理 良 料	
			利器			1
			<権 利>			
			理 {リ	9}		
			整理	2		3
			理由	2		1
洋 {ヨウ	5}		理科	1	3	
			理解	4		
			料理		4	
			理論		1	
			(修理所) <理・理想・修理>			
			良 {リョウ	6}		
			よい	0}		
			改良	4	9	
			良心	2		
			良い		1	
要 {ヨウ	7}		良子		1	
			良沢		1	
			料 {リョウ	4}		
			原料	1	1	
			材料	1	4	
			料金	1	1	
陽 {ヨウ	4}		資料	1		
			ねん料		1	
			料金		1	
			肥料		3	
利 {リ	6}		料理人		1	
			料理		1	
			便利	4	3	
			利用	1	8	

4 年					
緑 輪 類 令 冷 連	緑	{ロク	0}		人類愛 1
		{リョク	1}		(人 類)
		みどり	6}		
		緑	1	6	令 {レイ 2}
		緑色	4	6	命令 1 7
		緑の週間	1		伝令 1
		新緑	1		令子 1
		黄緑		1	号令 1
		葉緑素		1	
		緑化週間		1	
		うす緑		1	冷 {レイ 1}
	輪	{リン	5}		{つめた〜 7}
		{わ	7}		{ひえる 0}
		輪	4	7	冷た〜(い・く・かった)
		三輪車	1	1	7 10
		車輪	2	5	冷水 1
		けい輪	1		冷氣 2
		輪なげ	1		冷〜(やす・えない) 2
		指輪	1	1	冷蔵庫 3
		首輪	1		冷しょう 1
		年輪	1		
	類	だ輪		1	連 {レン 2}
		輪転機		3	{つれ〜 5}
		<動 輪>			{づれ 2}
		{ルイ	3}		{つらなる 0}
		種類	2	5	連れ〜(る・られ・た・て) 5 10
		親類	1	3	子供連れ 2
		鳥類		1	連絡・連らく 1 1
		分類		2	連結器 1
					連らなる 2
					連結 2

			4	年・5	年	
連盟	1		和	{ワ	5}	
連日	1			{やわらぐ	0}	連
<連載・連続>			和		1	練
練 {レン	6}		平和		1	3
ねる	0}		和田くん		2	
練習	6	11	和服		1	
練って		2	昭和			3
じゅく練		1	和田			2
(たん練する)			和歌			1
			漢和			1
			和らげ			2
老 {ロウ	10}		<調 和>			
おい〜	1}					
おいる	0}					
老人	8	6				
老木	1		[5 年]			
老い	1		圧 {アツ	9}		
養老院	1	1	低気圧	4	1	
老船長		1	高圧がま	1		
老支配人		1	気圧	2	1	
老樹		1	圧力	1	2	
老いた		2	高気圧	1	1	
老い松		1	変圧機		2	
労 {ロウ	4}		圧制		1	
労働者	2	2	水圧		1	
苦労	1	8	圧しゅく		1	
勤労	1	1	圧さく空気		1	
労働祭		1	(電 圧)			
(きん労かんしゃの日) <労働>						

因 栄 永 塩 演 央 往	5 年			
	因	{イン よる	{10 0}	
		原因	10	8
	栄	{エイ さかえ～	{8 3}	
		光栄	2	
		久米栄左衛門	3	
		栄え～(る・た)	3	6
		栄養	3	2
		共栄		1
		栄次		1
塩	永	{エイ	4}	
		<「ながい」とは読まない。>		
		永久	3	7
		永遠	1	3
		嘉永		1
		安永		1
	塩	{エン しお	{4 3}	
		塩	2	6
		塩田	4	1
		塩水	1	
往		塩分		2
		食塩		1
		塩酸		2
	塩づけ			1
	塩田(人名)			1
	演	{エン	6}	
		演奏	2	1
		講演	3	1
		演劇部	1	
		演出		1
央		公演		1
		演芸会		1
		出演者		1
		出演		1
		演説		1
		実演		1
		演～(じる・ずる)		2
		講演会		1
	央	{オウ	6}	
		中央線	2	1
往		中央	4	4
		中央隊		1
		中央部		1
		中央ヨーロッパ		1
		中央放送局		1
		中央公園		1
	往	{オウ	6}	
		往来	4	7
		往復	1	1
		往復はがき	1	
立		立往生		1

応 {オウ 8}

慶応義塾 2

応接室 3

応えん 2

応接間 1

応用 3

応ずる 2

億 {オク 3}

一億 1

何億円 1

二十億年 1

数億 1

恩 {オン 5}

恩 1

恩返し 1

恩人 2

恩師 1

大恩人 1

(謝恩会)

果 {カ 8}
{はて 1}
{はたす 0}

結果 4

効果 2

果実 2

果てもなく 1

果じゅ園 1

果〜 (す・せる・して) 4

河 {カ 1}
{ガ 9}<「かわ」というときは「川」
を書く。>

大河 3

駿河湾 2

運河 4

河川 1

大氷河 1

河域 1

銀河 1

氷河 2

ボルガ河 1

(河 口)

過 {カ 4}
{すぎ〜 11}
{すご〜 2}

過ぎ去る 6

過ぎ〜 (る・て) 4

通過 2

一生を過す 1

過去 2

大き過ぎる 1

過した 1

経過 1

価 {カ 4}
{あたい 1}

価 (あたい) 1

応 億 恩 果 河 過 価

価 課 快 解 各 格	5 年					
	定価	4	2	雪解け		1
	高価		2	理解		3
	安価		1	誤解		2
	価値		1	分解		1
	価格		1	解放		2
				(明解辞典)		
	課 {カ	2}		各 {カク	4}	
	課		2	おのおの	0}	
	放課後	1	4	各地	1	5
快	課外	1	1	各組	1	
	課題		1	各人	1	
	一課		1	各位	1	
	課業		1	各はん (各班)		3
	快 {カイ	1}		各ケーブル		1
	こころよ~	5}		各場		1
	快~ (い・く)	5	7	各教室		1
	快晴	1		各国		1
	軽快		4	格 {カク	6}	
	愉快		1	失格	2	
解	快適		1	性格	1	1
	快活		1	合格	1	
	快調		1	資格	1	3
	(快方にむかいました)			格納庫	1	
	<不愉快>			人格		2
	解 {カイ	6}		格別		1
	と~	1}		格言		1
	解決	5	3	厳格		1
	解~ (く・き)	1	3	格式		1
	解説	1		人格者		1

<体 格>				漢文	1		
				和漢朗詠集	1	確	
				(教育漢字表)		完	
確	{カク たしか	{6 4}		管	{カン くだ	{5 0}	官
正確	1	7		管	1	4	漢
確信	3	1		ゴム管	3		管
確か〜 (な・に)				試験管	1	1	希
	4	4		鉄管		5	寄
確實	2	1		血管		1	
完	{カン	{6}		伝声管		2	
完全	2			水圧管		1	
完成	4	7		細管		1	
不完全		2		(管 理)			
完一		1		希	{キ	{7}	
完結		1		希望	7	11	
官	{カン	{5}		希望者		1	
さいばん官	3	2		寄	{キ よ〜	{3 7}	
警官	1			寄せる	5	6	
官軍	1			寄って来る	1		
長官		2		寄る	1		
試験官		2		寄港	3		
けいさつ官		1		近寄る		2	
左官屋		1		寄付		3	
器官		1		寄宿舍		1	
官人		1		寄宿費		1	
(神 官)							
漢	{カン	{6}					
漢字	6	9					

規 技 義 議 久 求 宮	5 年				
	規 {キ	6}		不思議	1
	規則	3	8	議員	2
	規則的	2		議題	1
	不規則	1	1	議事堂	2
	規律		1	議論	1
	規約		1	議案	1
				(議 長)	
	技 {ギ	5}		久 {キユウ	5}
	競技	5	1	ひさし~	1}
	技師		4	久	2
	みょう技		1	永久	3
	技術		2	久しい	1
	大競技		1	久保	1
	競技会		1	久しぶり	8
	技術者		1	久助	1
	(技 能)				
	義 {ギ	8}		求 {キユウ	2}
	慶応義塾	2		もとめ~	5}
	民主主義	5	3	求める	5
	義理	1	1	求人	1
	講義		2	要求	1
	意義		1		
	義務		2	宮 {ク	0}
	信義		2	キユウ	1}
				グウ	1}
				みや	1}
	議 {ギ	9}		宮	1
	議会	3	1	お宮	1
	会議	3	1	宮城	1
	討議	2	3	平安神宮	1
				法皇宮	1

ちちぶの宮	1	許	{ キ ャ 0 }		
離宮	1		{ ゆる〜 11 }		宮
宮中	1		許〜(され・さない・す)		救
神宮	1		11	8	居
宮田さん	2	特許権		1	許
大宮	1	許可		1	漁
二宮	2	特許		1	協
宮殿	1	(許 否)			
救 { キ ャウ 1 }		漁 { リ ャウ 4 }			
すく〜 11 }		ギ ャ 4 }			
救〜 (って・う・わねば・		漁	2		
われ・い出す)		大漁	1	1	
10	11	漁業	3	2	
救い 1		漁師	1	1	
救世主 1		漁夫	1		
救済 1	1	大漁旗		2	
救助船 1	1	漁師村		1	
救助法 1	1	漁船		1	
(救 助)		かつお漁		1	
居 { キ ャ 6 }		漁場		1	
い〜 4 }		漁村		2	
居間 1	2	協 { キ ャウ 4 }			
居〜 (る・ました)		協力 4			
3	2	協力〜 (する・して)		6	
住居 5	3	協会		1	
隠居 1		協同組合		2	
居眠り 1	1	協力社		1	
皇居 3	3	(協 議)			
皇居前 1	1				

5 年							
興 極 均 区 句 型	興	{ コウ	0		區別	4	4
		{ キョウ	1		地区	1	
		{ おこ～	1		区内		2
		興味	1	9	区いき		1
		興す	1		区間		1
		再興		1	区切り		1
		興奮		2	ハッシタン区		1
		余興		2	<地区別>		
		復興		3	句 {ク	8}	
		興～ (る・った)		2			
		興道寺		1			
	極	{ キョク	6		句		2
		{ ゴッ	1		句読点・句とう点	1	1
		{ ゴク	0				
		北極	3	3	はい句 (俳句)	5	4
		北極星	2	4	文句	2	3
		南極	1	2	語句		1
		極寒	1		型 {ケイ	6}	
		極たん		1			
		北極圏		1			
		極地		1	かた	1	
		(積極的) <京極>			がた	3	
均	{キン	6}		紙型	2	3	
	平均	5	9	大型	3		
	平均点	1		型板	2		
	(均 一)			型鋼	1		
	区 {ク		6}		模型	1	2
文京区		1		新しい型	1	1	
				定型律		1	
				小型		1	
				いろいろな型		1	
				新型		1	
				流線型		1	

			5 年		
敬	木型	1	学芸会	5	型 敬 経 芸 欠 件 健 験
	典型	1	曲芸	2	
	(型 紙)		演芸	1	
			芸術	2	
	{ ケイ 5 }		<武 芸>		
	{ うやま〜 2 }				
	{ (たか) 3 }		欠 { ケッ 3 }		
	尊敬 5	9	{ かけ〜 4 }		
	敬〜 (う・って)		欠け〜 (る・始める)		
	2	4	4	7	
経	伊能忠敬 3		欠席 3	1	健 験
	敬具	1	欠点	1	
	敬次	1	補欠	1	
	敬語	1	欠ぼう	1	
			欠かさず	1	
	{ ケイ 7 }		件 { ケン 10 }		
	{ キョウ 1 }		事件 7	7	
	{ へ〜 4 }		件数 1		
	経営 2	1	用件 2	3	
	経験 4	4	条件	2	
芸	経〜 (なければ・る・て)				健 験
	4	2	健 { ケン 5 }		
	経済 1	1	{ すこやか 0 }		
	お経 1	3	健康 3	10	
	神経	3	保健 1	1	
			保健婦 1	1	
	{ ゲイ 5 }		健やかに	1	
	芸 2	1	験 { ケン 12 }		
	芸術家 1		実験 9	7	
	演芸会 1		経験 3	3	
	手芸 1				

験 限 護 功 厚 康 講 際 在	5 年			
	試験	2		
	限 { ゲン 2 } かぎ~ 12 }			
	限~ (る・らず・って)			
	5	3		
	(続く・きょう・できる)			
	~限り 6	8		
	制限 1			
	北限回線 1			
	無限	1		
	護 {ゴ 10}			
	保護 7	2		
	保護者 1	1		
	かん護婦・看護婦			
	2	4		
	愛護 1	1		
	弁護士 1	1		
	保護色 1	1		
	護国寺 1	1		
	(看護する・看護当番)			
功 厚	功 { コウ 13 } ク 0 }			
	功 1			
	成功 11	10		
	功績 1	1		
	厚 { コウ 4 } あつ~ 8 }			
	厚い 7	3		
厚さ 厚生部 厚生省 厚紙 厚意 康 {コウ 健康 講 {コウ 講演 講堂 講義 講習所 (講 話) 際 {サイ 実際 国際 国際関係 交際 この際 在 {サイ 現在 自由自在 在学 存在 在留邦人 自在	1	6		
	2	1		
	2			
		1		
		1		
	1}			
	1	10		
	6}			
	4	1		
	2	5		
		4		
		1		
	8}			
	5	8		
	2	2		
	1			
		1		
		1		
	14}			
	7	9		
	3			
	1			
	1	1		
	2			
		1		

昨 {サク

8}

<「昨日」は「きのう」とは
読まない。>

昨日 4 1

昨年 2 2

一昨日 1

昨夜 1 5

一昨年 2

殺 {サイ 0
サツ 1
ころ~ 5}

殺~ (す・して)

5 8

殺人 1

殺風景 2

犬殺し 1

自殺 1

雑 {ザツ 7
ザッ 4
ゾウ 2}

複雑 5 3

雑誌 3

雑音 1 1

雑きん 1

雑然 1

雑木林 1 2

雑記 1

雑貨屋 1

混雑 1

雑草

参

{サン 10
ザン 1
まい~ 1}

持参 1

参上 1

参考書 6 1

参観 1

新参 1

参拜 1 1

お参り 1

参考 7

参加 2

産

{サン 11
う~ 3}

産地 2 2

財産 1

産物 1 3

産業 3 2

産~ (む・み・めない)

3 4

産額 1

生産 1 1

電産 1

アフリカ産 1

農産 1

遺産 1

(産出) <特産>

賛 示 史 司 志 師 資	5 年			
	賛 {サン	6}		
	賛成	6	11	
	示 {シ	0}		
	示 {ジ	3}		
	示 {しめ～	2}		
	揭示	2		
	示～ (す・して・しなが ら・しました)	2	9	
	指示	1		
	展示		2	
	けい示板 (揭示物)		1	
	史 {シ	4}		
	歴史	4	10	
	女史		1	
	<六か年小史>			
	司 {シ	2}		
	司会	1	4	
	司令	1		
	行司		2	
	司会者		3	
	志 {シ	6}		
	志 {こころざし	2}		
	志 {こころざす	0}		
	志	2		
	意志	2	3	
志 望 有 志 志 同 大 遺 師 牧 宣 師 恩 漁 技 い ほ 教 医 陶 <仏 師> 資 資 資 資 資 資 学	志望	1		
	有志	3		
	志～ (す・して)			6
	同志			1
	大志			1
	遺志			1
	師 {シ	6}		
	牧師	1		
	宣教師	2		
	師範	1		
	恩師	2		
	漁師			3
	技師			4
	いもの師			1
	ほりもの師			1
	教師			1
	医師			1
	陶器師			1
	<仏 師>			
	資 {シ	11}		
	資源	5		3
	資格	4		3
	物資	1		2
	資質	1		
	資金			1
	資料			2
	学資			1

似 { ジ 0 }
 { に～ 8 }

似～ (る・ている・た)

7 10

似合～ (う・わぬ)

1 1

似かよった

1

<不似合>

識 { シキ 13 }

知識 11 11

見識 1

標識 1

常識 1

質 { シツ 12 }
 { シチ 0 }

質問 2 4

性質 9 5

品質 1 1

物質 1 1

素質 1 1

<質 素>

舎 { シャ 3 }

校舎 1 5

牛舎 1 1

寄宿舎 1 2

十辺舎 1 1

宿舎 1 1

病舎 1 1

(ちく舎)

謝 { シャ 3 }

感謝 3 3

謝絶 1 1

謝礼 1 1

酒 { シュ 3 }
 { さけ 5 }

酒 3 5

ぶどう酒 3 6

お酒 2 1

あま酒 1 1

酒類 1 1

酒石酸 1 1

<酒 屋>

授 { ジュ 8 }
 { さずける 0 }

授業 7 5

教授 1 5

授け～ (られる・た) 4

周 { シュウ 10 }

周囲 6 10

八十周年 3

円周 1

周ちゃん 1

周文 1

(一周) <周辺>

似
識
質
舎
謝
酒
授
周

5 年				
修 徒 宿 祝 術	修	{ シュウ	7 }	
		{ シュ	2 }	
		{ おさめ～	2 }	
		修理	2	5
		修めた	1	
		修学旅行	3	
		修了	1	
		修業式	1	
		修め	1	1
		修(しゅ)学院	1	
		修行	1	2
		修次		1
		修業		2
		修繕		1
	徒	{ ジュウ	2 }	
		{ したが～	8 }	
		徒～(う・いません・わな		
		い・って)	8	11
		服徒	1	1
		徒軍	1	
		徒事		1
		徒順		1
		(従業員・徒来)		
	宿	{ シュク	3 }	
		{ やど	9 }	
		{ やど～	2 }	
		宿		3
		宿屋	4	4
		お宿	2	
		馬宿	3	
		宿る	2	
		宿題	1	2
		宿舎	1	2
		宿場	1	
		寄宿舍		1
		下宿		1
	祝	{ シュク	1 }	
		{ いわ～	5 }	
		祝～(う・って)		
			4	5
		祝賀	1	
		お祝いする	1	
		お祝		4
		祝賀会		2
		祝賀式		1
		祝辞		1
	術	祝福		1
		(祝 日)		
		{ ジュツ	9 }	
		手術	1	
		手術室	2	4
		美術	1	
		技術	4	2
		魔術	1	
		美術館		1
		そくりょう術		1
		印刷術		1
		美術院		1

5 年

(にん術)			賞品	4	4	準 序 承 省 賞 状 常
準 {ジュン	7}		文学賞	3		
			賞金	1		
			ノーベル平和賞	1		
			平和賞		1	
序 {ジョ	5}		賞讃		1	
			物理学賞		1	
			観賞		1	
			<ノーベル賞>			
承 {ショウ	7}		状 {ジョウ	7}		準 序 承 省 賞 状 常
			異状		2	
			案内状		1	
			状態		2	
省 {セイ	4}		状況		1	
			あやまり状		1	
			招待状		1	
			らせん状		1	
賞 {ショウ	9}		現状		1	
			推せん状		1	
			(年賀状)			
			常 {ジョウ	11}		
賞			つね		4	
			常に		4	
			非常に		9	
賞			常盤山		2	
			正常			
			(非常口)			

5 年				
情 織 臣 性 政 精	情	{ ジョウ なさけ }	{ 8 5 }	
		情をしる	4	
		情景	4	
		同情	2	3
		情がある	1	
		友情	1	1
		感情	1	1
		愛情		3
		情け		3
		表情		2
		事情		1
		(情深い人)		
	織	{ ショク・シキ ショツ おり お〜 }	{ 0 1 5 2 }	
		綿織物	1	
		織〜 (る・れる)		
			2	1
		織物	4	4
		織機	1	
		組織		5
		組織的		1
		自動織機		1
		はた織		1
		絹織物		1
		(毛織物) <手織>		
臣		{ ジン シン }	{ 6 0 }	
		大臣	6	8
		家臣		1
		重臣		1
		(人臣・臣民)		
	性	{ セイ ショウ }	{ 12 0 }	
		性	1	
		性質	10	8
		性格		1
		習性		1
		悪性		2
		気性		1
		流行性		1
		性に合った		1
	政	{ セイ ショウ・まつり ごと }	{ 13 0 }	
		政府	8	8
		財政	3	
		政治	2	1
		家政婦		1
		安政		1
精		{ セイ ショウ }	{ 5 0 }	
		精		3
		精神	2	3
		精いっぱい	1	1

5 年

精確	1		よう接	1		
精米き	1		応接	2		精
精米		1	接続	2	1	製
精進		1	応接間	1		責
火の精		1	接する		2	接
精巧		1	接待		1	設
精を出す		1	接待係		1	設
<精 根>			応接室		1	浅
			直接		3	
製 {セイ	8}		(接 近)			
木製	2	1				
製本	3	2	設 {セツ	3}		
製版	1		セッ	3}		
製造	1		もうけ～	0}		
製作	1	1	設備	2	7	
手製		1	設計	3	1	
ぞうげ製		1	設け～ (る・らる)			
製材所		2		1	3	
しんちゅう製		1	建設	1	1	
製糸		1	設計図		3	
(特製) <外国製>			<施設・建設省>			
責 {セキ	7}		浅 {セン	2}		
せめ～	2}		あさ～	4}		
責任	6	11	浅～ (い・く)	4	6	
責める	2	2	浅間神社	2		
責任者	1		浅間		1	
			浅野		1	
接 {セツ	6}		浅夜		1	
セッ	1}		浅見		1	
接戦	1	3				

5 年							
善 然 祖 倉 想 造	善	{ゼン	4}		先祖	2	2
		<「よい」とは読まない。>			祖国	1	4
		善		1	祖父		2
		善行	1		(元 祖)		
		最善	2		倉 {ソウ	3}	
		改善	1				
		善ちゃん		1	くら	3}	
		善太		1	倉	1	1
		善光寺		1	倉庫	3	6
		慈善		1	鎌倉	1	1
		善はいそげ		1	板倉	1	
		善人		1	倉田		1
		明善		1	倉橋		1
		善良		1	船倉		1
					(米 倉)		
	然	{ゼン	11}		想 {ソウ	9}	
		{ネン	1}				
		自然	8	9			
		当然	3	1			
		天然ガス	1				
		天然色		1			
		天然とう		1			
		自然界		1			
		全然		1			
		天然		1			
	祖	{ソ	6}		造 {ソウ	6}	
		{ゾ	2}				
		祖母	3		つく～	2}	
	祖	祖先	2	4	大造じいさん	1	
					造船	2	2

造～(る・りました・らね ば・って・れる)			増進 (増刊号)	<増築>	3	造 像 増 則 側 測
	2	5	則 {ソク	8}		
創造	1	1	法則	4	2	
構造	1		規則	2	7	
木造	1	1	規則的	2		
岩造		1	不規則		1	
造船所		1	原則		1	
鍛造工場		1				
人造		1	側 {ソク	1}		
製造		1	がわ	9}		
造り方		1	かわ	0}		
荷造り		1	西側	2	1	
像 {ソウ	14}		内側	1	1	
肖像画	2		両側	1	4	
想像	8	7	右側	3		
銅像	4	2	左側	1	2	
しょう像		1	側面	1		
きょう像		1	こちら側	1		
仏像		1	反対側		1	
			南側		1	
			北側		1	
増 {ゾウ	3}		測 {ソク	10}		
ま～	5}		はか～	1}		
水量が増す	1		観測	3	4	
増～(す・して・した)			測量	3	2	
	4	11	体重測定	1		
増減	1		測定	2	2	
増加	1		歩測	1		
増強	1					
増額		1				

5 年			
測 尊 退 帯 態 単 断	測～（り・る）	1	3
	目測		1
	天測		1
	<測 地>		
	尊 { ソン 4 } たっと～ 8		
	<「とうとい」は、かなで書く。>		
	尊い	5	5
	尊～（ぶ・びます）		
		3	
	尊敬	4	6
退	尊徳		1
	尊さ		2
	<尊 重>		
	退 { タイ 6 } しりぞ～ 1		
	退場	3	2
	退治	1	3
	退院	1	1
	後退	1	
	退～（き・く・いて・い た）	1	3
	退校		1
帯	退治法		1
	退ける		1
	帯 { タイ 5 } おび 3 おびる 0		
	帯	3	5
	森林地帯	1	
	地帯	2	5
	工場地帯	2	
	帯～（びて・びる）		1
	熱帯		3
	一帯		1
態	赤帯		1
	帯皮		1
	態 { タイ 8 }		
	態度	7	7
	状態	1	4
	容態		1
単	単 { タン 5 }		
	単純に	2	2
	単に	1	2
	単位	1	2
	簡単	1	3
	単なる		2
	單身		1
	断 { ダン 3 } ことわ～ 2 たつ 0		
	断～（る・って）		
		2	
断	断面	1	
	せつ断・切断	1	2
	決断	1	
	油断		2

			5	年	
横断	3				
判断	1				
断～ (たれ・ち切る)	4				
(断がい)					
団 {ダン	8}				
一団	2				
船団	1	1			
団体	3	1			
団結	1				
青年団	1	1			
団長		1			
選手団		1			
団体生活		1			
事業団体		1			
野球団		1			
応えん団		1			
赤十字団		1			
楽団		1			
<財 団>					
築 {チク	3}				
きず～	3}				
築～(く・きあげる・いた・					
かれた)	3	3			
建築	2	9			
大建築	1				
本建築		1			
築造		1			
<増 築>					
貯 {チョ	7}				
貯水池	3				
貯金	3				
貯蔵	1				
貯水場					
貯蔵所					
張 {チョウ	3}				
は～	8}				
ぱ～	3}				
張～ (る・り・られ)					
	7				
引っ張～ (る・って)					
	3				
きん張	2				
張りさける	1				
出張	1				
見張り					
主張					
敵 {テキ	7}				
敵	6				
敵味方	1				
強敵					
(敵地・敵意)					
<利敵行為・敵国>					
適 {テキ	5}				
適当	4				
適切	1				
適～ (する・した)					

展 討 統 銅 導 特 得	5 年				
	(適 任)				
	展 {テン	3}			
	展覧会	3	4		
	展望車		1		
	展開		2		
	発展		5		
	(展示会)				
	討 {トウ	4}			
	うつ	0}			
統	討議	3	2		
	検討	1	2		
	討論		5		
	統 {トウ	8}			
	すべる	0}			
	統計図表	1			
	統計	3	3		
	副大統領	2			
	大統領	2	6		
	<系統・伝統>				
銅	銅 {ドウ	11}			
	銅	1	2		
	銅像	4	4		
	銅線	3			
	銅版	2	1		
	銅山	1			
	赤銅		1		
	銅メタル		1		
	青銅		1		
導	銅貨			1	
	導 {ドウ	5}			
	みちび～	5}			
	指導	4		4	
	導～ (く・かれて)				
		5		7	
	指導者	1			
	導線			1	
	唱導			1	
	(補 導)				
特	特 {トク	6}			
	特別	3		5	
	特に	2		5	
	特色	1			
	特許			1	
	特長			1	
	<特産・独特>				
	得 {トク	3}			
	え～	11}			
	得～ (る・た・ようと)				
得		10		3	
	心得ている	1			
	得意	3			
	心得			1	
	納得			1	
	得点			1	
	<損 得>				

5 年

毒 {ドク 7}

毒 2 2
 気の毒 2 2
 毒薬 1
 毒草 1 1
 消毒 1 3
 毒じゃ 1
 毒矢 1
 有毒ガス 1
 中毒 1

独 {ドク 6}

独立 4 5
 独力 1
 独特 1
 独唱 3
 独学 1
 独そう 1
 (独立国) <独創的>

任 {ニン 7}
 {まかせる 0}

責任 7 5
 転任 2
 任せ〜 (る・ます) 2
 主任 1
 責任者 1

燃 {ネン 4}
 {もえ〜 9}
 燃やす 3 1

燃え(〜る・て)

6 9

燃料 4 5

破 {ハ 4}
 {やぶ〜 6}

破れがさ 2

破〜 (る・って・れて・
 れる) 4 10

破かい 3 1

破損 1

難破 4

敗 {ハイ 3}
 {パイ 9}
 {やぶれる 0}

<「まける」を「敗ける」と
 は書かない。>

失敗 9 8

ふ敗 1

敗北 1

敗戦 1 1

(三〜) 敗 2

敗れ (〜て) 4

(どん敗)

博 {ハク 5}

博士 3 6

博物館 2 4

博覧会 1

博物学 1

毒
 独
 任
 燃
 破
 敗
 博

判 飯 比 肥 非 費 備	5 年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
---------------------------------	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

			5 年			
筆	設備	4	2	俵運び	1	備 筆 俵 票 評 標
	備後の国	3		なん俵	1	
	備前の国	3		炭俵	1	
	備わる	1		さん俵	1	
	備える	2	2	土俵	1	
	備え		4	(米 俵)		
	整備		2			
	(備品) <守備>			票 {ヒョウ	4}	
	{ヒツ	1}		投票	4	
	{ピツ	6}		座席票		
筆	{ふで	6}		開票		備 筆 俵 票 評 標
	筆	5	6	えつらん票		
	一筆啓上	2		(五十) ~票	1	
	執筆者	2		(投票日)		
	筆写体	1		評 {ヒョウ	4}	
	鉛筆	2		評判	3	
	筆入れ	1	1	批評	1	
	鉄筆		2	品評会		
	筆順		1	標 {ヒョウ	4}	
	筆者		1	標本	3	
俵	筆法		1	目標	1	備 筆 俵 票 評 標
	筆ぶしょう		1	標語		
	筆紙		1	標準		
	ずい筆		1	標準語		
	{ヒョウ	3}		標本室		
	{ビョウ	1}		標とし		
	{たわら	4}		(道標) <標識>		
	俵	3	1			
	五俵	3	3			

貧 布 富 府 婦 武	5 年				
	貧	{ ヒン	1 }		
		{ ビン	2 }		
		{ まずし～	7 }		
		貧しい	7	10	
		貧ほう	2	2	
		貧苦	1	1	
		貧弱		2	
	布	{ フ	3 }		
		{ プ	1 }		
		{ ぬの	8 }		
		布	4	6	
		布告	1		
		白布	1		
		黒布	1		
		赤布	1		
		布由	1		
		画布	1		
		布地	1		
		絹布	1		
毛布			6		
公布		2			
綿布		1			
布田保之助		1			
富	{ フ	8 }			
	{ フウ	3 }			
	{ とみ	3 }			
	{ とむ	0 }			
	富 (とみ)	3	2		
	富士登山	2			
	府	讃岐富士	3		
		富貴	3		
		富士山	2	7	
		豊富	1	1	
富山県			1		
富～ (んだ・み)			2		
{ フ		11 }			
政府		7	6		
幕府		1	1		
徳川幕府		3			
婦	首府		2		
	京都府		1		
	大阪府		1		
	(府 県)				
	{ フ	4 }			
	夫婦	3	2		
	衛生婦	1			
	保健婦		1		
	家政婦		1		
	婦人		4		
武	看護婦		3		
	{ フ	5 }			
	{ ム	2 }			
	武士	3	4		
	武器	2	4		
	武者絵	2			
	武力		1		
	かげ武者		1		

<武 芸>

副 {フク 8}

副詞 2 1

副部長 3

副大統領 2

副委員長 1

副会長 1

副隊長 1

副議長 1

副船長 1

副食物 1

(副級長)

復 {フク 4
フッ 3}

復興 3 2

往復 2 3

回復 1 1

復習 1

拜復 1

(往復キップ)

兵 {ヘイ 5}

兵士 5 4

兵 1

兵隊 3

工兵 1

憲兵 1

番兵 1

<兵 器>

辺 {ヘン 3}

<「べ」はかなでかく。>

辺 2

この辺 1 7

一辺 1

身辺 1

・ 周辺 1

ブラジル辺 1

湖辺 1

近辺 1

保 {ホ 10
ポウ 3
たも〜 2}

保護 4 1

保安隊 2

天保十二年 3

保存 3 1

保〜 (つ・って)

2 5

保健婦 1 1

保健所 1

保護色 1

保谷 (地名) 1

保険 1

秋山 保 (人名) 1

保養院 1

保君 (人名) 1

副
復
兵
辺
保

豊 牧 満 脈 務 迷	5 年						
	豊	{ホウ 4}			満潮	1	
		{(ブ) 1}			満々と		1
		{ゆたか 10}			満つる		1
		豊か～ (な・に)			満ちあふれる		1
		10	9	満七才		1	
	豊富	4	3	脈 {ミャク 5}			
	豊前の国	1			脈		3
	豊作		3		山脈	4	9
	豊年祭		1		じょう脈	1	
	牧	{ボク 8}			務 {ム 6}		
		{まき 1}				{つとめ 1}	
		放牧場	2		<動詞には使わない。>		
		放牧	2	1	用務員	3	
		牧場	3	8	事務	2	
		牧野さん	1		公務員	1	
		牧舎	1		務 (つとめ)	1	
		牧草		2	事務室		1
		牧童		1	事務所		6
		牧サトシ		1	事務員		2
		牧業		1	勤務時間		1
牧ちく			1	医務室		1	
満	{マン 13}			(任 務)			
	{みち～ 4}			迷 {メイ 1}			
	満員	3	3		{まよ～ 2}		
	満足	6	6	迷～(う・った・わない)			
	満ち～ (る・た)				2	4	
		4	2	迷信	1	3	
	満場	2		迷路		1	
満月	1						

迷子 (迷わく・迷い道)		2	容 {ヨウ 9}		迷	
			<「いれる」というときは「入れる」と書く。>		薬	
薬 {	ヤク	3}	形容詞	2	1	輪
	ヤッ	1}	内容	6	5	余
	くすり	8}	容積	1		容
	薬	8	容易		4	養
	薬品	3	容態		1	浴
薬局	1					
火薬 (薬 指)		2	養 {ヨウ 3}			
			やしな~	5}		
			養~ (う・って)			
輪 {ユ 6}				5	4	
	輸出	2	2	栄養	2	
	輸入	2	3	養蚕業	1	
	輸出品	1		養分		1
	輸血	1		教養		3
	運輸		2	りょう養		1
	輸送		2	養生		1
				養魚		1
余 {ヨ 2}			養成		1	
	あま~	4}	養蚕		1	
	余~ (る・った)					
		2	2	浴 {ヨク 1}		
三十余年	1		あび~	4}		
~余り	2	3	浴び~ (る・て)			
千余年	1			3	6	
余分		3	海水浴	1	3	
余光		1	水浴び	1		
余念		1	入浴		1	
余興		1	入浴場		1	

留 量 領 例 歴 録 論	5 年			
	留	リュウ	9	
		ル	1	
		とめる	0	
		停留場	3	1
		留学	3	4
		留守番		1
		留守	1	
		留学生	1	
		停留所	2	3
量	量	リュウ	9	
		はかる	0	
		水量	2	1
		測量	4	1
		(水じょう気の)~量		
			3	6
		貯水量		1
		量る		1
		分量		1
		大量		1
領	領	リュウ	7	
		頭領	3	
		領土	1	
		副大統領	2	
		領地	1	
		大統領		8
例	例	領内		1
		要領		1
		領主		2
	{レイ 7}	例 {レイ 7}		
		<「たとえば」というときは、 かなで書く。>		
		例 (手紙の例・例をあ げる)	6	8
		例の……	1	
		一例		2
		例外		1
		<実 例>		
歴	{レキ 3}	歴 {レキ 3}		
		歴史	3	12
		経歴		1
	{ロク 4}	録 {ロク 4}		
		記録	4	7
		新記録		1
		読書録		1
		録音		1
		記録係		1
		録音室 (記録帳)		1
論	{ロン 8}	論 {ロン 8}		
		結論	5	
		討論	3	2
		討論会		2

5 年・6 年

論注	1	胃 {イ	10}		論
論議	2	胃	3	2	衣
論争	1	胃腸	4	2	易
論文	1	胃袋	1	2	胃
理論	1	胃病	2		異
弁論家	1				遺
(論 説)		異 {イ	3}		
		ことな～	3}		
		異な～ (る・った)			
			3	1	
		異様	1		
		異論	1		
		異状	1		
		異郷		1	
		異議		1	
		異同		1	
		異常		2	
		<異国風>			
		遺 {イ	4}		
		ユイ	0}		
		遺族	1		
		遺せき	1	2	
		遺物	2	1	
		遺伝学		1	
		遺志		1	
		遺業		1	
		遺産		2	
		(遺 伝)			
[6 年]					
衣 {イ	7}				
ころも	1}				
衣		4			
衣類	1	4			
衣食住	2	1			
衣料	2				
衣服	2	1			
衣がえ	1				
衣しょう		1			
易 {イ	5}				
エキ	10}				
容易	4	6			
貿易	8	6			
易者	1				
安易	1				
貿易船	1				
<交 易>					

6	年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

仮	{ケ	0}	
	{カ	1}	
	かり	3}	
	仮小屋	3	1
	假定	1	1
	仮装		2
	仮名文		1
	仮りに		1
	仮条約		1
	(仮名・仮面)		

我	{ガ	1}	
	{われ	7}	
	<「わが国」を「我が国」「我 国」とは書かない。>		
	我	5	8
	我ら	2	
	自我	1	
	ゆい我		1

賀	{ガ	1}	
	年賀	1	
	古賀		2
	祝賀会		2
	祝賀式		1

革	{カク	13}	
	<「かわ」というときには、 「皮」を書く。>		
	革命	8	3
	改革	3	2

革新	1	1	仮 我 賀 革
皮革	1		
大革命		1	
革新的		1	
拡 {カク 7}			拡 額 株
<「ひろげる」「ひろがる」は、 かなで書く。>			
拡大	5	2	
拡張	1	1	
拡大鏡	1		
拡声機		3	

額	{ガク	5}	
	{ひたい	0}	
	額 (ガク)		4
	額 (ひたい)		1
	輸入額	1	
	総額	1	1
	金額	1	
	産額	1	
	額ぶち	1	
	損害額		1
	貿易額		1
	目標額		1
	全額		1
	巨額		1

株	{かぶ	6}	
	<「シュ」とは読まない。>		
	株		1

6 年					
株 刊 幹 勸 慣 欲 眼 紀	切株	1	2	慣 {カン	6}
	株主	1		なれる	0}
	株式	2	1	習慣	5
	株金	1		慣性	1
	株券	1		慣れる	2
	(一〜四) 株		2	歡 {カン	2}
	木の株		2	歓迎	2
	根株		1	歓声	4
	刊 {カン	9}		歓喜	1
	刊行	2	1	歓待	1
	増刊	1		眼 {ガン	4}
	夕刊	1		まなこ	0}
	朝刊	1	1	<「め」というときには、 「目」を書く。>	
	発刊	1	1	眼	1
	週刊	2	2	眼界	1
	月刊	1	1	眼下	1
	(増刊号) <日刊・創刊>			両眼	2
	幹 {カン	1}		双眼鏡	1
	みき	0}		眼前	1
	幹		9	近眼	1
	幹部	1	1	肉眼	1
	根幹		1	眼科	1
勸	{カン	2}		紀 {キ	4}
	すすめる	0}		世紀	3
	勸業	1		紀元	1
	勸業銀行	1		(〜) 世紀	2
	勸告		2	半世紀	1
	勧める		6		
	(勧ゆう)				

紀淡 かいきょう	1				
基 {キ 9}					
もとい・もとづ					
く 0					
<「もと」は、かなで書く。>					
基本 3	2				
基本的 2					
基地 4	3				
基づく 3					
基礎・基そ 2					
(基 金)					
貴 {キ 11}					
<「たっとい」というときに					
は、「尊」を書く。>					
貴族 4	3				
貴族院 2					
貴重 2	5				
貴金属 2					
貴重品 1					
貴婦人 1					
疑 {ギ 5}					
うたが〜 2					
疑問 5	9				
疑〜 (う・われた)					
2	7				
(質 疑)					
逆 {ギャク 8}					
ギャッ 1					
さからう 0					
逆境 1					
逆上 1					
逆心 1					
逆流 1		1			
逆転 1					
逆 (〜に) 2		8			
逆しゅう 1					
反逆 1					
反逆者 1					
逆風 1					
(逆さま・逆らう)					
旧 {キユウ 8}					
旧れき 2					
旧正月 1					
旧憲法 1					
新旧 2					
旧式 2		2			
旧来 1					
旧師 1					
旧約聖書 1					
旧跡 1					
旧家 1					
給 {キユウ 9}					
供給 2		1			
給食 5		5			

給 供 境 勤 禁 訓 軍	6 年				
	配給	1	1	勤める	1
	月給		1	勤め帰り	1
	給金		1	出勤	4 2
	配給所		1	勤務	3 2
	(給仕) <給油>			勤労	1 1
				転勤	1
				勤勉	
	供 {ク 0}			禁 {キン 4}	2
	キョウ 10			禁止	2 3
	とも 5			禁煙	1
	そなえ~ 1			禁酒	1 1
	供給 4	2		禁~ (ずる・じ)	3
	供出 3			訓 {クン 4}	
	供米 2			訓	4
	お供 5	2		教訓	3 2
	提供 1	2		訓導	1
	供える 1	1		音訓表	1
	子供	4		訓練	1
	<子供会>			字訓	1
	境 {キョウ 0}			軍 {グン 16}	
	ケイ 5			軍	2
	さかい 4			オリオール軍	1 1
	境 4	2		レッドソックス軍	1
	境内 5	3			1
	国境	3		カップス軍	1
	境目	1		将軍	5 1
	逆境	1		軍備	1
	境地	1		東軍	1
	勤 {キン 9}				
	つとめ~ 5				
	勤め 3	7			

6 年

両軍	1	2	かん潔	1		
軍人	1	1	簡潔	1	2	軍
再軍備	1		不潔		1	郡
大軍	1					系
軍かん		1	券 {ケン	5}		潔
軍隊		2	入場券	2	4	券
連合軍		1	銀行券	1		兼
軍楽隊		1	債券	1		絹
<行軍・軍需省>			定期券	1		
			旅券		1	
郡 {グン	1}		聴講券		1	
郡一つ		1				
郡部	1		兼 {ケン	6}		
郡長		1	かね～	2}		
郡内		2	兼ね～ (て・る)			
両郡		1		2	2	
三浦郡		1	兼任	2		
久方郡		1	兼務	3		
			駅長兼改札人	1	1	
系 {ケイ	5}		兼助君		1	
系統	1	1	兼田屋		1	
系統的	2		兼治		1	
系図	1		兼教授		1	
山系	1					
太陽系		1	絹 {ケン	3}		
三上系蔵		1	きぬ	6}		
			絹	2	1	
潔 {ケツ	5}		絹糸	2	1	
いさぎよ～	3}		絹織物	3	3	
清潔	3	7	人絹	1	1	
潔い	3		絵絹	1	1	

絹 権 憲 検 險 減 嚴	6 年				
	白絹	1		險 {ケン	7}
	絹織	1		けわしい	0}
	絹子	1		險惡	1
	絹や	1		險相	1
	権 {ケン	17}		險路	1
	ゴン	0}		危険	3
	権利	7	6	保険	1
	主権	1		冒險	2
	人権	5	1	たん險家	1
	版權	1		探險船	1
	漁業権	1		減 {ゲン	4}
	き権	1	1	へ～	1}
	選手権	1		減額	1
	特許権		1	加減	1
	自治権		1	減～ (る・って・った)	4
	憲 {ケン	10}			1
	新憲法	2	2	減価	1
	憲法	7	4	減法	1
	立憲	1		減らして	1
	憲兵		1	嚴 {ゲン	8}
	憲章		1	ゴン	1}
	憲法史		1	嚴禁	2
	検 {ケン	3}		嚴格	3
	検査	1	5	嚴重	1
	検定	1		莊嚴	1
	探検隊	1		嚴しゅく	1
	探検		2	威嚴	1
	探検家		1		

己 { コ 1 }
 { キ 1 }

自己 1

知己 1

己という字 1
<利己主義>

故 { コ 7 }

<「ゆえ」「なぜ」は、かな
で書く。>

故国 1 1

事故 1 5

故山 1

故丘 1

故郷 1 1

故人 1

故障 1 4

個 { コ 7 }

個人 4 5

個性 1 1

個人主義 1

(～) 個 1 2

数個 1

誤 { ゴ 4 }
 { あやま～ 1 }

誤～(る・って) 1 2

誤字 1 1

誤解 3 4

誤答 1

誤り 5

后 { ゴウ 6 }
 { コウ 0 }<「午后」とは書かないで、
「午後」と書く。>

皇后 5 6

皇后陛下 1

孝 { コウ 4 }

孝行 3 1

孝心 1 1

孝治 2

孝行者 1

孝蔵 1

孝二 1

効 { コウ 3 }

効果 2 4

効用 1

効力 1

効能 1

皇 { オウ 0 }
 { コウ 7 }
 { ノウ 3 }

皇后 3 4

皇后陛下 1

天皇 3 5

皇帝 3

皇太子 1

己
故
個
誤
后
孝
効
皇

6 年								
皇 耕 鉾 構 穀 混 査 差	皇居		4	穀類	1			
	法皇		1					
	耕 {	コウ	1	混 {	コン	5		
		たがやす	0		まぜ～	3		
					まじ～	1		
	耕地	1	4	混乱	2			
	耕～ (す・して)		9	混雑	2	4		
	鉾 {	コウ	6		混ぜ～ (る・て)			
		炭鉾	3	1		3	4	
		鉾山	2	3	混合	1		
		鉄鉾	1	2	混じって	1		
		鉾物		3	混血児		1	
	構 {	コウ	9	査 {	サ	5		
		かまえ～	3		検査	4	3	
		がまえ～	3	巡査	1			
		心構え	2	調査		4		
		構成	2	審査		1		
		結構	4					
		構造	2	2	差 {	サ	8	
		構え	1	さす		0		
構え～ (る・て)				差	1	4		
		2	4	差別	2	2		
身構える	1		千差万別	3	1			
構想	1		身長・体重・胸囲の差					
構図		1		1				
構内		1	個人差	1				
機構		1	差出し		1			
穀 {	コク	7	無差別		1			
	穀物	6	6	落差		1		
				<時 差>				

				6	年		
再	{サイ	10}		採用	1		再 災 妻 採 済 財 罪 策
	{ふたたび	3}		採る	1		
	再建	3		採光		1	
	再会	5	1	採れる		2	
	再び	3	7	済 {サイ	0}		
	再軍備	2			{ザイ	4}	
	再現		1		{す～	2}	
	再興		1		済～ (み・んだ・ませ)		
	再発足		1			2	
	再挙		1	経済	4	5	
	再放送		1	不経済		1	
災	{サイ	11}		財 {ザイ	7}		再 災 妻 採 済 財 罪 策
	{わざわい	0}			財界	5	
	災害	3			財産	2	
	火災	5	1		財政		
	災難	2	3		文化財		
	震災	1			<財 団>		
	戦災		2	罪 {ザイ	5}		
	大震災		1		{つみ	0}	
	天災		1		罪		
	<災>				犯罪	3	
妻	{サイ	2}			死罪	1	
	{つま	6}			罪人	1	
	妻	6	8		罪悪		
	夫妻	2	1	策 {サク	4}		
	妻子		1		政策	3	
採	{サイ	4}			策略	1	
	{と～	1}		国策		1	
	採集	3	6				

策 蚕 酸 支 氏 至 私 視	6 年				
	万策		1	氏家糸子	1
	蚕 {サン	1}		氏原	1
	かいこ	0}			
	蚕		7	至 {シ	1}
	養蚕	1	2	ジ	1}
	養蚕業		1	いたる	1}
	養蚕家		1	至山本駅	1
	養蚕国		1	冬至	1
	酸 {サン	9}		至急	1 1
	過燐酸	2	1	至～ (る・り)	7
	燐酸	4		(夏至)	1 1
	酸素	3	3	私 {シ	1}
	炭酸		1	わたくし	0}
	塩酸		1	<代名詞は、かな書きにする ことが望ましい。>	
	酸化		1	私	6
	酒石酸		1	私有	1
	支 {シ	6}		私たち	5
	支配	4	2	私設電車	1
	支流	1	1	私情	1
	支払って	1		視 {シ	7}
	支柱		2	視力	3 2
	支配人		1	近視	1
	支持		1	乱視	1
	氏 {シ	6}		視界	1 1
	うじ	1}		注視	1
	氏名	2	4	視察	3
	(人名)～氏	3	4	視線	2
	氏族制度	1			

詞 {シ	4}		需要	5	5	詞
歌詞	1	2	需給	1		児
名詞	1	1	軍需省	1		辞
助詞	1		収 {シュウ	7}		釈
副詞	1		おさめ~	2}		需
動詞		2	収めた	2	2	収
<形容詞>			収穫	2	4	宗
児 {ジ	3}		収支	1		衆
ニ	0}		収容	1		
児童会	2		収益	1		
幼児	1		収税	1		
児童		2	収入	1	1	
鹿児島		1	収量		1	
孤児院・こ児院		2	収納		1	
児童詩		1	宗 {シュウ	6}		
小児科		1	ソウ	2}		
児童百科		1	宗教	4	2	
辞 {ジ	8}		日蓮宗	1		
辞書	3		宗派	1		
辞典	3	8	宗吉	1	1	
送辞	1		宗匠	1		
言辞	1		宗教家		4	
辞して		1	宗教的		1	
釈 {シヤク	6}		植竹宗助		1	
会釈	4	1	宗平		1	
解釈	2	4	宗教画		1	
需 {ジュ	7}		衆 {シュウ	8}		
			衆議院	5	2	

衆 就 述 純 処 諸 除 招 称	6 年				
	合衆国	2	3	処置	1
	大衆	1	1	諸 {シヨ	4}
	観衆		3	諸君	3
	公衆		1	諸外国	1
	群衆		1	諸国	4
	<民衆>			諸島	3
	就 {シュウ	5}		諸民族	1
	就 {ジュ	0}		除 {ジョ	8}
	就任	3	2	除 {のぞ~	1}
衆 就 述 純 処 諸 除 招 称	就学	1		除~ (く・いた)	
	就職	1	1		1
	述 {ジュツ	1}		除外例	3
	述 {のべ~	1}		除草	1
	口述	1		除雪	4
	述べ~ (る・た)			除外	1
		1	9	除雪費	1
	純 {ジュン	5}		招 {シヨウ	1}
	単純	1	2	招 {まね~	5}
	純真	4	3	招~ (いて・かれ)	
衆 就 述 純 処 諸 除 招 称	純子		1		5
	純白		2	招待	1
	純一		1	お招き	1
	純ぼく		1	招待状	1
	純すい		1	称 {シヨウ	4}
	処 {シヨ	1}		称し	1
	処方	1		略称	1
	処~ (する・せられ)		1	名称	1
	処理		4	称号	1

愛称		1	仁 {ジン	6}		
証 {ショウ	8}		仁		1	称
証明	6	5	仁徳	1		証
証人	1		仁義	1		条
証言	1		仁愛	2	1	職
実証		1	大仁	1		仁
証書		3	仁者	1		推
条 {ジョウ	17}		仁一君		1	是
四条	6		仁術		1	制
星条旗	3		星野仁一		1	
条件	6	4	推 {スイ	6}		
条約	1	1	おす	0}		
上条	1		類推	4	1	
四条通		2	推理	1		
一条		1	推奨	1		
五条の坂		1	推古天皇		1	
箇条書		1	推〜 (され・して)		2	
<三 条>			推歩先生		1	
			推せん状		1	
職 {ショク	12}		是 {ゼ	4}		
職		1	是非	3	2	
職業	5	2	是否	1		
職人	1	1	是非の論		1	
内職	3	2				
天職	3		制 {セイ	10}		
職員室		1	制度	6	3	
本職		1	制服	2		
就職		1	制作	1	2	
<職 場>			制止	1		

制 聖 誠 税 績 舌 絶 宣	6 年				
	制限	1	税務所	1	
	制動	2	税関	1	2
	圧制	1	郵税		1
	<制 定>		績 {セキ	8}	
	聖 {セイ	5}	成績	7	7
	(シ ヨ ウ)	1}	功績	1	2
	聖徳太子	1	紡績		1
	聖人	5	舌 {ゼツ	1}	
	聖地	1	した	8}	
誠	聖夜	2	舌	8	8
	聖アンナ	1	舌端	1	
	聖書	2	舌打ち		1
	聖者	1	絶 {ゼツ	4}	
	聖女	1	ゼッ	9}	
	神聖	1	たえる	0}	
	誠 {セイ	8}	絶べき	1	1
	まこと	1}	絶対	3	1
	誠	2	絶頂	4	1
	誠実	7	絶体	1	
税	至誠	1	気絶	4	
	春田 誠	1	絶えて		5
	誠一	2	絶望		3
	熱誠	1	絶え入る		1
	税 {ゼイ	11}	絶えず		3
	税	1	<絶 縁>		
	税金	5	宣 {セン	11}	
	納税	3	宣言	4	4
	関税	1	宣戦	1	

			6 年		
宣教師	5	2	創設	1	宣 專 素 創 總 象
宣伝	1	2	創作文	1	
宣告		1	<創刊>		
專 {セン	8}		総 {ソウ	13}	
專念	7	2	総がかり	3	
専門	1	8	総立ち	1	
専用		1	総会	1	
素 {ソ	2}		総額	1	
素 {ス	3}		総理大臣	2	
素通り	3		総せんぎょ	1	
水素	1	1	総理	1	1
酸素	1		総裁	1	
質素		1	総務	1	1
素足		1	総員	1	
炭素線		1	総出		1
平素		1	総長		1
素質		2	総延長		1
元素		1	総勢		1
素焼		1	総数		1
素ぼく		1	<総計>		
<要素>			象 {ショウ	5}	
創 {ソウ	13}		象 {ゾウ	1}	
創意	1	2	象		3
創案	1		対象	5	
創立	1		現象	1	
独創的	6	1	象鼻虫		1
創作	4		氣象		4
創造		4	气象台		1
			事象		1

6 年					
象 蔵 俗 属 存 損 貸 忠	印象		2	存在	2 3
	<象 形>			生存	1
	蔵 {ゾウ	1}		存分	1
	くら	6}		存~ (ずる・じません)	1
	蔵	3		損 {ソン	10}
	蔵やしき	3	2	損害	7 3
	土蔵	1		損する	1 1
	冷蔵庫		2	損失	1 1
	石地蔵		1	損料	1
	貯蔵法		1	破損	1 1
俗 属 存	冷蔵船		1	損得	1 1
	貯蔵所		1	損	2
	大蔵大臣		1		
	<地蔵様>			貸 {タイ	0}
	俗 {ゾク	9}		か~	2}
	風俗	7	5	かし	1}
	俗人	1		貸し出し	1
	民俗	1		貸家	1
	俗に		2	貸~ (して・す)	
	俗称		1		1 9
属 存	属 {ゾク	3}		貸し出す	1 1
	金属	2	5	貸本屋	1
	所属	1		忠 {チュウ	7}
	属する		4	忠告	6 3
	付属		1	忠義	1
	存 {ゾン	2}		忠平	1
	ゾン	2}		忠実	3
	保存	2	5		

			6 年		
著	チヨ	3}	程度	5	9
	いちじるし～	1}	工程		1
	あらわす	0}			
	著書	2	典 {テン	10}	
	著者	1	辞典	3	6
	著し～ (い・く)		事典	2	
		1	古典	1	
	著わす	4	典型	3	1
			祭典	1	1
腸	{チヨウ	7}	党 {トウ	10}	
	腸	2	自由党	1	
	もう腸	3	A 党	3	1
	胃腸	2	社会党	1	
	大腸	2	政党	4	3
	断腸	1	党派	1	
賃	{チン	4}	反对党		1
	人夫賃	3	何党		1
	賃金	1	徳 {トク	3}	
	運送賃	1	二宮尊徳	1	3
	わたし賃	1	尊徳	1	
	家賃	1	徳望	1	
	船賃	1	徳山さん		1
提	{テイ	7}	道德的		1
	提唱	2	徳山先生		1
	提出	4	道德		1
	提供	1	徳		1
	提案	3	届 {とどけ	2}	
程	{テイ	5}	欠席届	1	

6	年				
	届先	1			
	届～(く・いた)		9		
	届ける		3		
届難式認納能派	難				
	{ナン	7}			
	{かたい	0}			
	難		3		
	難所	6			
	無難	1			
	非難		1		
	難問題		1		
	難工事		1		
	災難		1		
	難事業		1		
	難破		1		
	難破船		1		
	こん難		1		
	式				
	{ニ	4}			
	式	1	2		
	式円	2			
	式千円	1			
	拾式円		1		
	認				
	{ニン	1}			
	{みとめ～	3}			
	認める	3	9		
	承認	1			
	納				
	{ノウ	6}			
	{ナ	1}			
	{トウ	2}			
	{おさめ～	2}			
	納税	4			
	出納	1			
	納め～(る・られ)				
		2			2
	納屋	1			
	納入	1			1
	出納簿	1			
	格納庫	1			
	納得				3
	納本				1
	収納				1
	能				
	{ノウ	8}			
	能力	3			
	能率	2			2
	技能	1			
	才能	1			5
	知能	1			
	機能				1
	不可能				1
	効能				1
	派				
	{ハ	8}			
	左派	1			
	左派社会党	1			
	右派社会党	1			
	派ばつ	1			

6 年

— 265 —

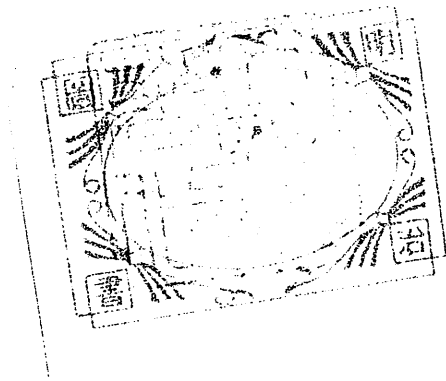
6	年					
仏 奮 陛 弁 補 墓 貿 暴	仏教	1	2	補 {ホ	13}	
	小仏峠	1			おぎなう	0}
	仏様		2	候補	3	
	仏像		4	補欠	3	
	仏師		1	候補者	4	1
	木仏金仏		1	立候補	1	
	奮 {フン	4}		補助	1	
		ふるう	0}	補助板	1	
		こう奮 (興奮)	3	補う		2
		奮戦	1	補員		1
奮い			補給		2	
奮とう			墓 {ボ	7}		
奮う				はか	3}	
発奮				お墓	3	8
陛 {ヘイ	6}	墓地	7	3		
	陛下	5	墓場		1	
	皇后陛下	1	墓石		1	
	両陛下		貿 {ボウ	8}		
弁 {ベン	6}	貿易		7	9	
	弁			貿易船	1	
	大阪弁	1	暴 {ボウ	7}		
	弁論	1		パク	0}	
	弁当			暴力	5	
	お弁当			暴風雨	1	2
	弁護士			暴風警報	1	
	ゆう弁		暴風		4	
弁解		暴風けん		1		
		暴風雪		1		

未 {ミ	2}		預金	4		
未来	2	3	預け～ (る・て)			
未開		2		1	1	未盟
未知		3	預かって	1		訳
未開地		2	預け		9	預
未開時代		1	欲 {ヨク	2}		欲
<未完成>			ほっする	0}		律
盟 {メイ	10}		欲ばり	1		率
連盟	4	4	欲望	1	1	
同盟	3	1	欲しい		2	
日英同盟	1		意欲		1	
三国同盟	1		研究欲		2	
盟主	1		欲目		1	
盟友		1	欲心		1	
訳 {ヤク	8}		律 {リツ	8}		
わけ	1}		法律	6	7	
訳	5		規律	1	1	
対訳	1	1	法律文	1	1	
ほん訳	1	1	定型律		1	
通訳	1	2	率 {リツ	9}		
申し訳	1		ソツ・ひきいる	0}		
いい訳		1	能率	3	5	
訳す		2	百分率	3		
訳だった		1	出席率	1		
訳者		1	欠席率	1		
預 {ヨ	4}		打撃率	1		
あずけ～	1}		死亡率		1	
あずか～	1}					

	6	年		
率 略 臨		倍率		1
		率いる		3
		統率		1
	略	{リャク	2}	
		略字	1	
		計略	1	
		省略		2
		略称		1
		略～(す・して)		2
		略図		1
		略語		1
臨	{	リン	4}	
	{	のぞむ	0}	
		咸臨丸	3	1
		臨時	1	
		臨終		2
		臨～(む・み・んで)		4

国語シリーズ 24

漢字の学年配当



MEJ 4067

昭和30年3月20日印刷 昭和30年3月30日発行

著作権
所 有

文 部 省

東京都中央区入船町3の3

発 行 者

藤 原 政 雄

東京都江東区亀戸町5の7

印 刷 者

永 井 佐 波 太 郎
(三報社印刷株式会社)

東京都中央区入船町3丁目3番地

発 行 所

明 治 図 書 出 版 株 式 有 限 公 司

電話築地(55)4970 振替東京151318

定 価 74 円